

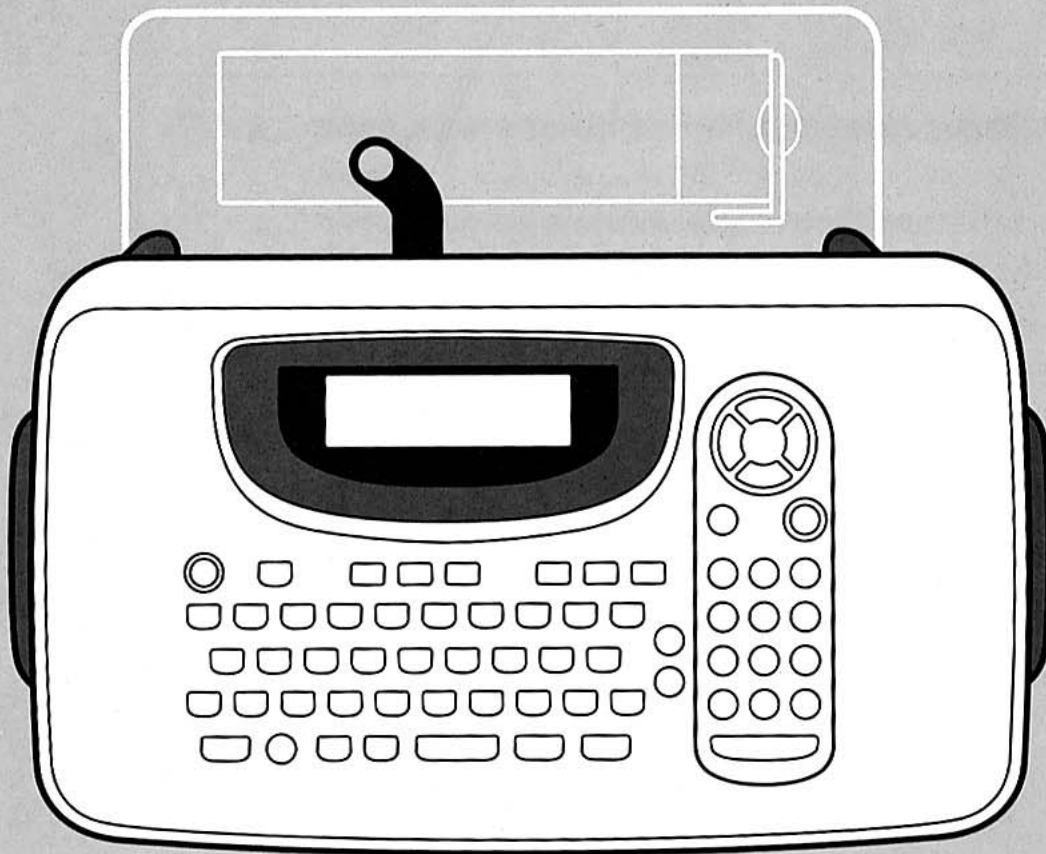
MAX®

BUSINESS LETTERING MACHINE

ワードライタ

BL-120

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

BUSINESS LETTERING MACHINE
WORD WRITER

はじめに

この度は、ワードライタBL-120をご購入いただきまして誠にありがとうございました。

本機は、作画作業の省力化と品質向上を目指して開発された、スタンドアロンタイプの作画マシンです。本機は作画専用のファンクションキーを設け、どなたにでも簡単なキー操作で品質の高い文字をスピーディーに描くことができます。作画作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、当取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

ご使用上の注意

本機は住宅地または隣接地域で使用することを想定し、電波障害を防止する処置を行っています。しかし、本機をラジオ、テレビの受信機に近接して使用すると受信障害の原因になることがありますので設置場所に注意してください。

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



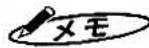
警告： 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



注意： 取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的傷害のみが想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

■お願い

： 機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



： 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



： 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。



： 機能上の注意点について説明してあります。

■絵表示について



記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。






記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。







記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警告

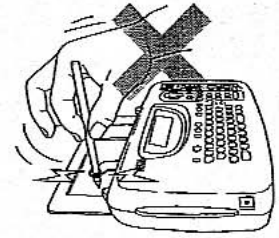
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 ▪ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 故障のまま機械を使わないでください。煙がでている、変な音やにおいがするなど、故障状態のままで使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

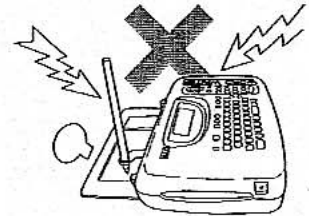
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本機の内部に、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ▪ 表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ▪ 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 ▪ 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 ▪ 本体付属のACアダプター以外のACアダプターで使用しないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ▪ ACアダプターを抜くときは、電源コード引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。 ▪ 怪我をする恐れがありますので、動作中はペンアーム部に顔を近づけないで下さい。 ▪ 内部メモリーへデータを保存中に電源をプラグを抜かないで下さい。保存データが消失することがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずACアダプターを本機から抜いてください。また、アダプターをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本体内部メモリーに保存した内容は永久的な保存は出来ません。故障、修理などに起因するデータ消去による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

お願い 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止する為に、下記の事項を必ず守ってください。

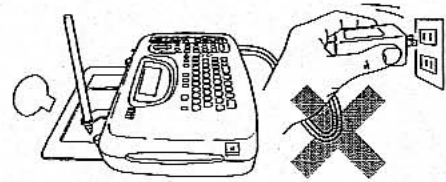
1. 電源が入っているときに、ボールペン、ペンシルツールを取り付けるアームを、手で動かしたり作画中に触れたりしないでください。



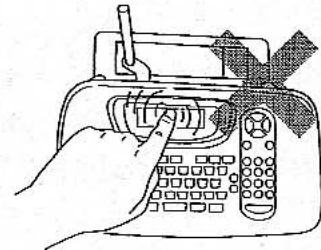
2. ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合、全てのキーが動かなくなったりメモリの内容が消えることがあります。このときは、電源を切り再び起動してください。



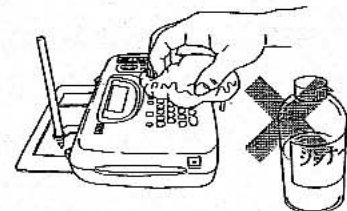
3. 作画動作中に電源ケーブルを引き抜いたりしないでください。



4. ディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。

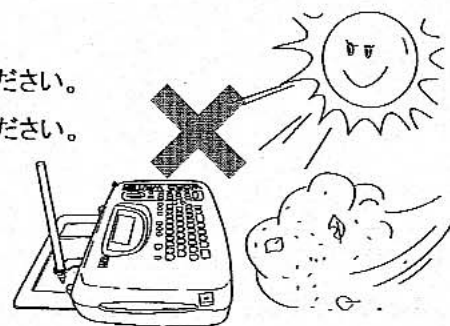


5. 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶媒や薬品を使わないでください。機械が変形したり、変色するなどの原因になります。



6. トラブルの原因になりますので次のような場所では使用及び保管しないでください。

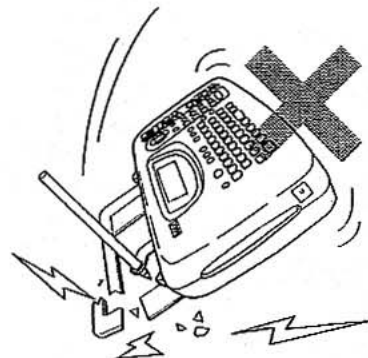
- ①直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所
- ②ほこりや湿気の多い場所
- ③振動や衝撃の加わる場所
- ④温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
- ⑤温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



7. コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機の上にこぼさないでください。



8. 落としたり、ぶつかけたりして、強いショックを与えないでください。



9. 本機の上に物を載せないでください。

10. 電源を切って再び電源を入れる時には、必ず5秒以上間隔を開けてスイッチを入れてください。短時間にスイッチのOFF・ONを行うと、うまく立ち上がらない場合があります。

11. 筆記具は本機指定の筆記具以外は使用しないでください。また、ボールペンの替芯は「ぺんてるハイブリット」以外のものは使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

1章	お使いになる前に
2章	文字の入力
3章	作画
4章	パラメータの設定
5章	文字飾り
6章	メモリ
7章	はやわざ機能
8章	困ったときは
付録	



目次

1章 お使いになる前に

当説明書の表記について	10
各部の名称と付属品	11
ディスプレイ	12
ご使用前の準備	13
ご使用前のお願い	13
紙押えパッドの使用法とご注意	14
ボールペンのセッティング	15
セラミックペンのセッティング	16
サインペンのセッティング	17
本体の設置	18
まず動かしてみる	19
電源のON/OFF	19
作画する	20

2章 文字の入力

ひらがな／カタカナの入力	22
ローマ字で入力	22
かなで入力	24
英数字の入力	26
アルファベット・数字を入力する	26
漢字の入力	27
熟語ごとに変換する	27
いくつかの熟語をまとめて変換する	29
単漢字変換	30
文章の訂正	31
カーソルキーのはたらき	31
“読み”入力で打ち間違えた文字を訂正する	32
確定文章を訂正する	33
記号入力	35
JISコード入力	36
住所の郵便番号入力	37
キー割付け	38
専門用語の入力／登録	39
改行の入力	41

目次

3章 作画

作画	44
開始と中断	44
ペン移動	45
ブロック作画	47
改行作画	49
ペン位置	52
始終点確認位置	53
一行目書出し位置	53
ペン移動	54
作画範囲エラー	54

4章 パラメータの設定

パラメータの設定	56
設定状態表示	56
設定の初期値と範囲	56
文字サイズ	58
(多行の文字サイズ)	59
文字幅	60
半角数字	61
文字間と桁合わせピッチ	62
位置合わせ	64
範囲作画	66
均等配列	67
書体変更	68
太文字	68
ペン字	69
明朝体	70
楷書体	71
横書き／縦書き	72
行間隔	73
一行均等配列	74
始終点確認機能	75
一行目書出し位置	76
県名削除機能	77
作画速度	78

5章 文字飾り

上付下付	80
組文字	82
飾り枠	83

目次

6章 メモリ

文書の登録	86
文書の呼出	87
文書の削除	88
全削除	89
設定の登録	90
設定の呼出	91
設定の削除	92
全削除	93

7章 はやわざ機能

新規入力と登録	96
ハガキ	98
マス目	100
インデックス	102
VHS/8mm/DV テープ	104
枠付2行/3行/4行/5行	107
はやわざ呼出	110
はやわざ削除	111

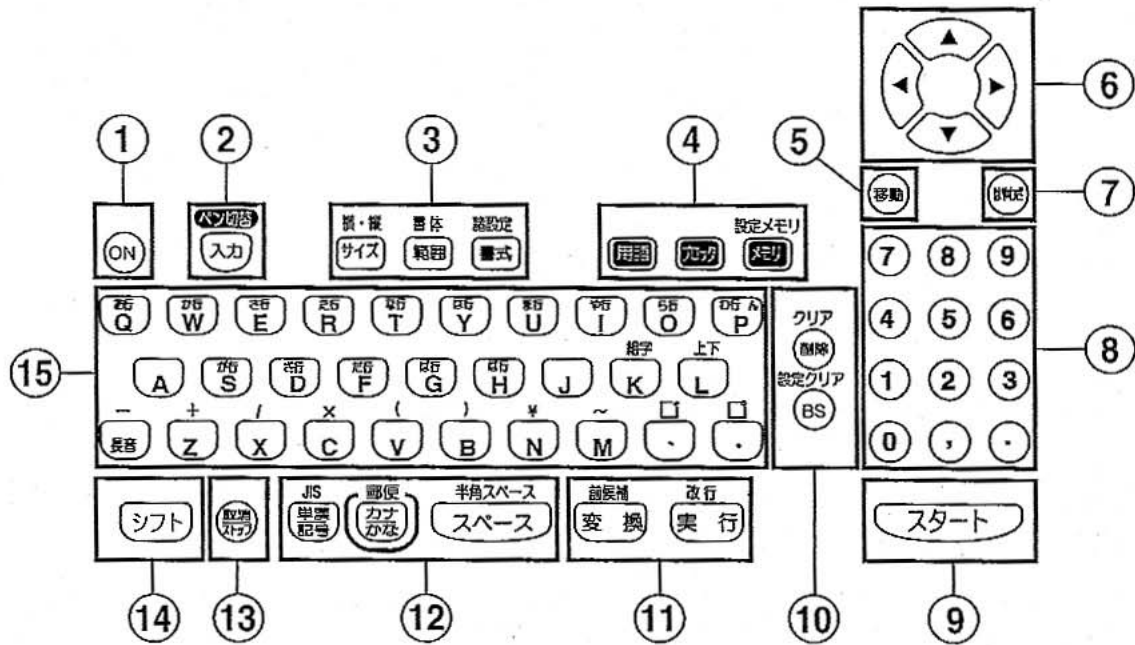
8章 困ったときは

故障かな?と思う前に	114
エラーメッセージの原因と対応	115
操作上のトラブル解決ページ	117

付録

付録1 ローマ字入力の読み一覧	121
付録2 JISコード一覧	122
付録3 用語一覧	153
付録4 商品仕様	161
付録5 保証書・保守サービス	162
付録6 さくいん	163

キーの名称とはたらき



(基本的なキー操作)

キーの配置位置	はたらき	使用キー	もっと詳しく知りたいとき
①	電源の ON,OFF を行います。 電源が入りますと『ピッ』と音が鳴り、初期動作を開始します。	ON	P 19
②	入力モードを(ローマ字、かな/英大文字、英小文字の順に)切り換えます。現在の入力モードはディスプレイ左側にインジケータで表示されます。 (シフトキーと同時に押しますと使用するペン種の切り換えができます)	ペン切替 入力	P 22,24,26 (P 19)
④	用語呼び出しを行います。 用語は土木、電気、建築、水道の各業種310用語 が内蔵されています。	用語	P 39
	文書をブロックマークで区切り、ハンコのように繰り返し使えるようにします。	ブロック	P 46,47
	文書の登録、登録した文書の呼び出しを行います。 シフトと同時に押しますとブロック内のすべての書式の登録を行うことができます。	設定メモリ メモリ	P 86
⑤	作画待機中に書き出し位置の変更ができます。	移動) 押しながら 	P 45,46,54
⑥	カーソルの移動、設定値の変更を行います。		P 31, 32 その他に 各種入力 各種設定

キーの名称と働き

キーの 配置位置	はたらき	使用キー	もっと詳しく 知りたいとき
⑧	数字入力を行います。 0～9のキーについては、キー割付を行いますとシフトキーと同時に押すことで割り付けした文字、文書呼び出す事ができます。		(キー割付 P 38)
⑨	作画を開始します。		P 20,44,49
⑩	画面中のカーソル位置の文字を削除します。 (シフトキーと同時に押しますと「確定」された入力文字をすべて消去することができます。)		P 32 (P 34)
	画面中のカーソル位置の1文字前の文字を削除します。 (シフトキーと同時に押しますと各種設定を初期化することができます。)		P 33 (P 56)
⑪	読み入力時の確定、パラメータ設定時の確定をします。 シフトキーと同時に押しますと改行を行うことができます。		P 22,23,25, 各種設定頁
	読み入力を漢字に変換します。 (シフトキーと同時に押しますと変換候補を一つ前に戻します)		P 27～29 (P 28)
⑫	文書中に空白を入れます。 (シフトキーと同時に押しますと半角余白となります。)		P 26
	読み入力をカナに変換します。 もう一度押しますとひらがなに戻ります (シフトキーと同時に押しますと、郵便番号の入力を住所に変換することができます。)		P 23,25 (P 37)
	単漢字/記号入力を行います。 記号は絵文字、一般、単位、電気、水道の5種別が内蔵されています。 (シフトキーと同時に押しますと、読みが分からない文字を番号で入力することができます。)		P 30/35 (P 36)
⑬	変換のクリア、読み入力のクリア、設定の取り消しや作画動作を解除するときに使用します。		変換、読み P 32,34,37,39 設定 P 58 作画 P 44,45,46,48,50
⑭	キーボード上のキー上部に記載されている機能を使用するときに使用します。 (操作はシフトキーと使用したい機能キーを同時に押します。)		—
⑮	文字入力を行います。 (シフトキーと同時に押しますと、各キー上部の記号等が入力できます。)		P 22～26

知っておくと便利な機能

はたらき	作画内容	キーの配置位置	使用キー	もっと詳しく知りたい時
文字サイズの変更	文字サイズ 文字サイズ 行ごとに異なる文字サイズ設定が可能です。	③	横・縦 サイズ	P 58
縦書き横書きの変更	横書き 縦書き	③	シフト + 横・縦 サイズ	P72
作画範囲の設定と均等配列	均等配列作画 図面名称 作画範囲は120mm	③	書体 範囲	P 66
書体の変更	標準 太字 楷書 ペン 明朝体	③	シフト + 書体 範囲	P 68~71
文字幅の変更	文字幅 文字幅	③	諸設定 書式	P 60
行間隔の変更	改行キーを使用して多行書きを行うときに行間隔の変更が行えます。	③	諸設定 書式	P 73
複数行を一度に作画する	改行キーを使用しますと最大8行までの複数行が一度に作画できます。	⑪	シフト + 改行 実行	P 41
文字間の変更	文字間が狭い 文字間が広い	③	諸設定 書式	P 62
飾り枠やアンダーラインの書き込み	長円 矩形囲み 2重矩形 太矩形 角丸 アンダーライン 左くさび 右くさび 面取り 丸囲	③	諸設定 書式	P 83
複数行全体の枠囲み	東京都中央区 日本橋箱崎町 マックス株式会社	⑦	枠取	P 107

知っておくと便利な機能

はたらき	作画内容	キーの配置位置	使用キー	もっと詳しく知りたい時
文書の右左詰め 中央配置	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字左詰め</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字右詰め</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字中央</div> </div>	③	諸設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書式</div>	P 64
数字の桁合わせ	桁合わせ前 → 桁合わせ実行 11111 1 1 1 1 1 22222 2 2 2 2 2 33333 3 3 3 3 3 44444 4 4 4 4 4	③	諸設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書式</div> 文字間モード	P 63
組文字の設定	振 罫 回 第 58 回 (縦書き時に特定の文字のみ、横書きにします。)	⑮	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">シフト</div> + 組字 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">K</div>	P 82
上、下付け文字 の設定	A^{10} A_{10} H_2O	⑮	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">シフト</div> + 上下 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">L</div>	P80,81
郵便番号を 使った住所の 入力	郵便番号を入力しますと住所に変換されます。 上3桁のみでの検索も可能です。	⑫	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">シフト</div> + 郵便 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">カナ かな</div>	P 37
はやわざでの オートフォーマット	はやわざモードにはハガキ1種、マス目 1 種、インデックス4種、VHSテープ3種、8mmテープ3種、DVテープ3種、文書全体の枠囲みが内蔵されています。	⑦	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">はやわざ</div>	P 96
レイアウトの登録	文書全体のすべての設定内容の登録が行えます。宅配便送り状やmanifestなどのオリジナルのフォーマットは一度作成しておけば、必要なときに呼び出して使用できます。	④	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">シフト</div> + 設定メモリ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">メモリ</div>	P 90
作画速度の変更	作画速度は高速、標準の 2 種類の選択が可能です。ボールペン作画等での高画質な作画を必要としない場合はスピーディーな高速をお勧めします。	③	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">シフト</div> + 諸設定 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">書式</div>	P 78

1章

お使いになる前に

この章では、BL-120をご使用になる上で知っておくべきことについて説明します。

当説明書の表記について	10
各部の名称と付属品	11
ディスプレイ	12
ご使用前の準備	13
まず動かしてみる	19

お 知 ら せ

この度はマックス「ワードライタ」BL-120をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

マックスではお客様登録カード以外にもマックスホームページを通じてのお客様登録を実施しております。ネットを通じて登録をいただきましたお客様には、マックスから耳寄り情報をお届けしていく予定です。是非とも下記アドレスからのお客様登録を実施していただきますよう宜しくお願い致します。

なお、インターネットを通じてお客様登録を実施していただいた場合はお客様登録カードの投函の必要はありません。

●アドレス <http://wis.max-ltd.co.jp/wordwriter/>

当説明書の表記について

当取扱説明書では、キーや作画例について次のように多少略して表現しています。

(1) キーの表現方法は、

① キー全体の表現はキーの形で次のように表記します。



② キーの簡略した表現は、必要な文字を で囲んで表記します。

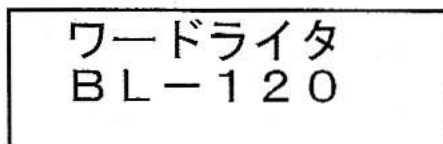
シフト を シフト と表記。

を と表記。

(2) かな・アルファベット・数字等の入力表現は「あいう」「ABC」「123」のように「」で囲んであります。

(3) 漢字入力も漢字の変換方法を説明した後は、「株式会社」のように「」内に漢字表現とします。

(4) ディスプレイは、全体を次のように表現します。

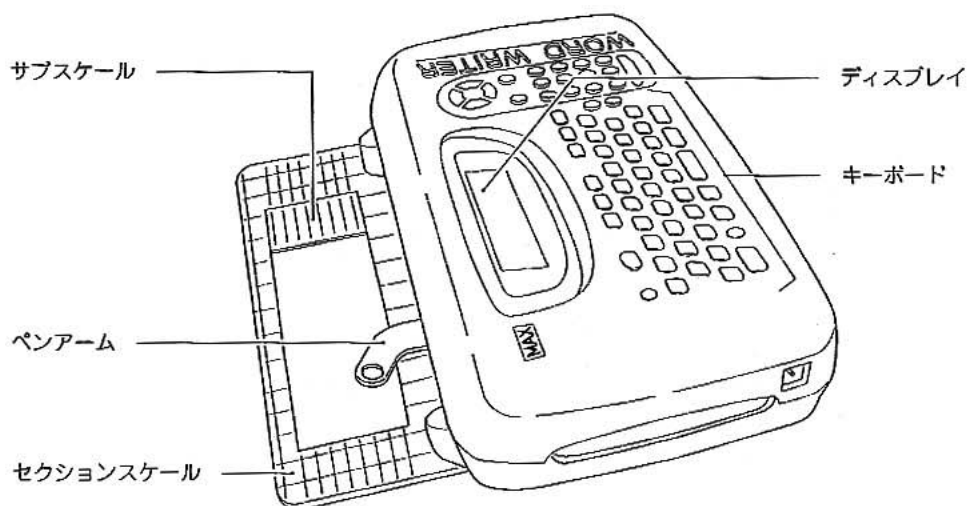


(5) 作画した文字は、次のように表記します。

マックス WORD WRITER BL-120

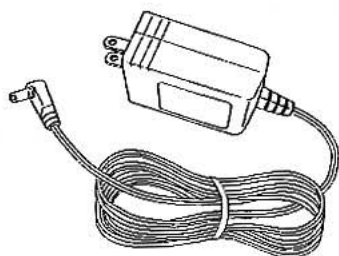
各部の名称と付属品

(1) BL-120本体

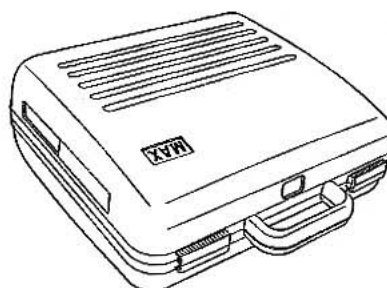


お願い ペンアームを絶対に持たないでください。

(2) ACアダプター

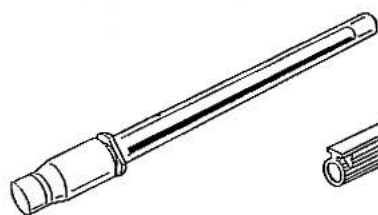


(3) キャリングケース

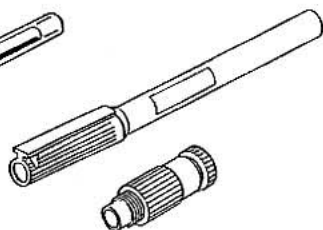


(4) 付属品

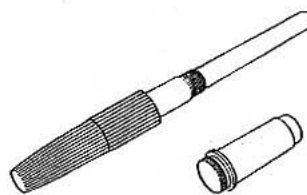
① ボールペン(黒)



② サインペン/専用ホルダ



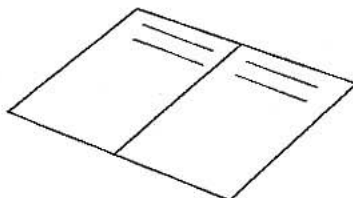
③ セラミックペン/専用ホルダ



④ 取扱説明書



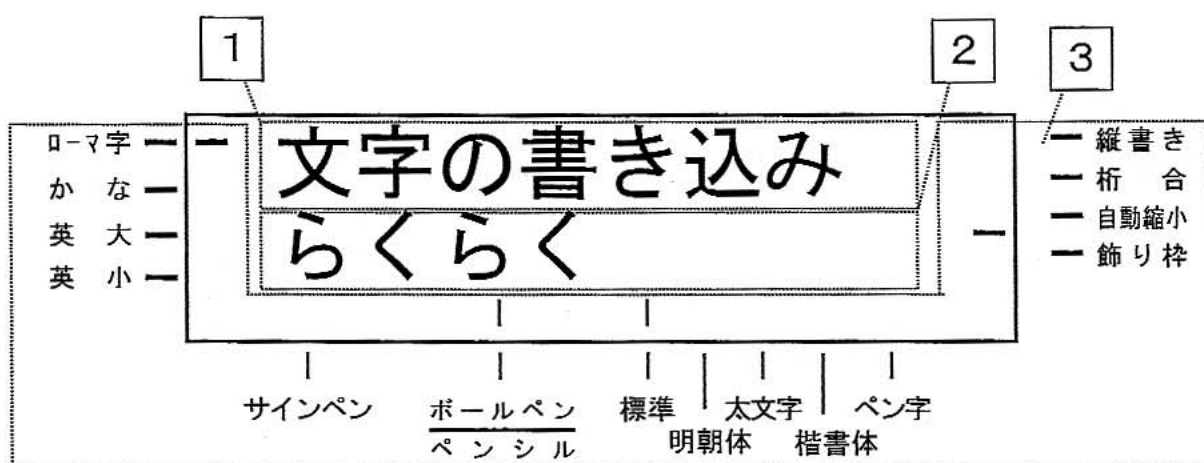
③ 保証書/アンケート



④ 紙押えパッド(6個)



ディスプレイ

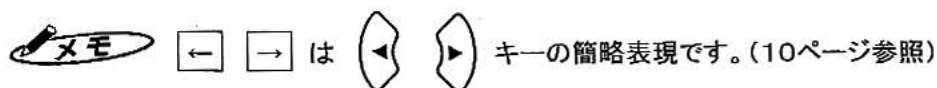


1「確定」表示画面（1行）

「読み」として入力した文字を「確定」すると、この画面に表示します。

この画面に表示している文章を作画でき、最大500文字までの文章を入力編集できます。

「確定」表示画面は1行目の8文字分の表示がいっぱいになると、9文字目からは横にスクロールしていきます。スクロールで見えなくなった内容を見るときは、 を押して表示をスクロールします。



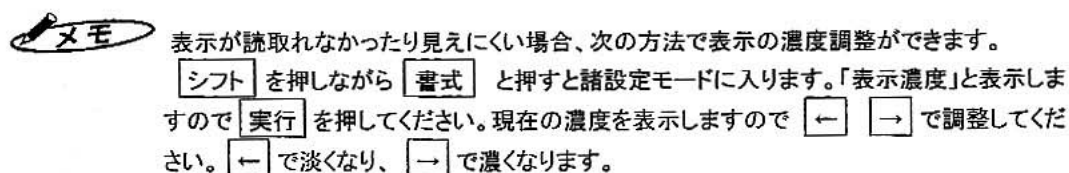
2「読み」入力画面（1行）

入力した文字は、「読み」としてここに表示します。「読み」は、適切な漢字やかなに変換してから「確定」します。「確定」した文章は「確定」表示画面に移ります。

「読み」は、15文字まで入力できます。

3「設定状態」表示画面

レイアウト、ペン設定、書体および入力モードの設定内容を表示しています。

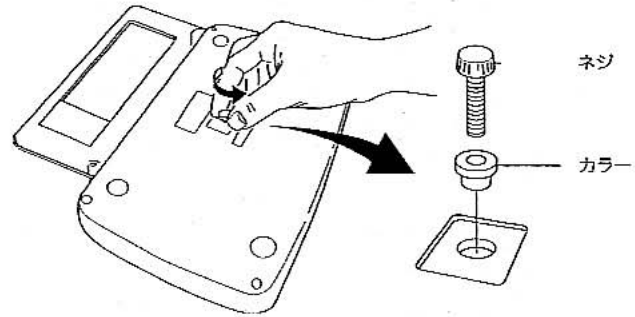


ご使用前の準備

ご使用前のお願い

・本体裏側のネジとカラーを取り外してください。(輸送中の破損防止の為取り付けられています。)

輸送時以外は取り付けないでください。機械の故障原因となります。



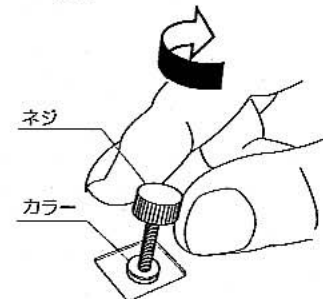
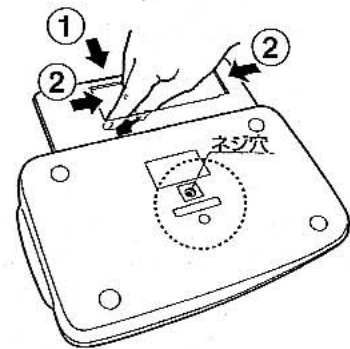
取り外したネジとカラーはキャリングケースの筆記具入れに保管してください。

お願い ネジを付けた状態でご使用されますと故障の原因となります。

輸送時のお願い

・キャリングケースを用いて本機を輸送する時はネジとカラーを取り付けるとより安全に輸送できます。以下の手順でネジとカラーを取り付けてください。

- ① ペンアームを手前に下げる。
- ② 本体裏側の取り付け穴の中央にネジ穴がくるように左右に動かす。
- ③ カラーを取り付け穴に入れてネジを締める。(ネジが最後まで締まらない時は、ペンアームを上方向に1mm程度引き出してください。)
- ④ ペンアームを軽く上下左右に動かして移動しないことを確認する。



お願い

- ・電源コードを抜いてから取り付けてください。
- ・ペンアームはゆっくり動かしてください。
- ・ネジが最後まで締まらない時は無理にねじ込まないでください。故障の原因となります。

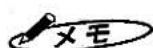
ご使用前の準備

紙押えパッドの使用法とご注意

1. 紙押えパッド

紙押えパッドの取付により、作画時の用紙ズレを防止できます。ただし、次の点で本機の性能が若干低下することがありますのでご了承ください。

- 作画文字の画質
- 複写性
- 作画音の変化
- ペンシルツール使用時のペンシルツールの芯折れ、芯詰まりの原因となることがあります。



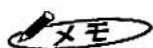
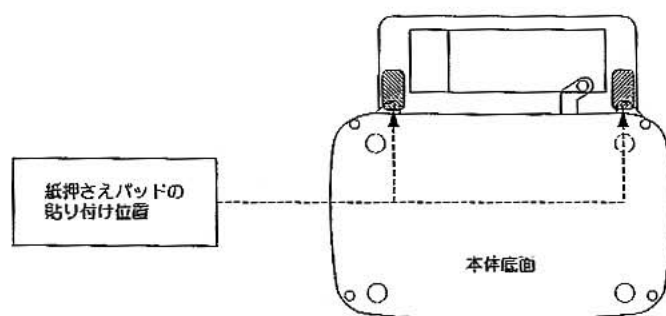
・パッドの影響により、上記の症状が大きいときにはパッドの貼り付け位置を下图斜線部のスケール上端方向へ変えて下さい。

2. 使用方法

紙押えパッドをセクションスケール底部に貼り付け、作画時に本体を上から押さえて用紙のすべりを防止します。

3. 紙押えパッドの貼り付け方法

- ① 紙押えパッドには両面テープが貼ってあります。この両面テープの剥離紙を剥がします。
- ② 柔らかい布などの上で本体を裏返し、剥離紙を剥がした紙押えパッドを本体底面のセクションスケールを止めている2つのネジの上に1枚ずつ左右水平になるように貼り付けてください。



・パッドが汚れてきたら交換してください。用紙を汚すことがあります。

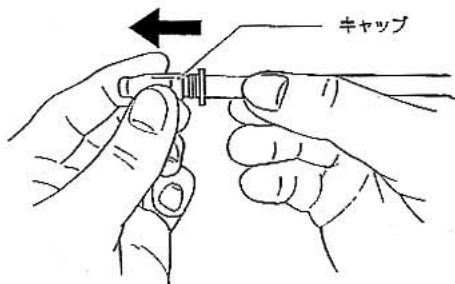


- ・紙押えパッドは、指定個所以外に貼り付けないでください。
- ・紙押えパッドを取り外す場合は、のり残りがないようにきれいに剥がしてください。
- ・ペンシルツールで作画した紙面では、紙押えパッドが作画した文字を消したり、芯の粉が紙押えパッドに付着し紙面を汚すことがあります。
- ・紙押えパッドは、本体お買上げ販売店、もしくは、マックスサービス(株)でお買求めください。

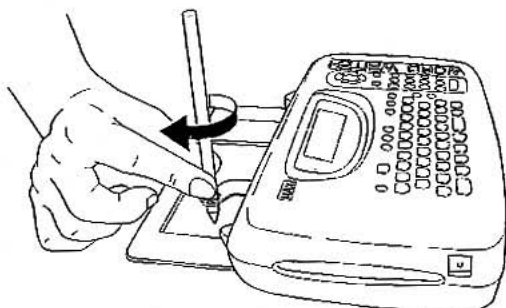
ボールペンのセッティング

1. ボールペン(筆記具)の取付け方法

①付属のボールペンを取りだし、キャップを外します。



②本体のペンアームのネジ部にペン先を下に向けながらねじ込みます。

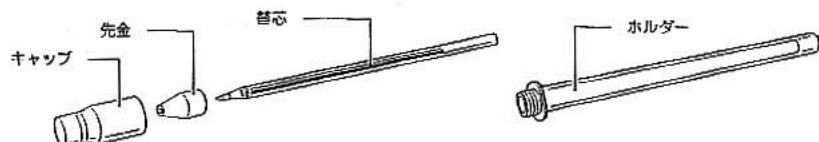


お願い

- ・ペン切換設定を「ボールペン」側にセットしてご使用ください。
- ・危険ですので、作画中は顔を近づけないでください。
- ・使用後は本体から取り外し、キャップをして保管ください。
- ・ペンの取付けの際には、サブスケールが必ず右端にあることを確認してください。

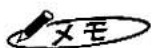
2. 芯の交換方法

キャップを外し、先金を回すと図のように分解できます。



ボールペンの芯を新しい芯に替え、ホルダーに入れ先金を締めます。替え芯は文具・事務用品店でお求めください。(品番:ぺんてるKF5クロ)

先端の乾燥を防ぐため使用後は必ずキャップをしてください。

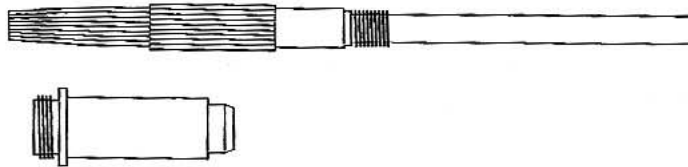


- ・ボールペンの特性により書き始めはインクがかすれることがあります。
- ・オプションのペンシルツールの取付け方法はペンシルツール付属の取扱説明書を参照ください。

ご使用前の準備

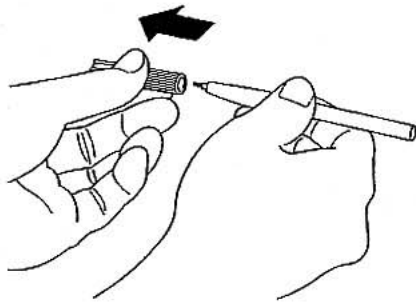
セラミックペンのセッティング

1. 本機は、セラミックペンとしてぺんてる社製セラミックロン(SRM02)を使用できます。

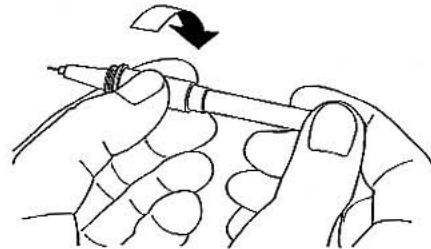


2. セラミックペン(筆記具)の取付け方法

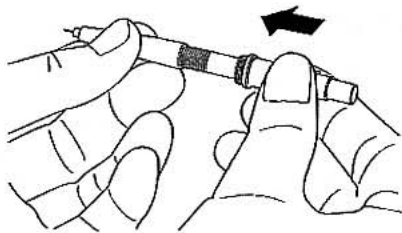
①セラミックペンのキャップを外します。



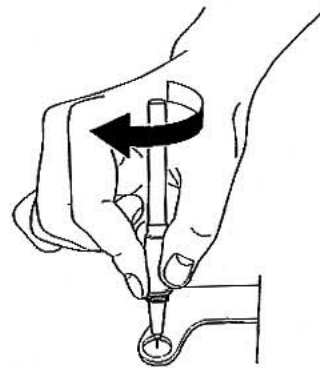
③ホルダーを右へ回し固定します。



②セラミックペン後部よりホルダーを(径の大きい方をペンに向けて)通します。



④本体のペンアームのネジ部にペン先を下に向けながらねじ込みます。

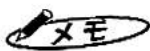


お願い

- ・ペン切換設定を「サインペン」側にセットしてご使用ください。
- ・危険ですので、作画中は顔を近づけないでください。
- ・使用後は本体から取り外し、キャップをして保管ください。

セラミックペンは文具・事務用品店でお求めください。(ぺんてる社製 セラミックロン:品番 SBM02...同シリーズの他の色も使えます。)

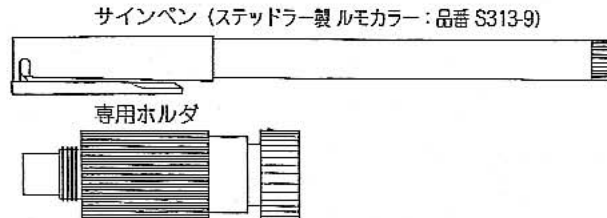
先端の乾燥を防ぐため使用後は必ずキャップをしてください。



・セラミックペンの特性により書き始めはインクがかすれることがあります。

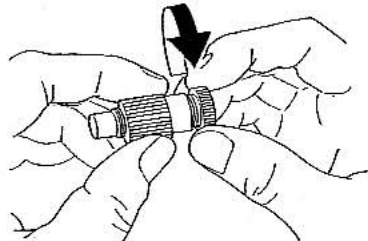
サインペンのセッティング

1. サインペン、油性顔料インクのペン(ステッドラー社製「ルモカラー」:品番S313-9)ですので紙以外にビニールやプラスチックにも記入できます。ただし、材質や表面の状態により印字品質や耐擦過性は異なりますのでご了承ください。

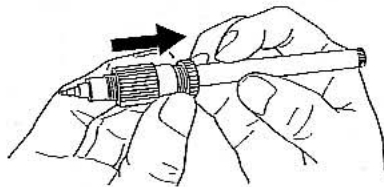


2. サインペン(筆記具)の取付け方法

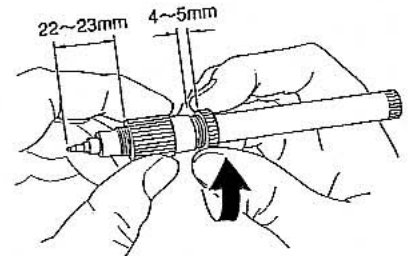
- ①付属のサインペンを取りだし、キャップを外します。
②サインペン専用のホルダーナット部を左に回しゆるめます。



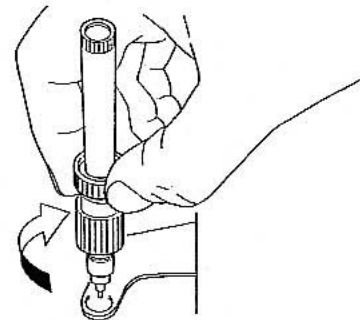
- ③サインペンが突き当たるまで差し込んでください。



- ④ナット部を右に回してサインペンとホルダーを固定します。



- ⑤本体のペンアームのネジ部にペン先を下に向けながらねじ込みます。

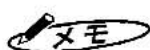


お願い

- ・ペン切換設定を「サインペン」側にセットしてご使用ください。「ボールペン」にセットしてご使用された場合ペン先を傷めます。
- ・危険ですので、作画中は顔を近づけないでください。
- ・使用後は本体から取り外し、キャップをして保管ください。

サインペンはステッドラー社製「ルモカラー」の Sタイプを文具・事務用品店でお求めください。(品番:ステッドラー ルモカラー S313-9...色数は8色あります)

サインペンはキャップを外したまま放置すると先端が乾燥します。先端の乾燥を防ぐため、使用後は必ず本体から取り外しキャップをしてください。なお、若干の乾燥はキャップをして放置すると回復します。

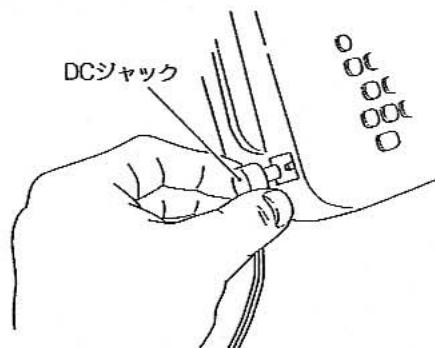


・サインペンの特性により書き始めはインクがかすれることがあります。

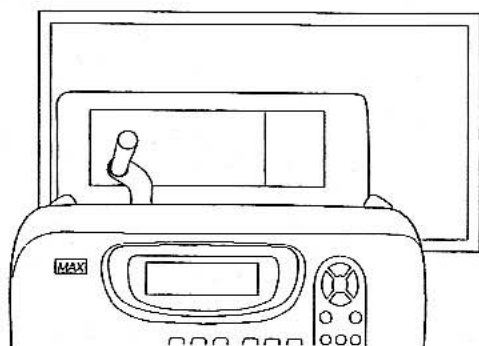
ご使用前の準備

本体の設置

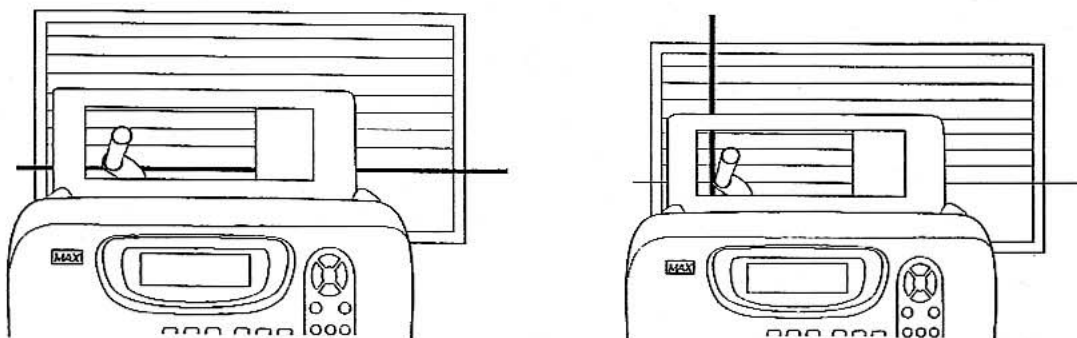
1. ACアダプタを家庭用100Vコンセントに接続し、DCジャック部をBL-120本体に接続します。



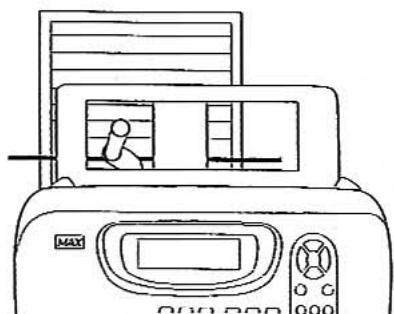
2. 平らな机などの上にしわのない用紙を置きます。この上にBL-120本体を静かに置きます。



3. 用紙の罫線などにセクションスケールを目安に水平を合わせます。垂直方向にペン先を合せます。



4. 記入枠が小さい場合はサブスケールを左に動かして、セクションスケールとサブスケールを目安に水平を合わせます。



お願い

位置合せが終了したら、サブスケールをしっかり固定されるまで右端に戻してください。サブスケールを固定しないと、作画時にペン先や、スケールが破損する恐れがあります。

まず動かしてみる

電源のON/OFF

①準備ができましたら、本体の **ON** を押してください。

押すとディスプレイに次のように表示します。このとき前回保存した文書などのメモリのバックアップ作業を行ないます。

ワードライタ
BL-120

お願い 上記メッセージ表示中に電源をOFFにすると、メモリの内容が消えることがありますので注意してください。

ペンが原点位置に動きます。

注意
危険ですので動作中は顔を近づけないでください。

②ペン切換えのインジケータが取り付けしたペンと同じであることを確認してください。同じでないならば次の操作でペン切換えの設定を行なってください。

シフト を押しながら **入力** を押してください。

シフト + **ペン切替**
入力

ペン = **ボールペン**

← または **→** を押し、ボールペン、ペンシル、またはサインペンを表示させてください。

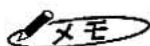
← または **→**

ペン = **サインペン**

実行 を押すとペンの設定がされ、インジケータも変更されます。

実行

③電源を切るときは、**ON** を1秒ほど押してください。



文字パラメータ（変形・配置）等の作業内容は自動的に記憶します。

まず動かしてみる

作画する

例 「平面図」と作画する

①文字「平面図」を入力します。

ぼ行 H ち行 E や行 I M ぢ行 E N N

Z ぢ行 U

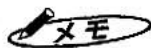
■ へいめんず ■

変換

■ 平面図

実行

■ 平面図 ■



500文字までの文章を入力、編集できます。

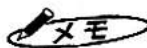
②作画します。

スタート を押すと作画待機中になります。もう一度 **スタート** を押すと、作画する文字列の最後尾にペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。良ければもう一度 **スタート** を押すと作画を開始します。

作画するときは動かないように上から手で抑えてください。

スタート

平面図



- ・「作画待機中」を解除する場合は **取消** を押してください。
- ・ボールペンの特性により書き始めはインクがかすれることがあります。
- ・文字の変形、レイアウトは設定している文字パラメータに従って作画します。
- ・文字パラメータを変更することで、多彩な作画が行えます。
- ・始終点確認の設定を解除する時は、P75をご覧ください。

2章


文字の入力

この章では、文章を入力する際のキー操作方法、漢字への変換方法について説明します。

ひらがな／カタカナの入力	2 2
ローマ字で入力	2 2
かなで入力	2 4
英数字の入力	2 6
漢字の入力	2 7
文章の訂正	3 1
記号入力	3 5
J I Sコード入力	3 6
住所の郵便番号入力	3 7
キー割付	3 8
専門用語の入力／登録	3 9
改行の入力	4 1

ひらがな／カタカナの入力

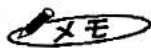
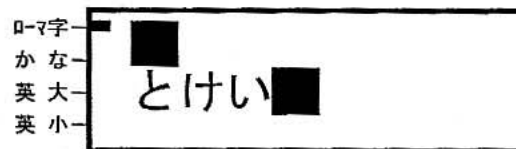
ローマ字で入力

入力 を数回押し、ディスプレイ左端の  マークを「ローマ字」に合わせてください。



例 「とけい」と入力する

①「とけい」と入力します。

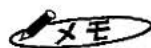
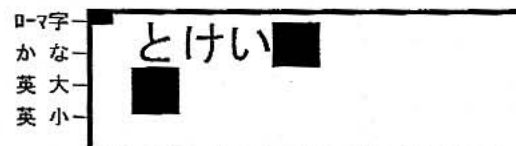


・“読み”入力画面に表示している文字(上記の表示では「とけい」)はカタカナ、漢字に変換できます。変換せずに実行キーを押すとひらがなのまま確定し“確定”表示画面に表示します。

・ローマ字の入力規則は121ページを参照ください。

②“読み”入力を確定します。

実行

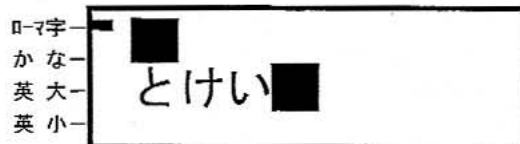


・“確定”表示画面の文章は作画できます。ただし“読み”入力画面に文字があると作画できません。

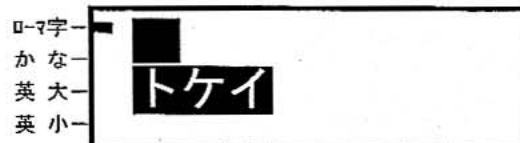
ひらがな／カタカナの入力

例 「トケイ」と入力する

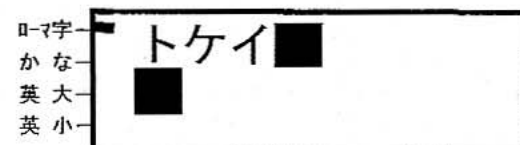
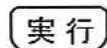
①「とけい」と入力します。



②カタカナに変換します。



③“読み”入力を確定します。

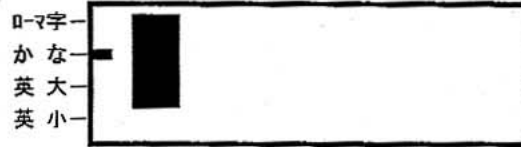


・“確定”表示画面の文章は作画できます。ただし“読み”入力画面に文字があると作画できません。

ひらがな／カタカナの入力

かなで入力

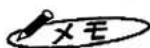
入力 を数回押し、ディスプレイ左端の マークを「かな」に合わせてください。



かなの入力は、かなめくり方式になっています。各キーに入っている文字は次の通りです。

かなめくり一覧

	入力キー	文字
あ行	あ行 Q	あいうえおあいうえお
か行	か行 W	かきくけこカケ
さ行	さ行 E	さしすせそ
た行	た行 R	たちつてとっ
な行	な行 T	なにぬねの
は行	は行 Y	はひふへほ
ま行	ま行 U	まみむめも
や行	や行 I	やゆよやゆよ
ら行	ら行 O	らりるれろ
わ行	わ行ん P	わをんゐゑヴわ
が行	が行 S	がぎぐげご
ざ行	ざ行 D	ざじずぜぞ
だ行	だ行 F	だぢづでど
ば行	ば行 G	ばびぶべぼ
ぱ行	ぱ行 H	ぱぴぷぺぽ



- ・拗促音はソフトキーを押しながらかなめくりキーを押す方法でも入力できます。
- ・上記表にない“かな文字”は、巻末付録のJISコード表を参照のうえJISコード入力してください。(JISコード入力 36 ページ)

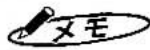
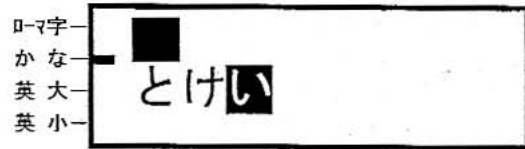
ひらがな／カタカナの入力

例 「とけい」と入力する

①「とけい」と入力します。

た行 **R** を5回 **か**行 **W** を4回

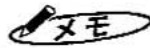
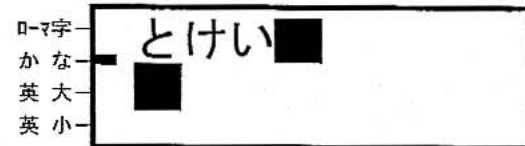
あ行 **Q** を2回押します。



・“読み”入力画面に表示している文字(上記の表示では「とけい」)はカタカナ、漢字に変換できます。変換せずに実行キーを押すとひらがなのまま確定し“確定”表示画面に表示します。

②“読み”入力を確定します。

実行



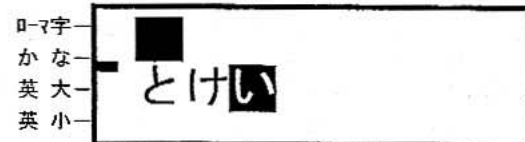
・“確定”表示画面の文章は作画できます。ただし“読み”入力画面に文字があると作画できません。

例 「トケイ」と入力する

①「とけい」と入力します。

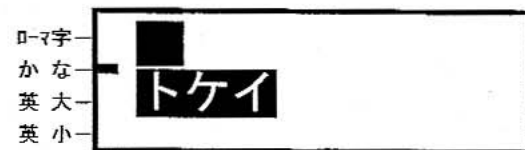
た行 **R** を5回 **か**行 **W** を4回

あ行 **Q** を2回押します。



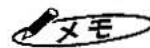
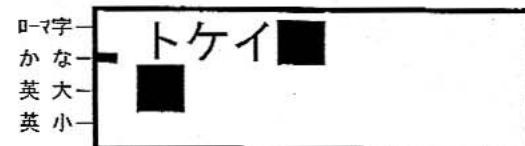
②カタカナに変換します。

カナ
かな



③“読み”入力を確定します。

実行

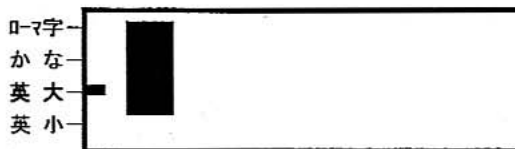


・“確定”表示画面の文章は作画できます。ただし“読み”入力画面に文字があると作画できません。

英数字の入力

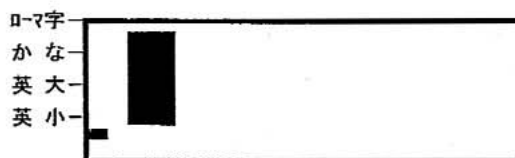
アルファベット・数字を入力する

入力 を数回押し、ディスプレイ左端の ■ マークを「英大」または「英小」に合わせてください。

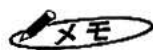
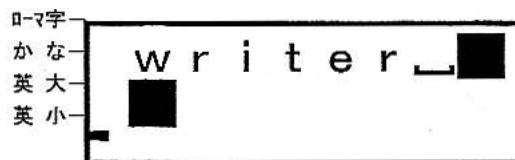
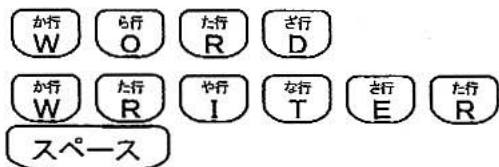


例 「wordwriter BL-120」と入力する

① **入力** を押し 入力モードを「英小」に切換えます。

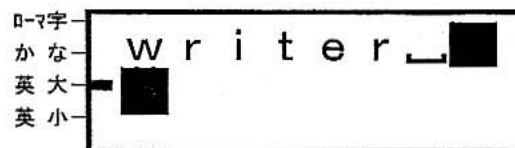


② 「wordwriter」と入力します。

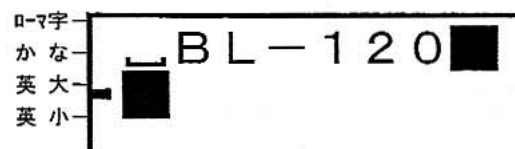
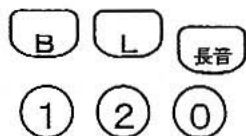


「スペース」キーを押すとディスプレイに「_」を表示します。「_」は作画しません。

③ **入力** を押し 入力モードを「英大」に切換えます。



④ 「BL-120」と入力します。

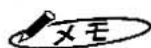


漢字の入力

漢字は「ローマ字」モード、「かな」モードで入力します。「ローマ字」モード、「かな」モードで入力すると、まず“読み”入力画面に表示します。“読み”は15文字まで入力できます。

“読み”の文章を確認して **変換** キーを押すと、漢字に変換します。漢字の変換は熟語単位で行います。

熟語ごとに変換する

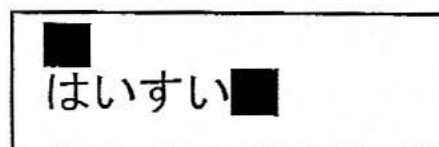


- ・熟語とは、2字以上の漢字が結合して1語となった語や一定の言いまわしで特有な意味を持つ言葉(慣用句など)のことをいいます。
- ・例えば、「東京都中央区日本橋箱崎」の場合は「東京都」「中央区」「日本橋」「箱崎」という熟語に分けられます。

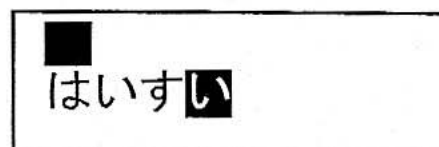
例 「排水路」と入力する

①「はいすい」と入力します。

[ローマ字入力の場合]



[かな入力の場合]



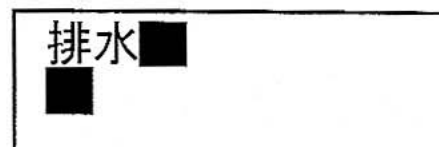
②漢字に変換します。

変換



③目的の漢字に変換されていますので、**実行** を押して確定します。

実行



- ・漢字変換は、目的の漢字ができるまで、**変換** キーを押し続けます。

漢字の入力

④次に「ろ」と入力し漢字に変換します。

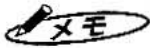
[ローマ字入力の場合]

た行 R ろ行 O 変換

[かな入力の場合]

ろ行 O 5回 変換

排水
ろ



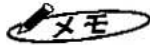
・1文字の場合、第一候補としてひらがなが表示されます。

⑤目的の「路」に変換されていません。

「路」に変換されるまで **変換** を押します。

変換 変換

排水
路

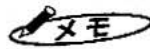


- ・ **変換** を押しすぎて目的の漢字が行過ぎたときは、**シフト** + **変換** を押すと前の候補に戻ります。(**シフト** を押しながら **変換** を押します。)
- ・あるいは **↑** を押しても前の候補に戻ります。
- ・ **変換** を一度押したあとでは、**↓** を押しても次の候補が表示されます。

⑥ **実行** を押すと「路」を確定し、「排水路」の入力が終了です。

実行

排水路



- ・“読み”として入力している文字は作画できません。必ず **実行** を押して確定してください。
- ・本機は「学習機能」を搭載しておりますので一度使用した「語句」は同じ“読み”ごとに学習され、次回の変換では最初に出てきます。

いくつかの熟語をまとめて変換する

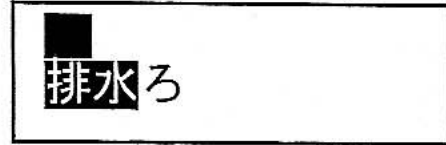
例 「排水路」と入力する

①「はいすいろ」と入力して、変換します。

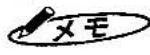
[ローマ字入力の場合]

[かな入力の場合]

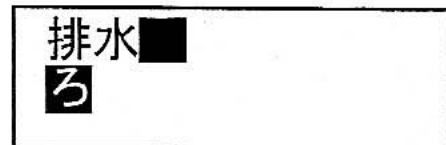
1回
 2回
 3回
 2回
 5回



「排水」が反転しているのは、「はいすい」を1熟語として区切っているからです。


 ・熟語の長さを により調節して、適切な文に変換することもできます。

②反転部の「排水」は適切な漢字に変換しています。反転部だけを確定するときには を押します。



次の文節「ろ」は自動的に変換します。(第一候補としてひらがなが表示されます。) を
 押して目的の「路」を表示させ、 を押して確定して下さい。

漢字の入力

単漢字変換

地名や人名などで特に難しい漢字を使う場合は、単漢字変換を使うと効率が上がります。単漢字変換では、同じ“読み”の単漢字リストを表示しますので目的の漢字を迅速に選ぶことができます。

例 「孔」と入力する

①「こう」と入力します。

[ローマ字入力の場合]

K ough ough

こう

[かな入力の場合]

か行 W 5回 あ行 Q 3回

こう

② **単漢** を押すと、単漢字リストを表示します。

単漢
記号

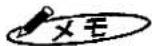
高好港甲後考侯公
こう

★ **↓** **↑** を押して単漢字リストをスクロールし、**←** **→** で目的の漢字を反転し **実行** を押し確定します。

③ **↓** を3回押すと右の表示になり、「孔」は4番目にありました。

溝工覚孔格宏攪巧
こう

→ を3回押し **実行** を押し確定ください。





・単漢字変換でもうまく変換できないときは、付録2の「JISコード一覧」によりJISコードを調べて「JISコード入力」（36ページ参照）してください。

文章の訂正

カーソルキーのはたらき

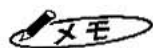
カーソルキーは、“読み”入力の状態によってはたらきが変わります。

(1) “読み”入力中

キー	はたらき
	“読み”入力画面のカーソルが1つ左に移ります。
	“読み”入力画面のカーソルが1つ右に移ります。

(2) “読み”入力中でないとき

キー	はたらき
	“確定”表示画面のカーソルが1つ左に移ります。
	“確定”表示画面のカーソルが1つ右に移ります。
	“確定”表示画面のカーソルが1ブロック上に移ります。
	“確定”表示画面のカーソルが1ブロック下に移ります。
 	ブロックの先頭にカーソルが移ります。 ( を押しながら  を押します。)
 	ブロックの末尾にカーソルが移ります。 ( を押しながら  を押します。)
 	文章の先頭にカーソルが移ります。 ( を押しながら  を押します。)
 	文章の末尾にカーソルが移ります。 ( を押しながら  を押します。)



・ブロックについては 47 ページ参照ください。

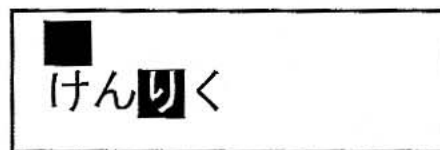
文章の訂正

“読み” 入力で打ち間違えた文字を訂正する

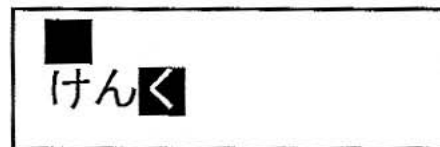
“読み” 入力はカーソル位置に挿入します。誤って入力した文字は **削除** を押して削除します。**取消** を押すと、“読み” 入力画面の文字を全部削除できます。

例 「けんりく」を「けんちく」に訂正する

① 間違えた「り」にカーソルを合わせます。

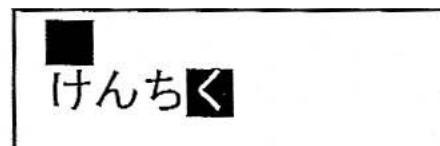


② 「り」を削除します。

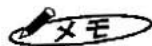
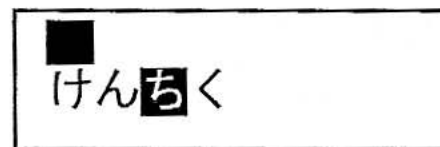


③ 「ち」を入力します。「<」の前に「ち」を挿入します。

[ローマ字入力の場合]



[かな入力の場合]




・“読み” がほとんど間違っていて、最初から入力をやり直した方が速いときは、**取消** を押してください。“読み” の全削除が行なえます。

確定文章を訂正する

本機は常に「挿入モード」になっていますので、誤った文字を削除し正しい文字を挿入する形で文章を訂正します。確定文章の削除には「削除」によりカーソル位置の文字を削除する方法と、「BS」によりカーソル位置の一つ前の文字を削除していく方法(後退機能)があります。また、「シフト」+「削除」を押すと、「確定」表示画面の文章の全削除を行なうことができます。

例 「本部事務所」を「現場事務所」に訂正する

①「本」にカーソルを合わせます。

「シフト」を押しながら  を押します。

■ 本 部 事 務 所

②「本部」を削除します。

「削除」 「削除」

■ 事 務 所

③「げんば」と入力します。

[ローマ字]

「ぼ行 G」 「せ行 E」 「N」 「B」 「A」

■ 事 務 所
げんば ■

[かな]

「が行 S」 4回 「わ行ん P」 3回

「ぼ行 G」 1回

■ 事 務 所
げんば ■

入力した文字は、「読み」の行に表示します。

④「現場」に変換して確定します。

「変換」

■ 事 務 所
現 場

「実行」

■ 現 場 ■ 事 務 所

★「現場」を「事務所」の前に挿入します。このようにカーソル位置に文字を挿入します。

文章の訂正

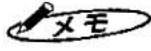
例 入力文章を全て削除する

本部事務所

- ① **シフト** + **削除** を押すとクリアの確認画面になります。(**シフト** を押しながら **削除** を押します。)


シフト **クリア**
削除

クリア？
実行 取消

 ・ “読み”入力があるときは **シフト** + **削除** を押すと“読み”を全削除します。

- ② **実行** を押すと入力文書を全削除します。

実行

 ・ **実行** を押さずに **取消** を押すとクリアを取りやめます。

記号入力

BL-120には一般記号、単位、電気シンボル、水道シンボル、絵文字を搭載しています。確定画面上でカーソルがある位置に挿入します。

例 「全」を入力する

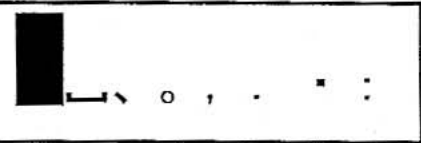
①“読み”を入力しないで **記号** を押すと、記号の種類を表示します。



記号種別 = 一般

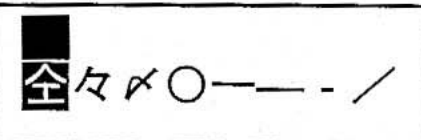
②「全」は一般記号に含まれますので「一般」が反転している状態で **実行** を押し、記号リストを表示させます。

実行



★ **↑** **↓** で記号リストをスクロールさせ、目的の記号が見つかったら、**←** **→** で選択し **実行** を押し確定します。

③ **↓** を3回押すと次の表示になり、「全」は1番目にありました。



④確定します。

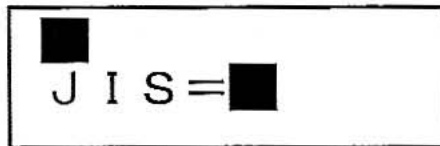
実行



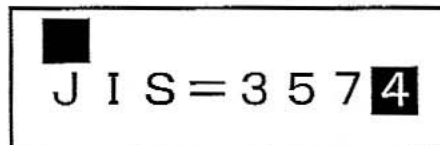
JISコード入力

例 「渠」を入力する

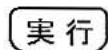
①JISコード入力を開始します。(**シフト** を押しながら **単漢** を押します。)



②「渠」のJISコード「3574」を入力します。JISコードは巻末付録のJISコード表で探します。

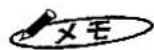
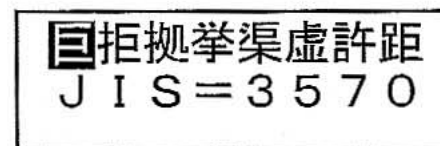


③ **実行** を押すと“確定”表示画面に「渠」の入力を行います。



★ここで、**実行** の代わりに **変換** を押すと、指定したJISコードの漢字を含む単漢字リストをディスプレイに表示しますので、カーソルキーで選択してください。JISコードがはっきり判らないときに便利です。なお、このときに表示するJISコードは反転した文字のJISコードです。

変換



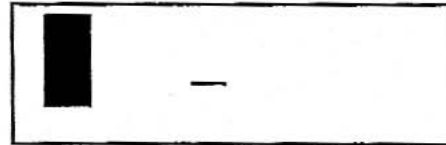
JISコード入力は、付録2「JISコード一覧」(122ページ参照)で必要な漢字や記号のJISコードを調べてから行ってください。

住所の郵便番号入力

本機は、7桁の郵便番号を入力することで住所を呼び出すことができます。長い住所入力も7桁の数値でスピーディな入力操作ができます。ただし、一部の住所について変換できないものがありますのでご了承ください。

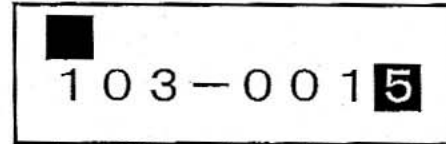
例 「東京都中央区日本橋箱崎町」を入力する

①住所の郵便番号入力を開始します。(**シフト** を押しながら **カナ** を押します。)

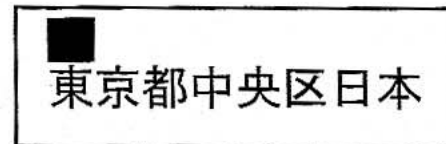
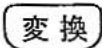


②「東京都中央区日本橋箱崎町」の郵便番号「1030015」を入力します。

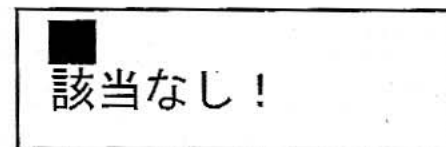
郵便番号がわからない場合には郵政事業庁発行の「ポスタルガイド」により調べてください。



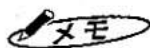
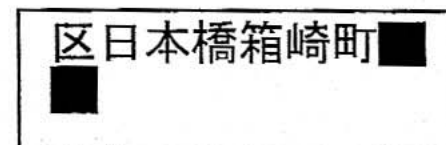
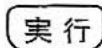
③ **変換** を押すと入力した郵便番号に該当する住所を表示します。



★このとき該当する郵便番号が見つからないときには「該当なし！」を表示し入力待ちの画面に戻ります。



④ **実行** を押すと入力画面のカーソル位置に挿入され確定します。**取消** を押すと無効となり入力待ちの画面に戻ります。



・郵便番号の中で一部変換できない住所がありますのでご了承ください。

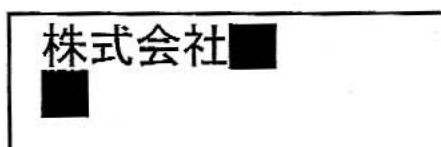
キー割付

数字キーの「0」～「9」に任意のキャラクタ及び文字列(8文字以内)を割り付けることができます。よく使う単位や記号、シンボル、熟語を割り付けることにより、入力の手間を省くことができます。ブロックマークは割り付けることはできません。なお工場出荷時に次のキャラクタを割り付けてあります。

数字キー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キャラクタ	~	!	"	#	\$	%	&	'	()

例 「株式会社」を数字キーの「2」に割り付ける

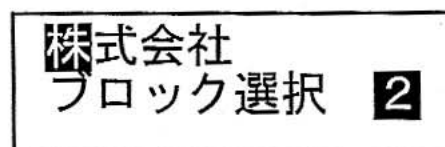
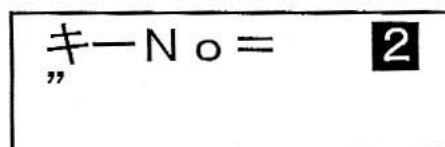
①あらかじめ割り付ける記号「株式会社」を入力しておきます。



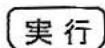
② **シフト** + **書式** を押し諸設定モードに入り、キー割付の項目を選択します。(**シフト** を押しながら **書式** を押し、**←** を数回押します。)



③ 割り付けるキーを **←** **→** または数字キーにより選択し **実行** を押します。画面の下端に現在割り付けられている内容を表示します。



④上段の画面の中から割り付けるブロックを指定します。「株式会社」を表示した状態で **実行** を押すと割り付けが完了し入力待ち画面に戻ります。



★ 以後 **シフト** + **2** を押すと「株式会社」を入力します。

専門用語の入力／登録

本機は、土木・電気・水道・建築関係の用語をあらかじめそれぞれ310個ずつ用意してあります。番号で呼び出すことで、用語を簡易に入力することができます。また、ユーザーが20個を登録することができます。よく使う単位や記号、熟語を登録することにより、入力の手間を省くことができます。

例 水道用語の「A型十字管」を入力する

①用語の種類選択モードにします。

用語

業種選択=**土木**

② **←** または **→** を何度か押し「水道」を表示します。



業種選択=**水道**

②実行を押すと、以前選択された用語が番号とともに表示されます。

あるいは、以前登録した用語が番号とともに表示されます。

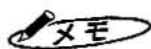
実行

A型T字管
用語番号=**1**

④選択する用語の番号を入力し、**実行** を押すと用語が表示されます。

2 **実行**

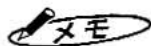
A型十字管
用語番号=**2**



- ・ **←** または **→** で番号を変更することができます。
- ・ 間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力し直せます。

⑤ **実行** を押すと入力画面のカーソル位置に挿入され確定します。**取消** を押すと無効となり入力待ちの画面に戻ります。

実行





- ・ 用語の番号選択は付録3「用語一覧」(153ページ参照)で必要な番号を調べるか、**←** または **→** で表示して選択してください。

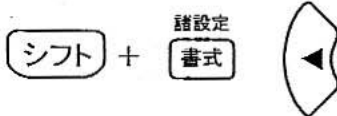
専門用語の入力／登録

例 水道用語の312番に「C型十字管」を登録する

①まず登録する用語を入力します。

C型十字管

②諸設定モードにし  または  を何度か押し「用語登録」を表示します。



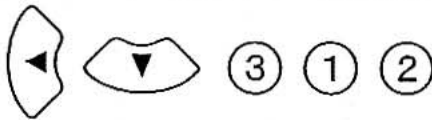
【諸設定】
用語登録

③ **実行** を押すと、業種と用語番号が表示されます。

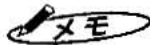
実行



業種選択 = **土木**
用語番号 = 3 1 1

④業種として「水道」を表示させ、用語番号として「312」を入力します。



業種選択 = **水道**
用語番号 = 3 1 **2**

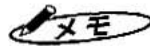




- ・各業種ごとに、311から330までの20の番号に登録することができます。
- ・番号を反転させた状態では  または  で番号を変更することができます。ただし、番号の表示が311から330のときに限ります。
- ・番号は **削除** **BS** を押すと入力直せます。

⑤ **実行** を押すと上段に確定表示画面の文字が表示されます。

実行

C型十字管
用語番号 = 3 1 2



- ・ブロックを使用して文字を入力していると、 または  でブロックを変更することができます。表示されたブロックの文字を登録することができます。
- ・用語はブロックの先頭から20文字までが登録されます。ただし、ブロックマークは含みません。
- ・ブロックについては 47ページを参照して下さい。
- ・あらかじめ登録した番号に別の文字を登録すると、上書き登録されます。

⑥ **実行** を押すと登録が完了し、入力待ち画面に戻ります。

実行

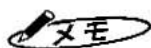
改行の入力

改行を入力することで、一度に多行を作画することができます。また、行毎に文字の大きさを変えられるので、宅配便の宛名等を一度に作画するときに便利です。

例 改行を入力する

① **シフト** + **実行** を押します。(シフトキーを押しながら実行キーを押します。)

シフト + **実行**



- ・“読み”入力画面に文字があると入力できません。
- ・改行は 8行まで作画可能で、改行を多く入力した場合は、**スタート** を押したときに警告音が鳴りカーソルが 8個目の改行に移ります。
- ・改行作画については、49ページを参照ください。

3章

作画

この章では、効率的な作画を行うために設定する機能について説明します。

作画	4 4
開始と中断	4 4
ペン移動	4 5
ブロック作画	4 7
改行作画	4 9
サイズ変更	5 0
縦自動縮小	5 1
ペン位置	5 2
一行目書出位置	5 3
始終点確認位置	5 3
ペン移動	5 4
作画範囲エラー	5 4

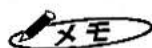
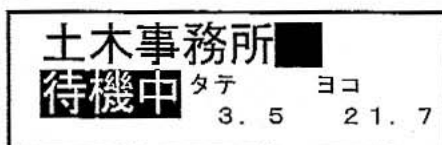
作画

開始と中断

入力が終了したら次の順序で作画を行います。

①設定状態の確認

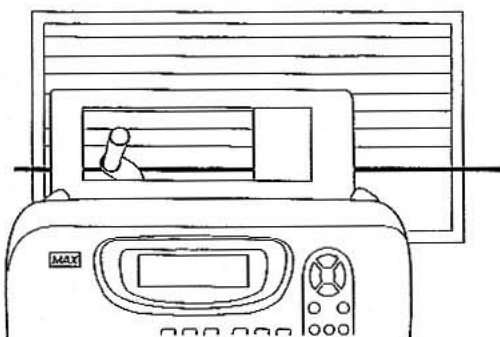
スタート を押すと作画待機中になりディスプレイに「待機中」を表示します。また「作画する大きさ」を表示しますので確認してください。



・ディスプレイ中のタテ、ヨコの数値は作画する大きさを表示しています。

②位置を合わせる

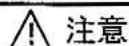
書きたい位置にペン先を合わせます。



③作画する

スタート を押すと、作画する文字列の始まりから最後尾の間をペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。ディスプレイには「始終点」と表示します。良ければもう一度 **スタート** を押すと作画を開始します。作画するときは動かない様に本機を上から手で軽く押さえてください。

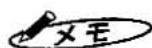
土木事務所



注意

危険ですので動作中は顔を近づけないでください

★作画動作を中断する場合は **取消** を押してください。ペンが書き始めの位置に戻ります。

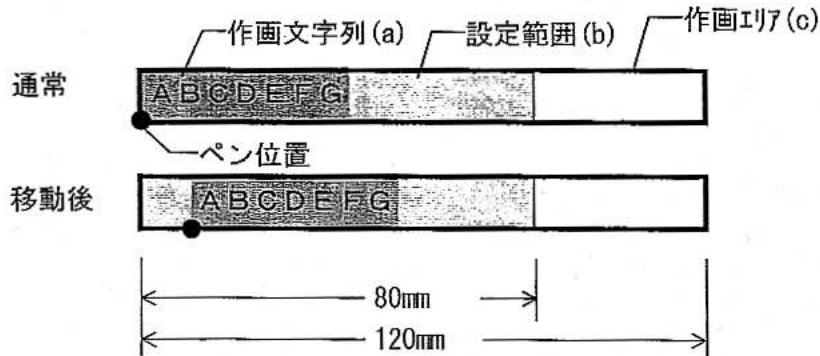


- ・ボールペンの特性により書き始めはインクがかすれることがあります。
- ・作画範囲は、最大横120ミリ×縦30ミリです。
- ・作画範囲をオーバーすると、待機中にエラーを表示し、**スタート** を押したときには警告音が鳴りカーソルが作画範囲を越える文字に移ります。
- ・「作画待機中」、「始終点確認中」を中断し通常画面に戻る場合は **取消** を押してください。
- ・始終点確認機能は解除できます。75ページを参照ください。
- ・改行を入力した多行書きの作画は49ページを参照ください。

ペン移動

作画待機中に **移動** + **←** あるいは **移動** + **→** を押すと(**移動** キーを押しながら **←** キーあるいは **→** キーを押すと)ペン位置を左右に移動して作画開始位置を変更することができます。ただし、下図のようにペンの移動範囲は範囲設定により設定した範囲内に限ります。ペン移動機能を使う際には、範囲設定120mmにて使用ください。ペン位置合わせの微調整やペンを横方向に移動させて表枠に合わせた文字を記入するときに便利です。

例)範囲設定80mmとしペン移動を行ったとき

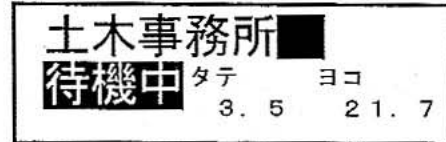


ペン移動により作画文字列(a)が設定範囲(b)を超えると「範囲オーバー」を表示しエラーとなります。

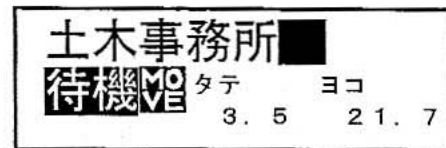
例 ペン移動の操作その1

①文字を入力し **スタート** を押すと作画待機中の状態になります。

(ディスプレイには「待機中」の表示と
作画する大きさを表示します。)



②作画待機中の状態で **移動** + **←** を押すとペン位置を左に、**移動** + **→** を押すとペン位置を右に移動できます。文字の記入したい位置にペン先を合わせた後、これらのキーによりペン先を調整しペンの位置決めをします。ペン移動を行なうと画面に「MOVE」と表示します。



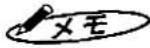
③作画する

もう一度 **スタート** を押すと、作画する文字列の始まりから最後尾にペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。ここで再度位置調整が必要な場合には **取消** を押して作画待機中に戻した後で **移動** + **←**、**移動** + **→** にて調整してください。良ければ **スタート** を押すと始終点確認となり更に **スタート** を押すと作画を開始します。

④作画を終了すると通常の作画と違い終了した位置でペンは止まっています。終了位置からペン移動し、ブロック作画を使用時には他のブロックへ変更しながら引き続き作画を継続できます。また、**取消** を押すと作画待機中のまま基準のペン位置に戻ります。

⑤作画を終了し **取消** を押すとペンが基準位置に戻り入力待ちの状態に戻ります。

作画

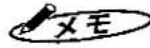
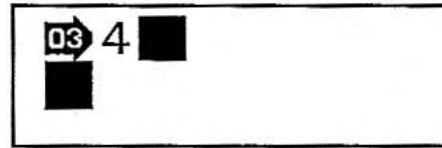


・作画待機中にペン移動を行った後「範囲」の設定変更を行うとペンは基準位置に戻り画面の「MOVE」表示が消え、「待機中」の表示に戻ります。

例 操作その2「平成 年 月 日」のフォーマットに年月日を記入する

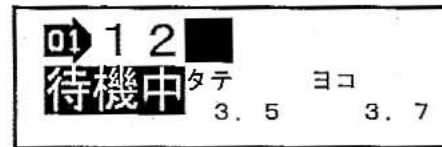
①ブロック作画にて「12」「3」「4」をブロック分けして入力します。

入力は **ブロック** 1 2 **ブロック** 3 **ブロック** 4 の順に行います。

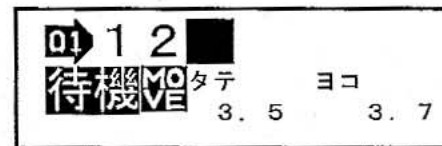


・入力モードが「ローマ字」「かな」の場合は **ブロック** を押す前に **実行** を押して入力画面のデータを確定してください。入力モードが「英大」「英小」の場合は **実行** を押す必要はありません。

②カーソルキーでブロック1の「12」を表示し、**スタート** を押すと作画待機中の状態になります。



③作画待機中の状態で **移動** + **←**、**移動** + **→** を押しペン位置を「平成」と「年」の間に記入できる位置に移動します。ペン移動を行なうと画面に「MOVE」と表示します。



④作画する

スタート を押すと、作画する文字列の始まりから最後尾にペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。ここで再度位置調整が必要な場合には **取消** を押して作画待機中に戻した後で **移動** + **←**、**移動** + **→** にて調整してください。良ければもう一度 **スタート** を押すと始終点確認となり更に **スタート** を押すと作画を開始します。

⑤作画を終了すると終了した位置でペンは止まっています。カーソル移動キーでブロック2「3」に表示を変更します。終了位置からペン移動し「年」と「月」の間にペンを移動し③の操作を繰り返します。ブロック3の「4」も同様な操作を繰り返すと次のように「平成12年3月4日」と作画できます。

平成 12 年 3 月 4 日

ブロック作画

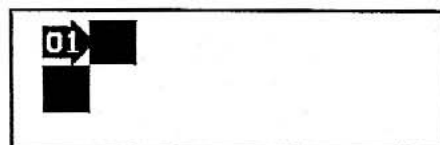
ブロック作画とは、ブロックに分けて入力した文章をその都度選択して作画する機能です。例えば初めにある工事に関係する名称を1つのグループとして入力しておき、あとで必要な語句を選択して作画したり、また表内の複数行に渡る作画には、各行の文章をブロックで区切って入力しておき、あとで各文章を選択して作画することで、入力と作画の繰り返しをなくし、まとめて入力しまとめて作画できます。

例 「01機械掘削02機械盛土03機械埋戻04機械切取」の文章から、「機械掘削」と「機械切取」を作画する

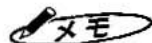
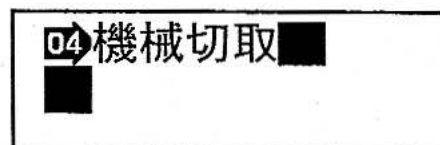
①例題の文章を入力します。文章はブロックに分けて入力します。

ブロック を押すとブロックマークを表示し文章を区切ります。

ブロック

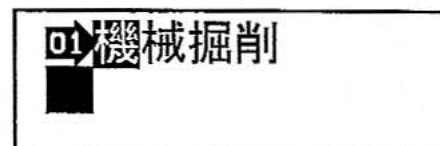


つづけて「機械掘削 **ブロック** 機械盛土 **ブロック** 機械埋戻 **ブロック** 機械切取」と入力します。



・ブロックマークを削除するには、ブロックマークにカーソルを合わせ **削除** を押してください。

②カーソルキーで「機械掘削」を表示させます。



③「機械掘削」を作画します。

スタート

[作画待機]

スタート

[始終点確認]

スタート

作画開始

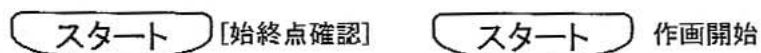
★ペンは「機械掘削」を作画した後書き始めの位置で一時停止し、次のブロック作画のための待機状態になります。

ブロック作画

④次にカーソルキーで「機械切取」を表示させます。



⑤「機械切取」を作画します。



「機械切取」を作画した後、再び待機状態に戻ります。

⑥「作画待機中」に **取消** を押すとブロック作画を取りやめます。

★ブロック作画時のカーソルキーのはたらき

キー操作	カーソル位置の移動
↑	前ブロックの文字列の先頭
↓	次ブロックの文字列の先頭
←	通常の左移動(1文字分)
→	通常の右移動(1文字分)
シフト + ↑	文頭
シフト + ↓	文末
シフト + ←	表示中のブロックの文字列の先頭
シフト + →	表示中のブロックの文字列の末尾

改行作画

改行を入力すると、一度に多行を作画することができます。各行毎に文字の大きさを変更できるので、宅配便の宛名等の作画ができます。また、各行毎の設定を文字とは別に記憶できるので、宛先を変更するだけで、次々と作画できます。ブロック作画と併用すると、宛先を複数先に入力して後からまとめて作画することができます。

例 「東京都中央区日本橋箱崎町6-6 マックス株式会社」の文章を作画する

- ①例題の文章を入力します。改行は **シフト** を押しながら **実行** を押して入力します。改行を入力しますと、改行する所にディスプレイ上では **■** が表示されます。

ックス株式会社 ■

- ②作画します。 **スタート** を押すと、待機中の表示となり、ペンが移動します。書きたい位置にペン先を合わせます。

スタート

ックス株式会社 ■
待機中 タテ ヨコ
13. 3 35. 0

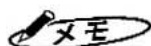
- ③作画する

スタート を押すと、作画する文章の始まりから最後尾にペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。ディスプレイには「始終点」と表示します。良ければもう一度 **スタート** を押すと作画を開始します。作画するときは動かない様に上から手で押さえてください。

スタート

スタート

東京都中央区
日本橋箱崎町6-6
マックス株式会社

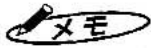


- ・待機中のペン位置は52ページを参照ください。
- ・改行作画時の始終点確認動作については53ページを参照ください。
- ・改行を多く入力したり、文字サイズを大きくすると、作画範囲オーバーのエラーとなります。54ページを参照ください。

改行作画

サイズ変更

例 「103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 マックス株式会社」の文章を作画する
1行目のサイズを4mm、2行目以降のサイズを6mmとする



・待機中ならば文字の入力はできません。[取消]を押して通常画面に戻してください。

①文章をすべて入力したら、カーソルを1行目に移動します。

[←]を何度か押すか、押し続けます。あるいは、[シフト] + [←] または [シフト] + [↑]を押します。

1 0 3 - 8 5 0 2

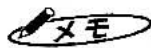
② 1行目の文字サイズを変更します。

[サイズ] を押し、[4] を押し、[実行] を押します。

[サイズ] (4) [実行]

1 行目
サイズ = 3. 5

1 行目
サイズ = 4



・詳しくは、58ページ(文字サイズ)を参照ください。実行でサイズが変更され、通常画面に戻ります。

1 0 3 - 8 5 0 2

③カーソルを2行目に移動します。

[→]を9回押します。

3 - 8 5 0 2 ← 東

④ 2行目の文字サイズを変更します。

[サイズ] を押し、[6] を押し、[実行] を押します。

2 行目
サイズ = 前行同じ

改行作画

⑤ (続き)

⑥ 実行

2行目
サイズ= 6

3-8502 ←東

⑥作画します。[スタート]を押すと、待機中の表示となり、ペンが移動します。
書きたい位置にペン先を合わせます。

スタート

3-8502 ←東
待機中 タテ ヨコ
29.2 60.6

⑦作画する。

[スタート]を押すと、作画する文章の始まりから最後尾にペン先が移動しますので作画範囲を確認してください(始終点確認機能)。ディスプレイには「始終点」と表示します。良ければもう一度 [スタート] を押すと作画を開始します。作画するときは動かない様に上から手で押さえてください。

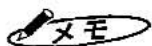
スタート

スタート

103-8502
東京都中央区
日本橋箱崎町6-6
マックス株式会社

縦方向自動縮小

改行を入力して文字サイズを大きくするか、改行を多く入力すると、縦方向の作画範囲 30mmを越えてしまうことがあります。このとき、縦方向に縮小を行ない作画範囲に納まるように作画します。また、範囲設定で縦範囲を小さく設定した場合は、設定した縦範囲に納まるように縦方向に縮小します。なお、縦方向のみの縮小を行なうので、文字は平体(文字幅が100%より大きい)となります(横書きの場合)。



縮小は、「自動縮小をする」と設定した場合に行ないません。「自動縮小しない」と設定するか、文字サイズを大きくするか、改行を多く入力するとすると、作画範囲オーバーとなることがあります。作画範囲オーバーについては 55ページを参照ください。

設定した内容

サイズ10mm
サイズ5mm 行間隔7mm

計17mm

10mm

縮小した作画

サイズ10
サイズ5mm

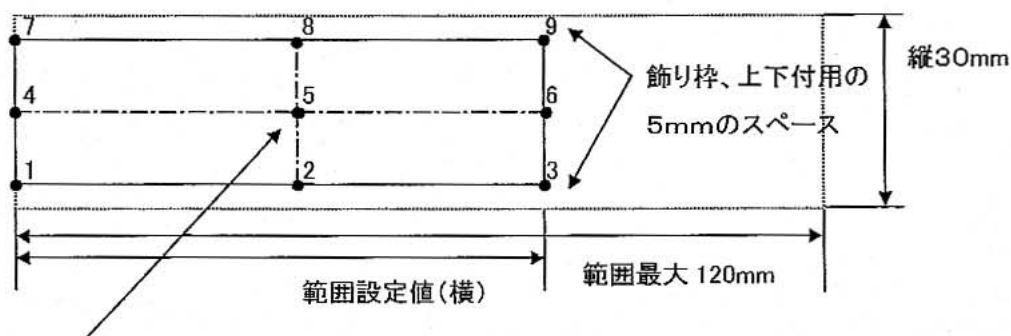
縦範囲10mm

改行作画

ペン位置

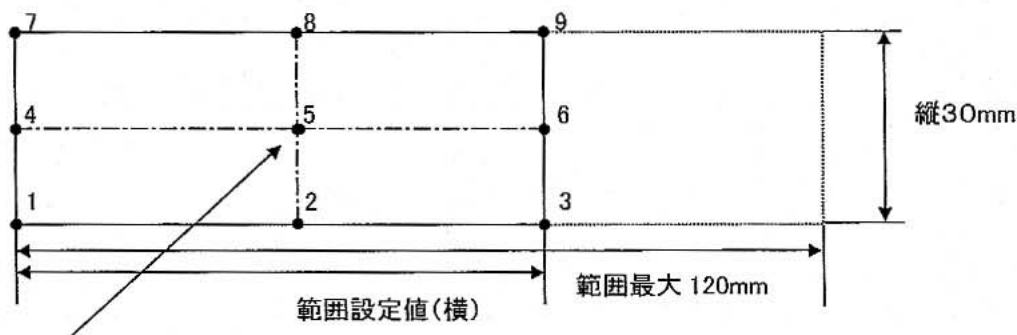
改行を入力して作画する場合の作画位置は 1行作画と異なります。**スタート** を押して待機中になるときや、待機中にブロックを変更したときにペンが次のように移動します。位置合わせ・範囲の設定に従って次のようになります。

文字入力時 & 1行作画時のペン位置

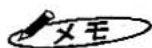


- で示した9点が文字入力時と 1行作画時のペン位置で、それぞれ位置合わせの設定の1~9に対応します。(64ページ参照)

多行作画時のペン位置



- で示した9点が多行作画時のペン位置で、それぞれ位置合わせの設定の1~9に対応します。

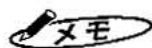
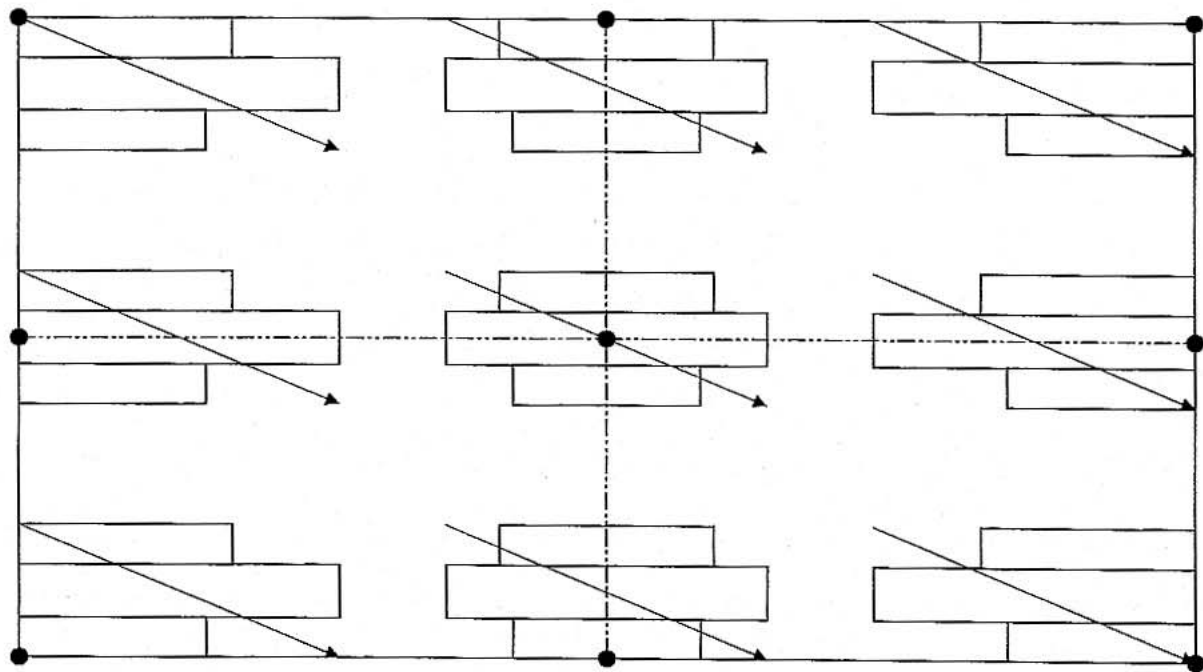


- ・改行を入力していると、**スタート** を押して待機中になるときは、ペンが上下方向に移動することがあります。また、逆に、待機中から通常入力画面に戻るときにもペンが移動することがあります。
- ・ブロック作画では、ブロック毎に1行あるいは多行となっている場合があります。待機中にカーソルを移動してブロックを変更すると、1行から多行、あるいは多行から1行になる場合にペンが移動することがあります。
- ・位置合わせについては、本文64ページをご覧ください。

始終点確認位置

改行を入力しているときの始終点確認の位置は 1 行書きの場合と異なります。下図に始点、終点を示します。大きな四角は作画範囲を表し、●の9点はペン位置で、位置合わせの設定 1~9に対応しています。小さな四角は入力した文字列を示します。

始点と終点は矢印で表し、矢印の元が始点で先が終点です。



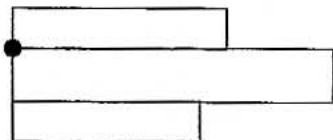
・始終点確認のペン移動では、ペン先はいったん終点に移動してから始点に移動します。

一行目書出し位置

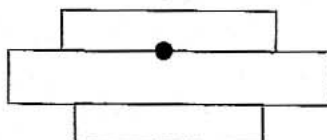
一行目書出し位置を設定していると、1行目の下側をペン位置とするので用紙の罫線に合わせることが容易になります。下図に●でペン位置を示します。位置合わせの設定によって、1行目の文字とペン位置の位置関係が異なります。

位置合わせの設定

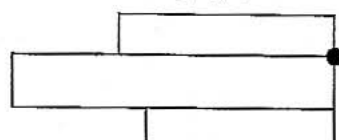
1, 4, 7



2, 5, 8



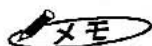
3, 6, 9



改行作画

ペン移動

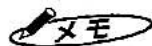
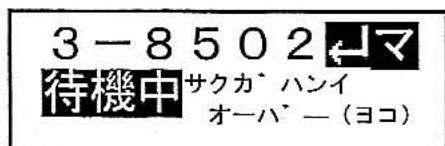
多行書きの場合は、ペンを上下方向にも移動が可能です。作画位置の微調整に利用できます。



- ・一行目書出し位置を設定していて、位置合わせが上段の7, 8, 9の場合にペンを上方に移動したり、下段の1, 2, 3の場合にペンを下方に移動すると、範囲オーバーとなって作画できなくなります。一行目書出し位置を設定する場合は、位置合わせを2, 5, 8と設定すると、上下方向へ微調整が容易となります。
- ・ペンを元の位置に戻すには、**範囲** **実行** **実行** とキー入力してください。
- ・「MOVE」表示しているときに作画すると、作画後のペン位置は最後に作画した文字の右側となります。(縦方向の位置は作画前と同じ高さとなります。)
「サクガハンイオーバー」と表示されることがありますので、**範囲** **実行** **実行** とキー入力してペンを元の位置に戻すか、移動キー入力でペン位置を変更してください。

作画範囲エラー

待機中のときには、作画する大きさを表示します。このとき、設定されている範囲より大きい場合と、自動縮小すると縮小限界より小さくなってしまいう場合にエラーを表示します。その表示のままで **スタート** を押すと、警告音とともに、「範囲オーバー」の表示をします。



- ・上記は横方向に縮小した場合のエラー表示で、縦方向の縮小でエラーとなった場合は(タテ)を表示します。
- ・ペン移動した結果作画範囲を越えてしまう場合は、サクガハンイオーバーを表示します。
- ・縮小限界とは、文字幅が50~200%の範囲外であることか、文字サイズが2mm未満であることです。横方向へ縮小する場合は、横書きでは幅が小さくなり、縦書きではサイズが小さく、幅が大きくなります。縦方向に縮小する場合は、横書きではサイズが小さく、幅が大きくなり、縦書きでは幅が小さくなります。

4章

パラメータの設定

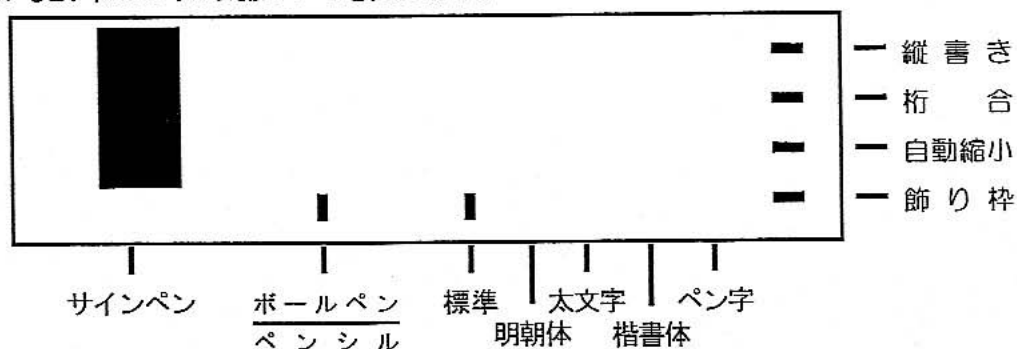
この章では、文字の大きさを変えたり、レイアウトを変えたりする方法について説明します。

パラメータの設定	56
設定状態表示	56
設定の初期値と範囲	56
文字サイズ	58
(多行の) 文字サイズ	59
文字幅	60
半角数字	61
文字間と桁合せピッチ	62
位置合わせ	64
範囲作画	66
均等配列	67
書体変更	68
太文字／ペン字	68/69
明朝体／楷書体	70/71
横書き／縦書き	72
行間隔	73
一行均等配列	74
始終点確認機能	75
一行目書出し位置	76
県名削除機能	77
作画速度	78

パラメータの設定

設定状態表示

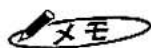
ペン種類、書体設定はディスプレイの最下段に表示し、変更と同時に表示も変わります。縦書き、桁合せ、自動縮小、飾り枠は設定しているとディスプレイの右側にマークを表示します。



設定の初期値と範囲

設定列ア
 シフト + BS 実行
 シフト キーを押しながら BS キーを押し、次に 実行 キーを押すと以下のパラメータは初期値に戻ります。

<パラメータ>	<範囲>	<初期値>	<参照ページ>
文字サイズ	2.0~20.0mm	3.5mm 前行同じ	58
文字幅	50~200%	100%	60
半角数字	する/しない	しない	61
桁合せ	する/しない	しない	63
文字間	0.0~20.0mm	自動	62
桁合せピッチ	0.0~20.0mm	自動	63
行間隔	自動/2.0~28.0mm	自動	73
一行均等配列	自動/する/しない	自動	74
位置合せ	1~9	ポジション1 =左詰かつ下合わせ	64
範囲設定 横 縦	1.0~120.0mm 5~30.0mm	120.0mm 30.0mm	66
横均等配列	する/しない	しない	67
自動縮小	する/しない	する	67
書体	標準/太字/ペン字 明朝体/楷書体	標準	68~71
太文字の太さ	0.1~1.0mm	0.1mm	68
塗り潰し	する/しない	する	70, 71
横・縦	横書/縦書	横書	72
始終点確認	する/しない	する	75
1行目書出位置	する/しない	しない	76
県名削除	する/しない	しない	77



メモ

以下の設定は初期化しません。

- ・ 表示濃度 ・ 入力モード ・ ペン切替 ・ 作画速度
 - ・ キー割付 ・ 用語登録 ・ メモリ ・ はやわざ
- ・ 各行毎に設定可能な文字サイズはカーソルが1ブロック目にある場合は、1ブロック目の1行目が3.5mmに初期化され、他の全行のサイズは「前行同じ」に初期化されます。カーソルが2ブロック目以降にある場合は、そのブロックの全行が「前行同じ」に初期化されます。他のブロックの各行のサイズは変更されません。
- ・ 各行毎に設定可能な行間隔は、カーソルが1ブロック目にある場合は、全ブロックの2～8行が「自動」に初期化されます。(1行目は設定がありません。)カーソルが2ブロック目以降にある場合は、そのブロックの2～8行が、「自動」に初期化されます。他のブロックの各行の行間隔は変更されません。
- ・ 各行毎に設定可能な一行均等配列は、カーソルが1ブロック目にある場合は、全ブロックの全行が「自動」に初期化されます。カーソルが2ブロック目以降にある場合は、そのブロックの全行が、「自動」に初期化されます。他のブロックの行間隔は変更されません。

文字サイズ

文字サイズとは、文字を囲む正方形の外枠の一辺の長さをいいます。実際の文字の大きさと一致しません。また、文字ごとにバランスを取っているため、同じサイズでも1文字1文字のサイズは少しずつ異なります。文字サイズの初期値は3.5mmで、最小2.0mmから最大20.0mmまで0.1mm単位で設定できます。改行を入力した多行書きの場合行毎に文字サイズを変えて、宅配便の宛名等を作画することができます。設定する行の番号を表示します。

サイズ サイズ サイズ サイズ サイズ

例 文字サイズを7.5mmに設定する

① **サイズ** を押すと、文字サイズの設定画面に切り換わり現在の設定値を表示します。

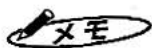
サイズ

1行目
サイズ = 3. **5**

②「7.5」と入力します。

(7) (.) (5)

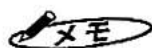
1行目
サイズ = 7. **5**



- ・ **←** **→** キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力し直せます。
- ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。
- ・ **取消** を押すと設定を取りやめ通常の入力画面に戻ります。

③ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

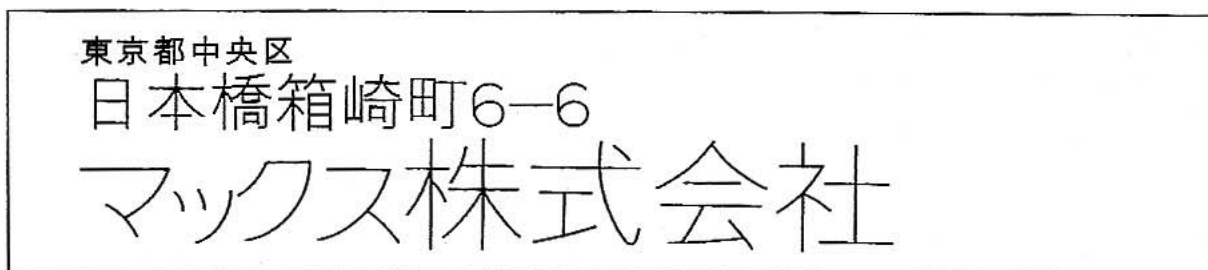
実行



- ・ 他のパラメータ設定においても **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。
ただし、文字間パラメータの桁合せする/しないについては初期化しません。
- ・ 他のパラメータ設定においても **取消** を押すと設定を取りやめ通常の入力画面に戻ります。ただし、範囲作画パラメータの自動幅画面においては、範囲設定画面に戻ります。
- ・ 1行毎にタ設定においても **取消** を押すと設定を取りやめ通常の入力画面に戻ります。
ただし、範囲作画パラメータの自動幅画面においては、範囲設定画面に戻ります。

文字サイズ

改行を入力して、カーソルが2行目以降にあるときにサイズを設定することで、行毎に文字のサイズを変更することができます。



例 文字サイズを7.5mmに設定する

- ① **サイズ** を押すと、文字サイズの設定画面に切り換わり現在の設定値を表示します。

サイズ

2行目
サイズ=**前行同じ**

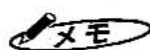
- ②「7.5」と入力します。

⑦ ① ⑤

2行目
サイズ= 7. **5**

- ③ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行



- ・ **←** **→** キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力し直せます。
- ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。
- ・ カーソルが1ブロック目の1行目以外にある場合の初期値は「前行同じ」です。
- ・ 「前行同じ」とは、2行目ならば1行目のサイズ、3行目ならば2行目のサイズということです。
- ・ カーソルが2ブロック目以降の1行目にある場合、文字サイズが「前行同じ」ときに作画する文字のサイズは、前のブロックの1行目と同じサイズとなります。
- ・ **取消** を押すと設定を取りやめ通常の入力画面に戻ります。
- ・ 改行を多数入力して、カーソルが9行目以降にある場合には、文字サイズは設定できません。(一度に作画できるのは、8行までとなっています。)
- ・ 改行については、45ページの改行作画を参照ください。
- ・ ブロックについては、45ページのブロック作画を参照ください。

文字幅

文字幅とは文字の高さに対する文字の幅の割合をいい、初期値を100%とする百分率(%)で表わします。文字幅の初期値は100%です。文字幅は、最小50%から最大200%まで1%単位で設定できます。半角数字の設定を「する」にすると、数字のみ他の文字に対して文字幅が70%になります。

文字幅	岡山市3-38-28	(半角数字しない)
文字幅	岡山市3-38-28	(半角数字する)
文字幅		

例 文字幅を75%に設定する

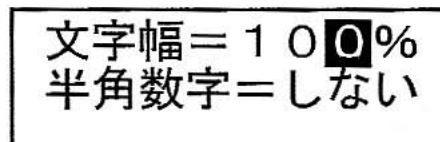
①まず書式モードにします。

書式



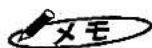
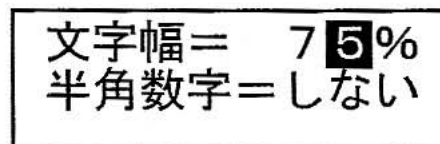
③ [実行] を押すと現在の設定値を表示します。

実行



②「75」と入力します。

7 5



- ・ [←] [→] キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は [削除] あるいは [BS] を押すと入力し直せます。
- ・ [シフト] + [削除] で初期値に戻せます。
(文字幅と半角数字の設定を共に初期値に戻します。)

③ [実行] を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

文字幅

例 半角数字の設定をする

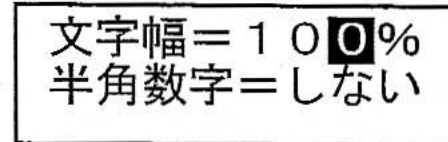
①まず書式モードにします。

書式

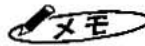
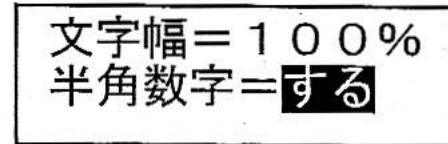
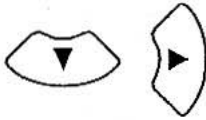


③ 実行 を押すと現在の設定値を表示します。

実行



②半角数字「しない」を反転させ、「する」に変更する。



シフト + 削除 で初期値に戻せます。

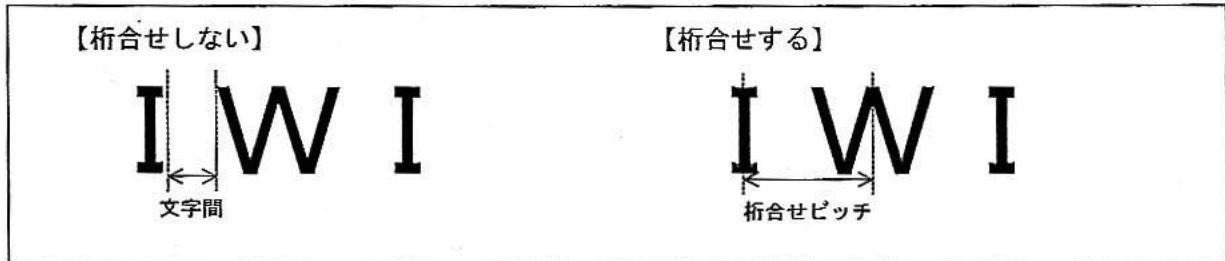
(文字幅と半角数字の設定を共に初期値に戻します。)

③ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

文字間と桁合せピッチ

文字間とは、文字と文字の間隔です。桁合せしないとき(初期値)は、文字の右端からつぎの文字の左端までの間隔になります。桁合せしているときは、文字のセンターからセンターまでのピッチになります。文字間は0~20mmまで0.1mm単位で設定できます。文字間を自動で設定しているときは文字サイズHにより決まります。桁合せしているときはH、桁合せしていないときは3/10Hになります。なお、初期値は「自動」です。



例 文字間を5mmに設定する

① まず書式モードにします。

書式



② ← または → を何度か押し「文字間」を表示します。

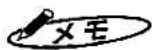
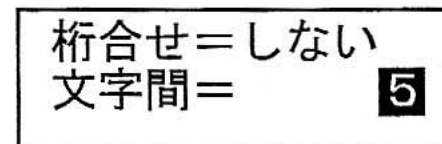


③ 実行 を押すと現在の設定値を表示します。

実行



④ 「自動」を反転させ「5」と入力します。



- ・ ← → キーを押して数値を変えることもできます。
- ・間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力し直せます。
- ・ **シフト** + **削除** で文字間の設定は初期値に戻せます。

⑤ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

文字間と桁合せピッチ

例 桁合せピッチを10mmに設定する

① まず書式モードにします。

書式



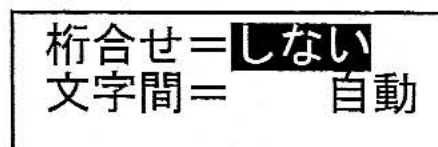
② ← または → を何度か押し「文字間」を表示します。

← または →

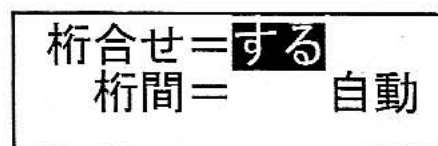


③ 実行 を押すと現在の設定状態を表示します。

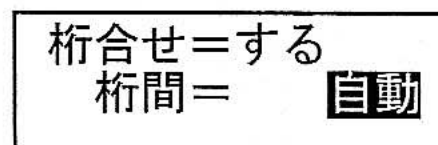
実行



④ → を押し桁合せ「する」に変更します。

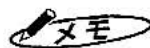
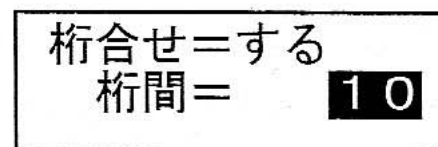


⑤ ↓ を押し桁合せピッチ(桁間)の設定に進みます。



⑥ 「自動」が反転している状態で「10」と入力します。

① ②



- ・ ← → キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は 削除 あるいは BS を押すと入力し直せます。
- ・ シフト + 削除 で桁間の設定は初期値に戻せます。

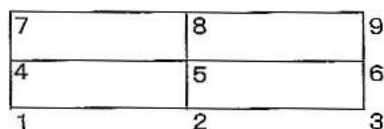
⑦ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

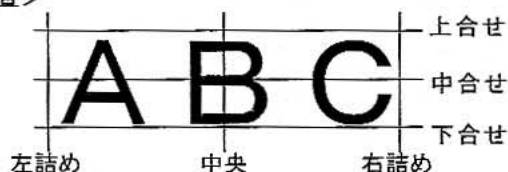
位置合せ

位置合せとは入力した文字列のどの位置にペン先を合わせるかを定めるものです。位置は横方向3箇所と縦方向3箇所の組み合わせで、下記の9箇所となっています。それぞれの文字列に対するペンの位置は下図のようになっています。

<位置合せ番号>



<位置>



位置合せ番号と位置の関係

7:左詰めかつ上合せ	8:中央かつ上合せ	9:右詰めかつ上合せ
4:左詰めかつ中合せ	5:中央かつ中合せ	6:右詰めかつ中合せ
1:左詰めかつ下合せ	2:中央かつ下合せ	3:右詰めかつ下合せ

表への記入例

設備工事清算書		
種類	数量	金額
床タイル張り工	1	50,000
器具取付工事	1	40,000
コンクリート補修	10	10,000
インパート柵	1	5,000

上記表の位置合せ

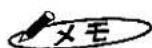
(種類欄)位置合せ番号1:左詰めかつ下合せ

(数量欄)位置合せ番号2:中央かつ下合せ

(金額欄)位置合せ番号3:右詰めかつ下合せ

「●」マークは書き始めのペンの位置

このように表中へ記入する際、文字列を罫線の左側に寄せたり、中央に配置したり、右側に寄せることができます。また、範囲設定に表の列幅を設定すると、列幅を超えて作画することを防げます。(範囲設定66ページ参照)



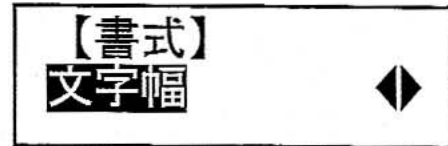
改行を入力した多行書きの場合は、作画位置、ペン位置に違いがあります。52ページを参照ください。

位置合せ

例 中央かつ中合わせに設定する

① まず書式モードにします。

書式

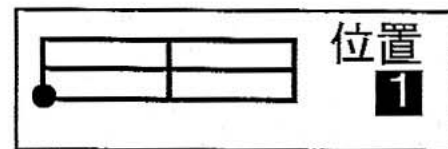


② ← または → を何度か押し「位置合せ」を表示します。

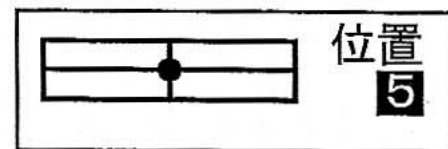


③ 実行 を押すと現在の設定値を表示します。

実行



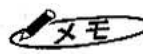
④ 5 を押すか、●をカーソルキーで移動します。



 **メモ** ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。

⑤ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

 **メモ** **実行** を押すと設定位置にペンが移動します。

範囲作画

範囲作画とは設定した範囲内に作画を行なうことです。範囲作画することで下記のメリットがあります。設定範囲は横が1~120mm、縦が5~30mmで0.1mm単位で設定できます。初期値は横120.0mm、縦30.0mmです。



範囲作画のメリットと設定内容

	範囲作画のメリット	設定内容
①	設定した範囲に文字列を収める自動調整ができる まず自動的に文字間隔を最小限(0.6mm)まで狭くし、これでも設定範囲に収まらない場合文字幅を最小50%まで縮小し(文字幅自動縮小機能)、設定した範囲に収めるよう調整します。なお、文字間隔・文字幅を最小限まで縮小しても収まらない場合は、範囲オーバーのエラー表示を行ないます。この場合は文字サイズを小さくしてください。	・範囲設定=任意 ・均等配列=するorしない (どちらか) ・自動幅=する
②	文字を範囲内に均等に配置することができる(均等配列) 設定した範囲内で文字を均等に配置します。実際の設定した範囲が文字列を超える場合は、①と同様の自動調整を行ないます。(文字幅を自動調整したくない場合は自動幅の設定を「しない」にしてください。この場合文字間隔は最小0mmまで自動調整します。)	・範囲設定=任意 ・均等配列=する ・自動幅=する
③	文字列が作画したい範囲を超えてしまうことを事前に確認できる 実際の作画範囲が設定した範囲を超えてしまうと、範囲オーバーのエラー表示を行ないますので、作画してから作画したい幅を超えてしまうことを防げます。エラーとなったら文字サイズ、文字幅、文字間(最小0mm)の設定を変更してください。	・範囲設定=任意 ・均等配列=するorしない (どちらか) ・自動幅=するorしない (どちらか)



- ・桁合せの設定をしているときは横方向の自動縮小は行ないません。
- ・均等配列と桁合せの両方の設定をしている場合、範囲設定の設定値と文字列の長さによって桁合せピッチを最小0mmまで自動縮小しますので文字が重なることがあります。
- ・均等配列は横方向のみに行ない、縦方向には行ないません。
- ・縦書きの場合の横方向の自動縮小は文字サイズを小さくすることで行います。
- ・縦方向の設定は多行書きの場合に有効となり、1行書きの場合は文字サイズで設定した文字の大きさを作画します。
- ・改行を入力した多行書きの場合、縦方向にも自動縮小します。
- ・縦方向の範囲設定、自動縮小は51ページを参照ください。
- ・自動縮小した場合には、待機中に表示する「作画する大きさ」が縮小の基準となった範囲設定値よりも小さくなる場合があります。これは縮小したサイズ、文字幅で、入力した文字を再度積み重ねて計算しているからです。

範囲作画

均等配列

例 範囲横を50mmにし、自動縮小均等配列の設定をする

① **範囲** を押すと範囲設定画面に切り換わり現在の設定値を表示します。

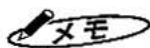
範囲

範囲横 120. **0**
縦 30. 0

② 「50」と入力します。

(5) (0)

範囲横 50
縦 30. 0



- ・ **←** **→** キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力直せます。
- ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻ります。
- ・ **↑** **↓** キーを押すと、縦方向の設定ができます。

③ **実行** を押すと、自動縮小、均等配列(横)設定画面になります。

実行

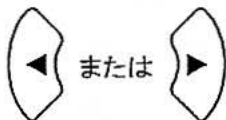
自動縮小 = **する**
均配横 = **しない**

④ **↓** を押します。または **→** で「する」を選択します。

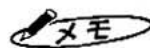


自動縮小 = **する**
均配横 = **しない**

⑤ **←** または **→** で「する」を選択します。



自動縮小 = **する**
均配横 = **する**



- ・ **取消** を押すと範囲設定画面に戻ります。

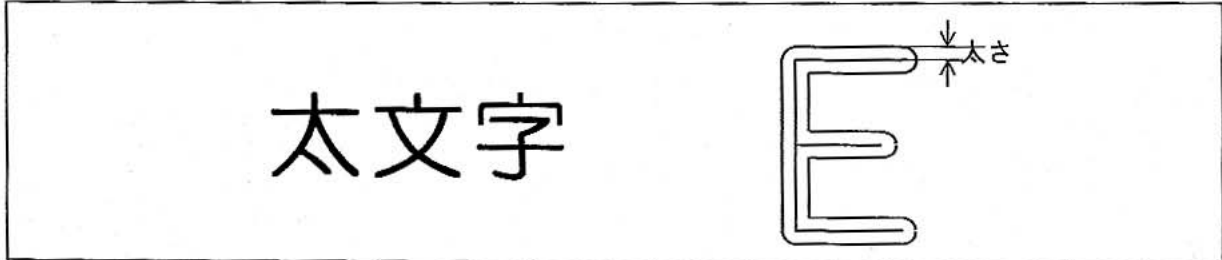
⑥ **実行** を押すと、範囲、自動縮小、均等配列(横)を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

書体変更

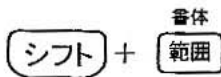
太文字

線に肉付けし太文字による強調作画ができます。設定する線幅の太さは線の中心から輪郭までの値で設定します。太さの初期値は0.1mmで、最小0.1mmから最大1.0mmまで0.1mm単位で設定できます。



例 0.3mmの太さで太文字設定する

- ① **シフト** + **範囲** を押します。(シフトキーを押しながら範囲キーを押します。)

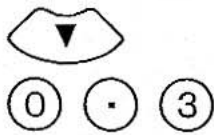


書体 = **標準**

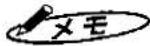
- ② **←** または **→** を何度か押し「太文字」を選択します。

書体 = **太文字**
太さ = 0. 1

- ③ **↓** を押し「太さ」を入力します。



書体 = 太文字
太さ = 0. **3**



- ・ **←** **→** キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は **削除** あるいは **BS** を押すと入力し直せます。
- ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。
(書体の設定が反転表示している場合は、書体の設定が初期値に戻ります。)
(太さの設定が反転表示している場合は、太さの設定が初期値に戻ります。)

- ④ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

書体変更

ペン字

ペン字の書体は、人間が書く様な文字を書くことができます。ハガキの宛名などの作画に有効です。



例 ペン字の書体を設定する

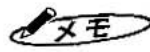
- ① **シフト** + **範囲** を押します。(シフトキーを押しながら範囲キーを押します。)

シフト + **範囲**
書体

書体=標準

- ② **←** または **→** を何度か押し「ペン字」を選択します。

書体=ペン字

 **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。

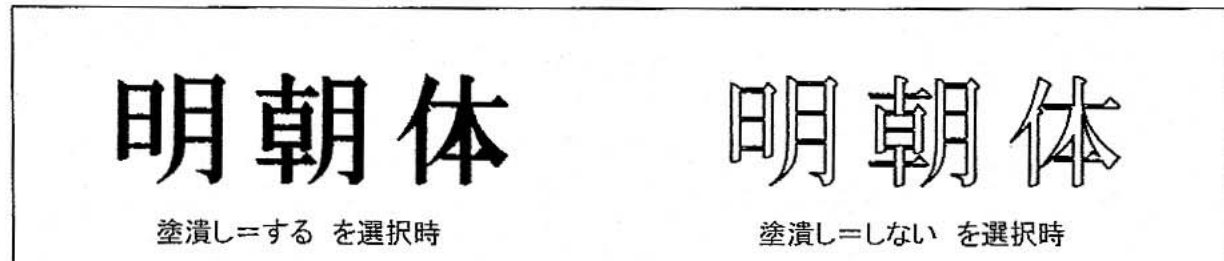
- ③ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

書体変更

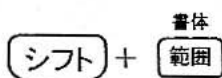
明朝体

明朝体の書体は、文字の輪郭だけを書くこと(袋文字)、輪郭内を塗潰す作画を選択できます。表題などタイトルの作画に有効です。



例 塗潰しなしの明朝書体を設定する

- ① **シフト** + **範囲** を押します。(シフトキーを押しながら範囲キーを押します。)



書体=標準

- ② **←** または **→** を何度か押し「明朝体」を選択します。

書体=明朝体
塗潰し=する

- ③ **↓** を押します。



書体=明朝体
塗潰し=する

- ④ **←** または **→** を押し「しない」を選択します

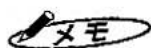


書体=明朝体
塗潰し=しない

✖E - **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。

- ⑤ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行



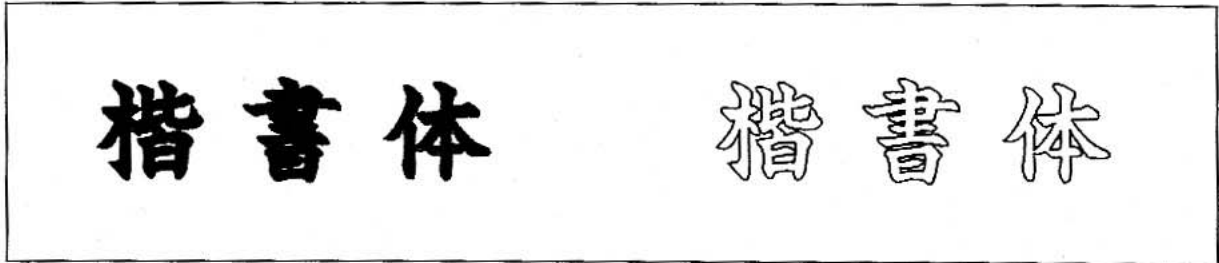
・明朝体では、7E2C(GLマーク)、7E2D(PLマーク)と、2B40から2B7Aまでの「単位」「筆記体」等は作画できません。詳しくは124・152ページを参照ください。

書体を標準あるいはペン字に変更するか、カタカナ、アルファベット、記号等に変更して作画してください。

書体変更

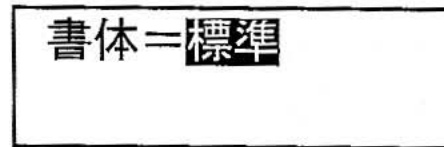
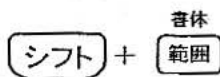
楷書体

楷書体の書体は、文字の輪郭だけを書くことと(袋文字)、輪郭内を塗潰す作画を選択できます。のし紙、のし袋などに氏名を作画するのに有効です。

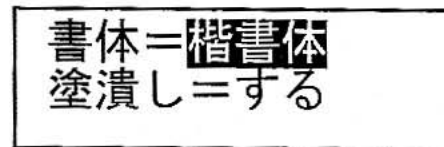


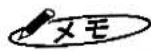
例 塗潰しありの楷書書体を設定する

- ① **シフト** + **範囲** を押します。(シフトキーを押しながら範囲キーを押します。)

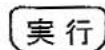


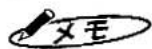
- ② **←** または **→** を何度か押し「楷書体」を選択します。



 **✕E** ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。

- ③ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。



 **✕E** ・楷書体作画時は作画する紙質によって文字つぶれが発生することがあります。

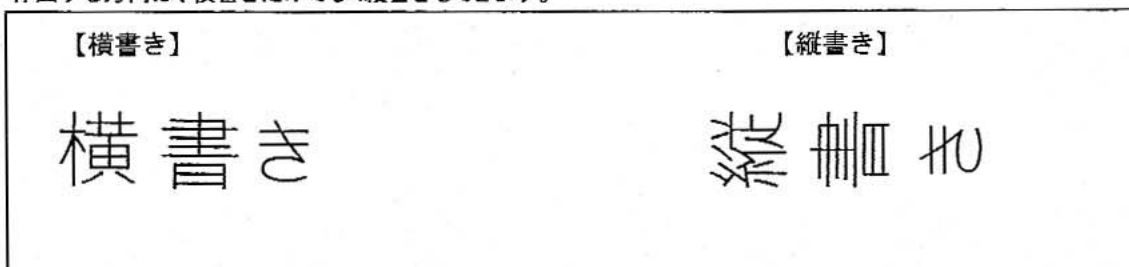
対応方法については本文117ページをご覧ください。

・楷書体では、コード2B35(No.)、7E21(TEL)、7E22(FAX)、コード7E26((協))、7E29((営))、7E2A((注))、7E2B(K.K)、7E2C(CLマーク)、7E2D(PLマーク)と、その他漢字のうちコード7446、7451、7455、7457、7772、784Fと、2B40から2B7Aまでの「単位」「筆記体」等は作画できません。詳しくは124・152ページを参照ください。

書体を標準あるいはペン字に変更するか、カタカナ、アルファベット、記号等に変更して作画してください。

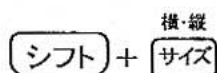
横書き／縦書き

作画する方向は、横書きだけでなく縦書きもできます。



例 縦書きにする

- ① **シフト** + **サイズ** を押します。(シフトキーを押しながらサイズキーを押します。)

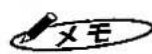


横縦 = **横書** 縦書

- ② **←** または **→** を押す。



横縦 = 横書 **縦書**

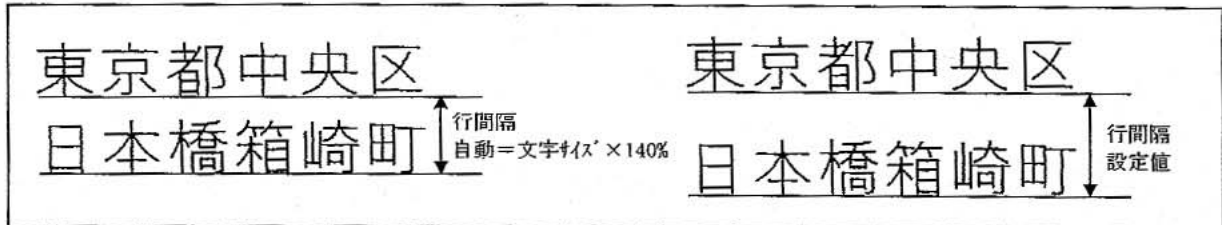
 **メモ** ・ **シフト** + **削除** で初期値に戻せます。

- ③ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

行間隔

改行を入力した多行書きの場合、各行毎に行間隔を設定することで、宅配便の宛名のようにあらかじめ決まっている枠の中に各行を配置することができます。なお、行間隔はカーソルが2行目にあるときには、1行目と2行目の間隔を設定し、3行目にある場合は、2行目と3行目の間隔を設定します。よってカーソルが1行目にある場合は、行間隔は設定できません。また、多行書きは8行までとなっています。改行を多く入力してカーソルが9行目以降にある場合にも行間隔は設定できません。設定範囲は2~28mmで、0.1mm単位で設定できます。初期値は「自動」で文字サイズの140%の値となります。設定する行の番号を表示します。



例 行間隔を5mmに設定する

- ① まず書式モードにします。

諸設定
書式

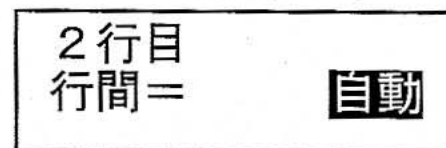


- ② ← または → を何度か押し「行間隔」を表示します。



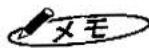
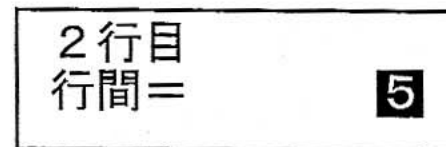
- ③ 実行 を押すとカーソルのある行の設定状態を表示します。

実行



- ④ 「5」を押します。

⑤



- ・ ← → キーを押して数値を変えることもできます。
- ・ 間違えて入力した場合は 削除 あるいは BS を押すと入力し直せます。
- ・ シフト + 削除 で初期値に戻せます。

- ⑤ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

一行均等配列

改行を入力した多行書きを利用して、宅配便等の宛名を作画するとき、住所や名前を均等配列で作画し、郵便番号や電話番号を左詰め、あるいは右詰めで作画することができます。各行毎に設定可能で、カーソルのある行について設定します。設定範囲は「自動」「する」「しない」で初期値は「自動」です。「自動」の場合は、範囲で設定した均等配列(横)【均配横】の設定に従います。設定する行の番号を表示します。



103-8502
東京都中央区
日本橋箱崎町6-6
マックス株式会社

例 均等配列するに設定する


- ① まず書式モードにします。

諸設定
書式

【書式】
文字幅



- ②  または  を何度か押し「一行均等」を表示します。

【書式】
一行均等

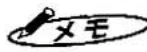


- ③  を押すと現在の設定状態を表示します。

実行

1行目
均等配列 = 自動

- ④  または  を何度か押し「する」を表示します。

1行目
均等配列 = する

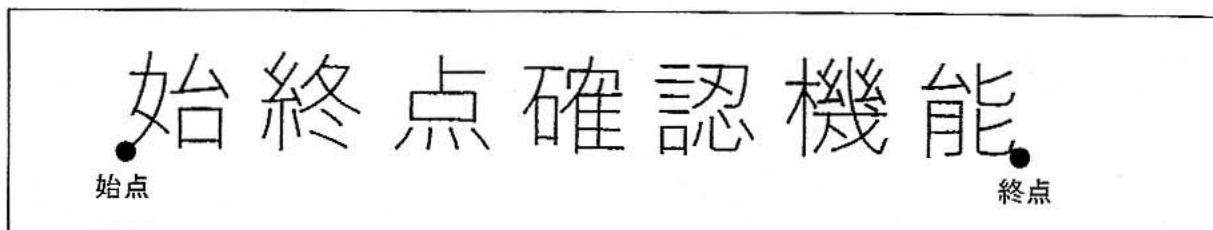
 ・  +  で初期値に戻せます。

- ⑤  を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行

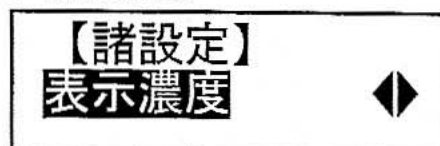
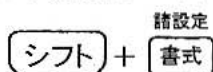
始終点確認機能

始終点確認機能により作画前に始点と終点の間をペンが移動することで作画範囲の確認ができるようになっています。始点とは入力した文字の1つめの文字の左下の位置で、終点とは最後の文字の右下を指します。工場出荷時は始終点確認機能がはたらく設定になっていますが、次の方法で設定を解除することができます。

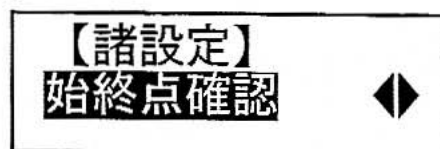


例 終点確認機能を解除する

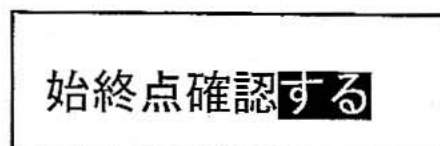
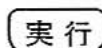
① まず諸設定モードにします。(シフトキーを押しながら書式キーを押します。)



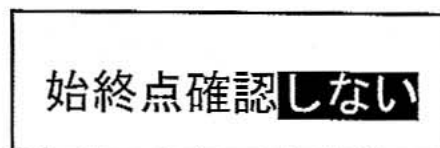
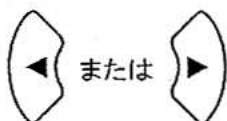
② ← または → を何度か押し「始終点確認」を表示します。



③ 実行 を押すと現在の設定状態を表示します。

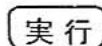


④ ← または → を押し「しない」を表示します。



 ・ シフト + 削除 で初期値に戻せます。

⑤ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。



- ・ 位置合せの設定によっては、始点は文字の左上、左中となり、終点は文字の右上、右中となります。
- ・ 改行を入力した多行書きのときのペン位置は52ページを参照ください。

一行目書出し位置

改行を入力した多行書きの場合、ペンの位置は位置合せの設定に従って、作画全体の四隅、あるいはそれらの中央の計9点となります。作画する用紙の罫線等に合わせるため、ペンの位置を1行目の下側にすることができます。なお、ペン位置については53ページを参照ください。

例 書出し位置を1行目の下側にする

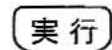
① まず書式モードにします。

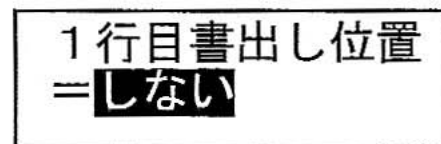




②  または  を何度か押し「1行目書出し位置」を表示します。

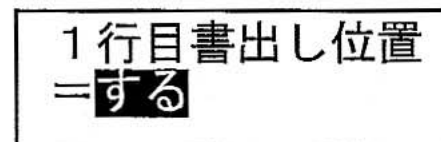


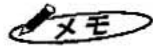


③  を押すと現在の設定状態を表示します。



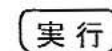


④  または  を押し「する」を表示します。



 ・  +  で初期値に戻せます。

⑤  を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

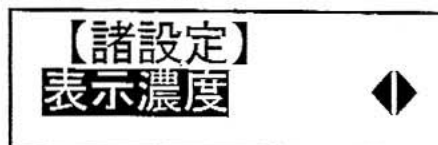
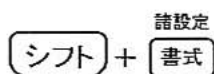




県名削除機能

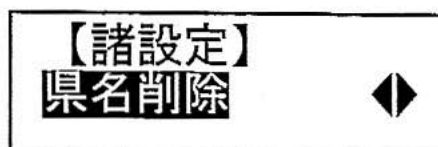
県名削除機能により郵便番号より住所を求めるとき、都道府県名を省略して入力することができます。このことで住所をすべて作画することなく、作画時間を短縮することができます。

例 県名削除機能を設定する

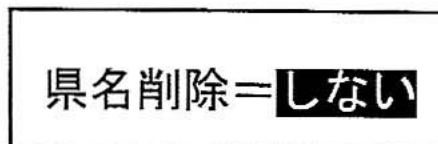
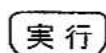
① まず諸設定モードにします。(シフトキーを押しながら書式キーを押します。)




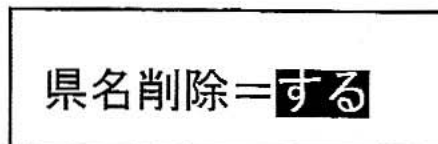
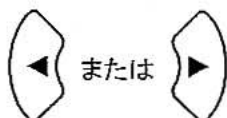
②  または  を何度か押し「県名削除」を表示します。



③  を押すと現在の設定状態を表示します。

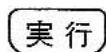


④  または  を押し「する」を表示します。



 ・  +  で初期値に戻せます。

⑤  を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

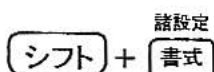


作画速度

作画時間を短縮するために、通常の作画時より約20%速い作画速度、移動速度を高速にすることができます。高速に設定した場合、若干の作画品質劣化が生じることがあります。

高速に設定する

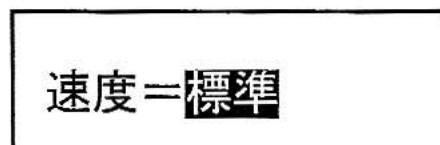
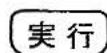
- ① まず諸設定モードにします。(シフトキーを押しながら書式キーを押します。)



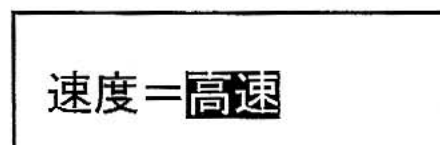
- ② ← または → を何度か押し「速度変更」を表示します。



- ③ 実行 を押すと現在の設定状態を表示します。

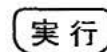


- ④ ← または → を押し「高速」を表示します。



 ・ シフト + 削除 で初期値に戻せます。

- ⑤ 実行 を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。



5章

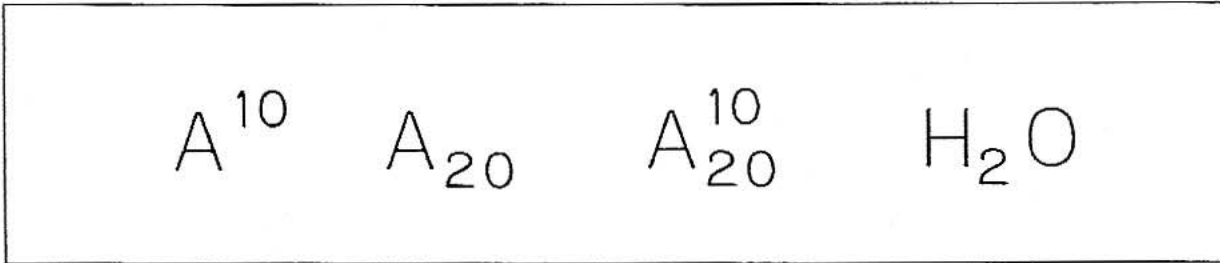
文字飾り

この章では、上付き文字、下付き文字、組文字、飾り枠について説明します。

上付下付	80
組文字	82
飾り枠	83

上付下付

これらの機能は次のような作画ができます。なお上下付け文字の大きさは、通常の文字サイズの3/5になります。



★上付き、下付きの入力は [Shift][L] で次のように挟みます。

「 A^{10} 」は、 A $\text{[Shift][L]10[Shift][L]}$ と入力します。

「 A_{20} 」は、 A $\text{[Shift][L]20[Shift][L]}$ と入力します。

「 A^{10}_{20} 」は、 A $\text{[Shift][L]10[Shift][L]20[Shift][L]}$ と入力します。

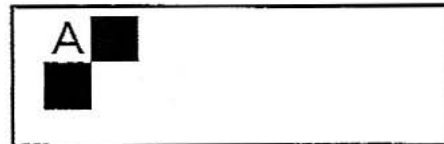
「 A^{10} 」は、 A $\text{[Shift][L]10[Shift][L]}$ と入力します。

上付き文字

例 上付き文字「 A^{10} 」と作画する(入力モード:英大の場合)

①「A」と入力します。

A



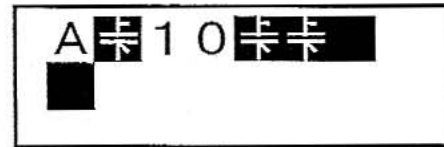
② 上付き文字で「10」と入力します。

シフト を押しながら [L]
上下

1 0

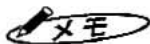
シフト を押しながら [L]
上下

シフト を押しながら [L]
上下



③ 作画します。

スタート [作画待機] スタート [始終点確認] スタート 作画開始



- ・上付き文字は横書きのみ有効で、縦書きでは作画できません。
- ・飾り枠を付けると上付き文字と枠線が重なることがあります。
- ・改行があると上付き文字は作画できません。
- ・飾り枠の丸囲みでは、上付き文字は作画できません。

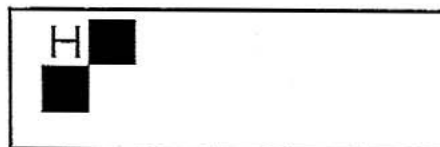
上付下付

下付き文字

例 下付き文字「H₂O」と作画する(入力モード:英大の場合)

①「H」と入力します。

ぼ行
H



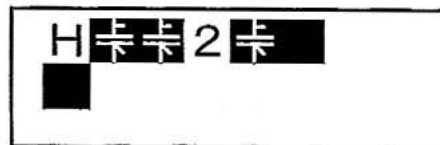
② 下付き文字で「2」と入力します。

シフト を押しながら ^{上下} L

シフト を押しながら ^{上下} L

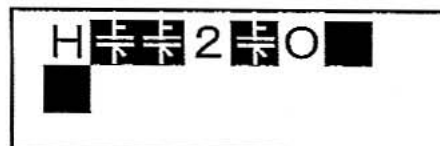
②

シフト を押しながら ^{上下} L



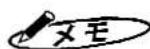
③「O」と入力します。

ろ行
O



④作画します。

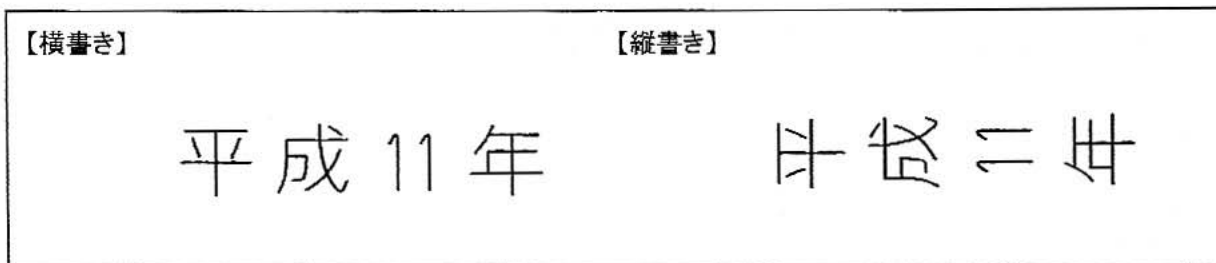
スタート [作画待機] スタート [始終点確認] スタート 作画開始



- ・下付き文字は横書きのみ有効で、縦書きでは作画できません。
- ・飾り枠を付けると下付き文字と枠線が重なることがあります。
- ・改行があると下付き文字は作画できません。
- ・飾り枠の丸囲みでは、下付き文字は作画できません。

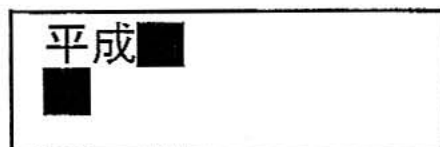
組文字

組ではさまれた4文字以内の文字列を1文字として作画します。

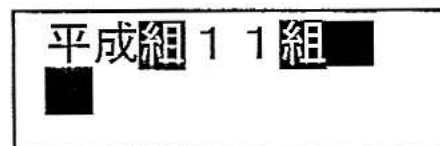
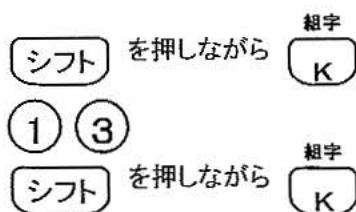


例 組文字を使い「平成13年」と縦書で作画する

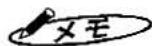
①「平成」と入力します。



②組文字で「13」と入力します。



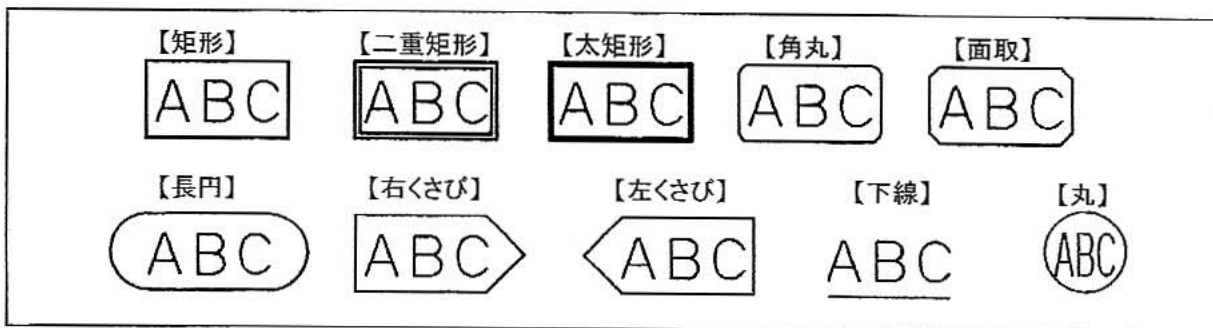
③「年」と入力し、「縦書」に設定し作画します。



- ・組文字として組まれた文字は、横書きでも縦書きでも1文字として作画します。
- ・飾り枠の丸囲みでは、組文字は作画できません。
- ・組文字の設定は最大4文字まで可能です。

飾り枠

文章を枠で囲むことや下線を引くことができます。



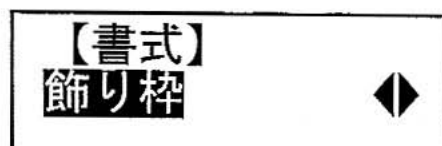
例 矩形囲みを設定する

- ① **書式** を押します。

書式



- ② **←** または **→** を数回押し「飾り枠」を表示させます。

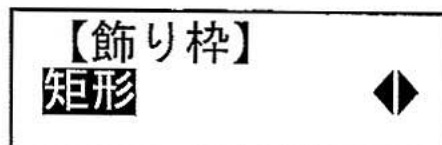


- ③ **実行** を押すと現在の設定状態を表示します。

実行

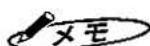
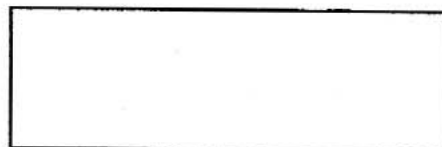


- ④ **←** または **→** を数回押し「飾り枠」を表示させます。



- ⑤ **実行** を押すと設定を確定し通常の入力画面に戻ります。

実行



- ・丸囲みの場合のみ、最大 3文字までの飾り枠をつけることができます。
- ・改行が入力されていると、飾り枠は作画できません。
- ・上下付き文字、組文字が入力されていると、丸囲みは作画できません。
- ・丸囲みでは、文字幅の設定にかかわらず、3文字までの文字をバランスよく配置します。
- ・丸囲みは自動縮小しないで、円で作画します。

6章

メモリ

この章では、注記やタイトルボックスなど頻繁に使う文章や慣用句をメモリに保存して呼び出す方法と、宅配便の宛名等に使用する各行毎のサイズ等の設定をメモリに保存して呼び出す方法について説明します。

文書の登録	86
文書の呼出	87
文書の削除	88
全削除	89
設定の登録	90
設定の呼出	91
設定の削除	92
全削除	93

文書の登録

書類や図面内でよく使う慣用語や注記などをメモリに登録しておけば、それら呼び出すことで入力のスPEEDアップが図れます。メモリの容量は、1000文書、10,000文字までで、文書数、文字数のどちらかがいっぱいになるとそれ以上の登録はできません。メモリは文書と共に設定も一緒に登録します。一緒に登録する設定内容は、サイズ、文字幅、半角数字、範囲(範囲、均等配列、自動幅)、字間(字間、桁合わせ)、横書き縦書きです。登録する文書名は数字、アルファベット、かなを使って6文字以内で入力してください。入力間違いは **削除** または **BS** を押して修正ください。

例「火災警報ベル」を文書名「Z01」として保存する

①「火災警報ベル」と入力してから **メモリ** を押します。

メモリ

呼出 登録
削除 全削除

② **→** を押し「登録」を反転させ **実行** を押します。メモリの残量が数秒間表示されます。

実行

残量 1000 文書
10000 文字

③ 文書名「Z01」を入力します。

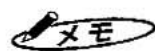
Z **0** **1**

文書名入力 **登録**
【Z01 ■】

④ **実行** を押すと登録を行い通常の入力画面に戻ります。

実行

火災警報ベル ■
■



既に登録済みの文書名と同じ文書名を入力し **実行** を押すと、上書き登録確認画面に変わりますので、上書きしない場合は **取消** を押し新たな文書名を入力してください。

お願い

登録操作中はACアダプタをコンセントから抜いたり、DCジャックをBL-120本体から抜かないでください。メモリが消える可能性があります。

⚠ 注意

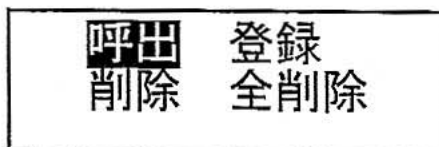
メモリに登録した内容(文書、パラメータ等)は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

文書の呼出

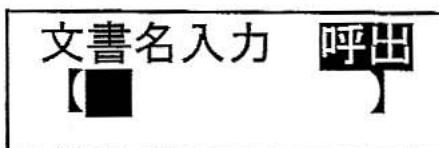
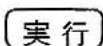
登録してある文書(文字列+設定)を呼出します。なお呼出すとそれまでに入力していた文書を消去し上書きします。

例 登録した文書「火災警報ベル」を文書名「Z01」で呼び出す

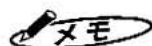
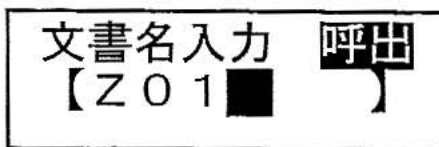
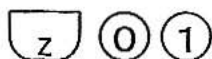
- ① **メモリ** を押します。



- ② **実行** を押します。

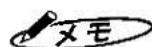
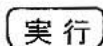


- ③ 文書名を入力します。



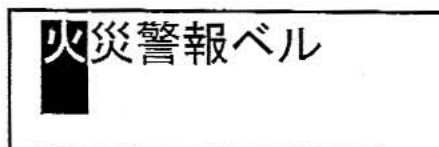
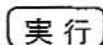
ここで文書名を入力せずに **実行** を押すと、**↑** **↓** で登録文書を検索できますので、文書名がわからない場合でも探すことができます。また文書名の初めの文字を入力し **実行** を押してから **↑** **↓** を押すとその文字を文書名に持つ文書を検索できます。登録していない文書名を入力した場合は、文書名の文頭の文字をJISコード順で検索します。

- ③ **実行** を押すと指定した文書を表示します。



上記画面を表示中に **←** **→** を押すと画面上段の文書がスクロールするので、文書の内容を確認できます。

- ④ **実行** を押すと表示されている文書を通常の入力モードに上書きします。



文書の削除

文書登録のメモリ容量がなくなり登録できないときや、不用となった文書を整理する時に文書の削除を行います。

例 文書名「Z01」で保存した文書「火災警報ベル」を削除する

- ① **メモリ** を押します。

メモリ

呼出 **登録**
削除 **全削除**

- ② **↓** を押し「削除」を反転させ **実行** を押します。

↓ **実行**

文書名入力 **削除**
【**■**】

- ③ 文書名を入力します。

Z **0** **1**

文書名入力 **削除**
【Z01**■**】

- ④ **実行** を押すと指定した文書を表示します。

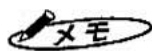
実行

火災警報ベル
【Z01**■**】

- ⑤ **実行** を押すと削除の確認メッセージを表示します。

実行

削除？
実行 取消



ここで **取消** を押すと文書の削除を取りやめ通常の入力画面に戻ります。

- ⑥ もう一度 **実行** を押すと削除を行い通常の入力画面に戻ります。

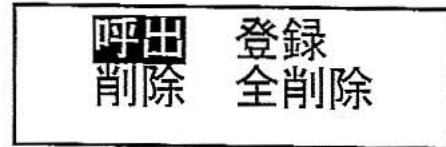
実行

■

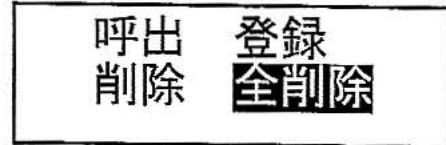
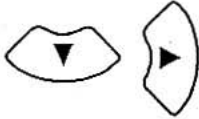
文書の削除

全削除(文書メモリのクリア)

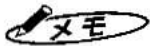
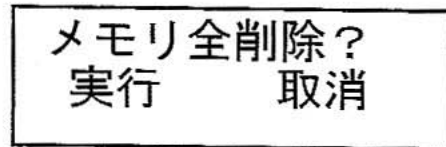
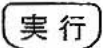
- ① **メモリ** を押します。



- ② 「全削除」を反転させます。

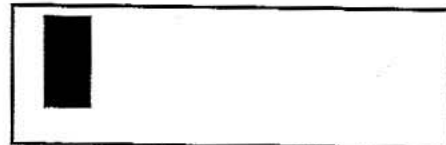


- ③ **実行** を押すと全削除の確認メッセージを表示します。



ここで **取消** を押すと文書の全削除を取りやめ通常の入力画面に戻ります。

- ④ もう一度 **実行** を押すと全削除を行い通常の入力画面に戻ります。



設定の登録

書類や宅配便の宛名等によく使う決まった文字サイズの設定等をメモリに登録しておけば、それら呼び出すことで設定のスピードアップが図れます。メモリの容量は、100パターンまでです。登録する設定内容は、ブロック毎に異なった設定が可能な各行毎のサイズ、各行毎の行間隔、各行毎の均等配列有無と、全ブロックに共通な設定の文字幅、半角数字、範囲(範囲、自動縮小、均等配列横)、字間(字間、析合わせ)、横書き縦書き、書体(太文字太さ、明朝楷書体塗り潰し有無)、位置合せ、1行目書出位置、始終点確認有無、飾り枠です。登録する設定名は数字、アルファベット、かなを使って6文字以内で入力してください。入力間違いは **削除** または **BS** を押して修正ください。

例 設定名「やまと」で登録する

①サイズ等を設定してから **シフト** + **メモリ** を押します。

シフト **メモリ**

呼出 **登録**
削除 **全削除**

② **→** を押し「登録」を反転させ **実行** を押します。メモリの残量が数秒間表示されます。

実行

残量 100

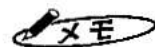
③設定名「やまと」を入力します。

は行 **A** **M** **A** **な行** **ろ**
Y **A** **M** **A** **T** **O**

設定名入力 **登録**
【やまと■】

④ **実行** を押すと登録を行い通常の入力画面に戻ります。

実行



- 既に登録済みの設定名と同じ設定名を入力し **実行** を押すと、上書き登録確認画面に変わりますので、上書きしない場合は **取消** を押し新たな設定名を入力してください。
- 各行毎の設定は、現在表示しているブロックの設定を登録します。2ブロック目以降を表示していて、1行目の文字サイズが「前行同じ」の設定ならば、前のブロックの1行目に設定されているサイズの数値で記憶します。前のブロックも「前行同じ」ならば更に前のブロックにさかのぼって、設定されている数値で記憶します。

お願い

登録操作中はACアダプタをコンセントから抜いたり、DCジャックをBL-120本体から抜かないでください。メモリが消える可能性があります。

⚠ 注意

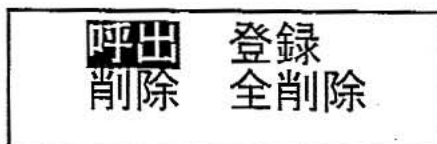
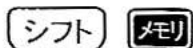
メモリに登録した内容(パラメータ等)は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

設定の呼出

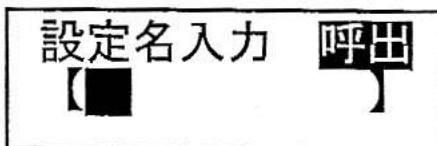
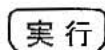
登録してある設定を呼出します。なお呼出すとそれまでに入力していた設定を変更します。

例 登録した設定を設定名「やまと」で呼び出す

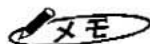
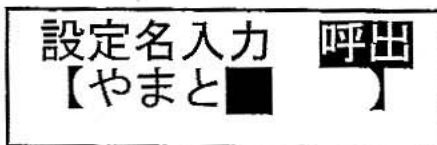
- ① **シフト** + **メモリ** を押します。



- ② **実行** を押します。

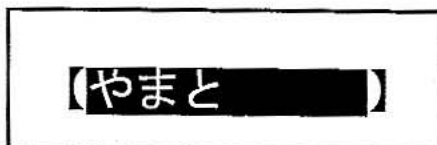
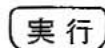


- ③ 設定名を入力します。



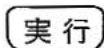
ここで設定名を入力せずに **実行** を押すと、**↑ ↓** で登録設定を検索できますので、設定名がわからない場合でも探すことができます。また設定名の初めの文字を入力し **実行** を押してから **↑ ↓** を押すとその文字を設定名に持つ設定を検索できます。登録していない設定名を入力した場合は、設定名の文頭の文字をJISコード順で検索します。

- ③ **実行** を押すと指定した設定を表示します。



設定を呼び出したときに変更する内容は、全ブロック共通の設定と、各ブロック毎に設定可能な各行毎のサイズ、各行毎の行間隔、各行毎の均等配列有無です。カーソルが1ブロック目にあるときに呼び出しを行なうと、全ブロック共通の設定の変更を行なうとともに、全ブロックに対し各行毎のサイズ、各行毎の行間隔、各行毎の均等配列有無の設定を変更します。カーソルが2ブロック目以降にあるときは、全ブロック共通の設定の変更を行なうとともに、カーソルのあるブロックのみの各行毎のサイズ、各行毎の行間隔、各行毎の均等配列有無の設定を変更します。

- ④ **実行** を押すと設定を変更します。

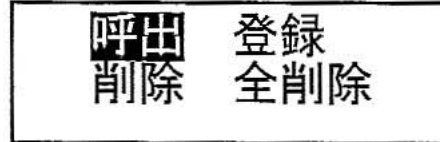


設定の削除

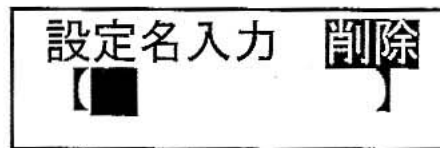
設定登録のメモリ容量がなくなり登録できないときや、不用となった設定を整理する時に設定の削除を行います。

例 設定名「やまと」で保存した設定を削除する

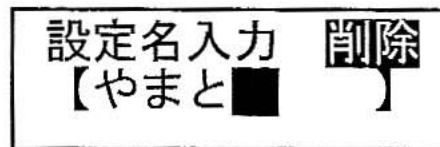
- ① **シフト** + **メモリ** を押します。



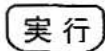
- ② **↓** を押し「削除」を反転させ **実行** を押します。



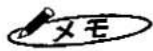
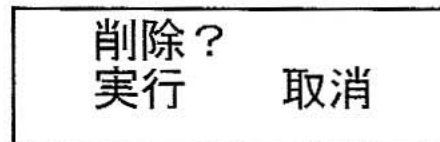
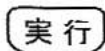
- ③ 設定名を入力します。



- ④ **実行** を押すと指定した文書を表示します。

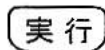


- ⑤ **実行** を押すと削除の確認メッセージを表示します。



ここで **取消** を押すと設定の削除を取りやめ通常の入力画面に戻ります。

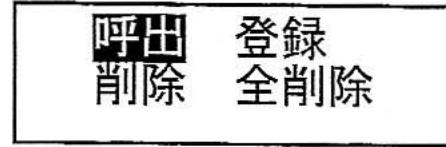
- ⑥ もう一度 **実行** を押すと削除を行い通常の入力画面に戻ります。



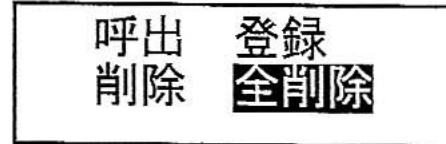
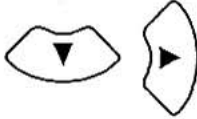
設定の削除

全削除(設定メモリのクリア)

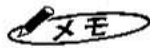
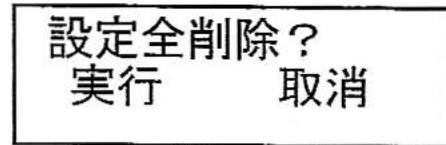
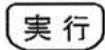
① **シフト** + **メモリ** を押します。



② 「全削除」を反転させます。

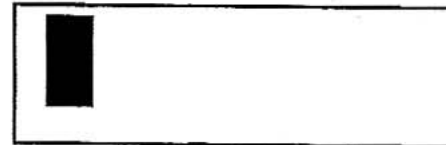


③ **実行** を押すと全削除の確認メッセージを表示します。



ここで **取消** を押すと設定の全削除を取りやめ通常の入力画面に戻ります。

④ もう一度 **実行** を押すと全削除を行い通常の入力画面に戻ります。



7章

はやわざ機能

この章ではハガキやビデオの背ラベルなどに簡単に作画する機能について説明します。

新規入力と登録	96
ハガキ	98
マス目	100
インデックス	102
VHS/8mm/DV テープ	104
枠付き2行/3行/4行/5行	107
はやわざ呼出	110
はやわざ削除	111

新規入力と登録

はやわざ機能を使うことで、ハガキやインデックスシール、ビデオの背ラベルなどに簡単に作画させることができます。また、一度作画したはやわざを80文書までメモリ登録することができます。

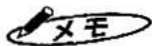
操作の流れ

- ① **はやわざ** を押します。



★このとき通常画面に入力文書があるときには「入力文書削除?」が表示されます。入力文書を削除しはやわざを続行するときは **実行** を押します。

入力文書削除?
実行 **取消**



はやわざ以后も入力文書を使用する場合はメモリ登録を使用してください。

はやわざモード
呼出 **新規** **削除**

- ②「新規」を反転させて **実行** を押すとはやわざメモリの残量の表示後、はやわざ選択画面になりなす。



実行

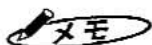
はやわざ選択
ハガキ ◀▶

- ③ **←** または **→** で、はやわざの項目を選択し **実行** を押すと各項目別の設定と文字入力に移ります。ガイドメッセージに従って設定や文字入力を行ないます。各項目のページも参照してください。

- ④最後の文字入力後に **スタート** を押すと「待機中」と表示されペンが待機位置に移動します。

待機中

- ⑤ペン先を所定の位置(各項目のページを参照)に合せて **スタート** を押すと作画を行ないます。



「ハガキ」の場合のみ複数回に分けて作画しますが、他は一括で作画します。

新規入力と登録

⑥作画が終了すると「登録 修正 終了」のメッセージが表示されます。

実行

登録 修正 終了

★修正したいときは「修正」を選択して **実行** を押します。

メモリ登録せずにはやわざを終了するときは「終了」を選択して **実行** を押します。

★同じものを連続作画させるときは、**スタート** を押します。

⑦「登録」を選択して **実行** を押すと文書名入力画面が表示されます。

文書名入力

【 ■ 】

⑧文書名を入力し **実行** を押します。

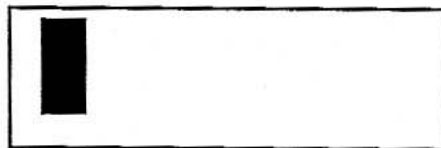


文書名はひらがなまたは英数字のみを6文字以内で入力してください。

★入力した文書名が既に登録されているものと同じ場合上書き確認のメッセージが表示されます。上書きしたいときは **実行** を押します。そうでないときは **取消** を押した後、文書名を変更してください。

登録しました

⑨通常画面に戻ります。



-入力内容を変更しながら、連続的に作画するときには作画後「修正」を選択して入力内容の修正を行います。

新規入力と登録

ハガキ

官製ハガキ用のパターンです。

The diagram illustrates the layout of a Japanese envelope (ハガキ) with labels for pen rest positions (ペン待機位置). At the top left is a square area for a postage stamp. To its right is a row of boxes for the postal code (郵便番号), with the first three boxes labeled '郵便番号'. Below the postal code boxes are two labels 'ペン待機位置' pointing to the bottom-left and bottom-right corners of the postal code area. To the left of the name field is another 'ペン待機位置' label pointing to the top-left corner of the name box. The name field (宛名) is a vertical rectangle containing the characters '宛' at the top and '名' at the bottom. To the right of the name field is a vertical rectangle for the address (住所), containing the text '住所(〃県〃市〃町〃番)' and '住所(アパート名など)'.

新規入力と登録

①はやわざ選択画面で「ハガキ」を選択し **実行** を押します。

実行

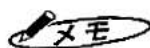
郵便番号入力

—

②郵便番号を入力し **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後文字を入力します。

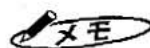
実行

住所入力
～県～市～町～番



- ・入力した郵便番号に対応する住所が自動的に入力されます。
- ・都道府県名の入力が不用の場合は「諸設定」内の「県名削除」の設定を「する」にしてください。

③以下 **実行** または **↓** を押しガイドメッセージに従って住所・宛名を入力してください。



- ・ **↓** または **実行** を押すとで次の入力へ移ります。
- ・ **↑** を押すとで前の入力へ戻ります。
- ・ **取消** を押すとはやわざ選択に戻ります。

④ **スタート** を押すと「待機中」と表示され、もう一度 **スタート** を押すとガイドメッセージが表示されペンが待機位置に移動します。

作画位置調整
郵便番号欄

⑤ペン先を合せて **スタート** を押すと作画します。以下同様にガイドメッセージに従って作画していきます。

⑥全ての作画終了後次の画面になります。

登録 修正 終了

⑦ **←** または **→** で動作を選択して **実行** を押します。

登録: 作画した内容をはやわざ用のメモリに登録します。「新規入力と登録」のページを参照してください。

修正: ①の場面に戻るのでパターンや文字を修正できます。

終了: はやわざを終了し通常画面に戻ります。



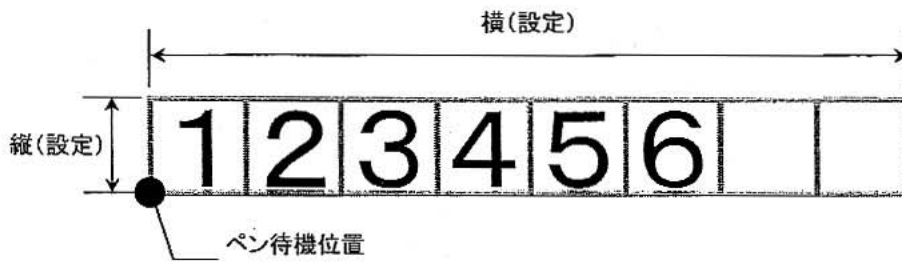
- ・年賀ハガキ等、ハガキ下部にblank部が必要なときは、入力した住所の後ろに **スペース** を2～4つ入力するときれいに書くことができます。

新規入力と登録

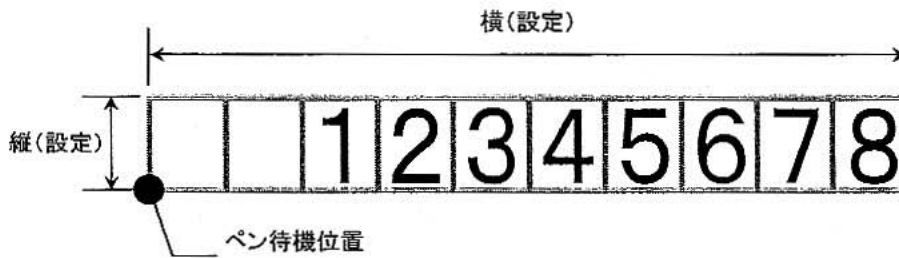
マス目

OCR等のマス目に書き込むパターンです。

※下図はマス目数=8、位置合せ=左詰めとしたときのイメージ図です。



※下図はマス目数=10、位置合せ=左詰めとしたときのイメージ図です。



新規入力と登録

- ①はやわざ選択画面で「マス目」を選択し **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後縦と横の作画範囲を設定します。

実行

マス目範囲設定

縦＝ **7**mm
横＝ 120mm

メモ

- ・縦の設定範囲は3～20mm、横の設定範囲は20～120mmで1mm単位です。
- ・横の設定範囲は入力したいマス目の全長とします。(例5mmマスが5つあるときは25mmと入力します)

- ② **実行** を押しマス数と位置合せを設定します。

実行

マス数入力 **15**個
位置合せ＝左詰め

メモ

マス数の設定範囲は2～15個ですが範囲設定の値により異なります。

- ③ **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後文字を入力します。

実行

文書入力

メモ

取消 を押すとはやわざ選択に戻ります。

- ④ **スタート** を押すと「待機中」と表示されペンが待機位置に移動するのでペン先を合せてもう一度 **スタート** を押すと作画します。

- ⑤作画終了後次の画面になります。

登録 修正 終了

- ⑥ **←** または **→** で動作を選択して **実行** を押します。

登録: 作画した内容をはやわざ用のメモリに登録します。「新規入力と登録」のページを参照してください。

修正: ①の場面に戻るのでパターンや文字を修正できます。

終了: はやわざを終了し通常画面に戻ります。

新規入力と登録

インデックス

インデックス(見出し)シール用のパターンです。パターンによってシールのサイズを指定し、書式の設定で文字の向きが選べます。

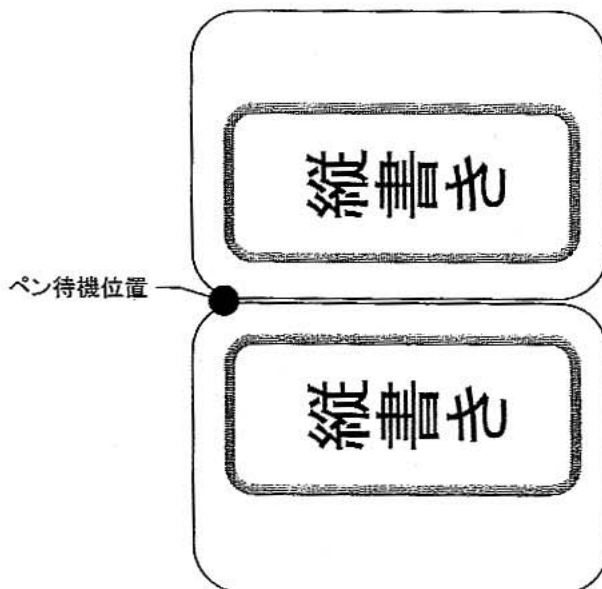
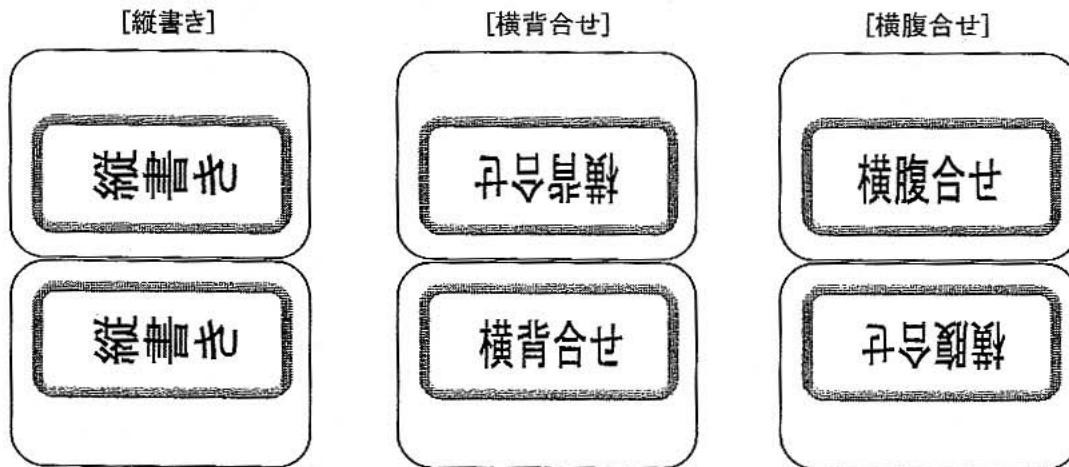
【パターンA】 (18×25mm)

【パターンB】 (23×29mm)

【パターンC】 (27×34mm)

【パターンD】 (42×34mm)

【パターンE】 (74×36mm)



新規入力と登録

- ① はやわざ選択画面で「インデックス」を選択し **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後ラベルの種類(A~E)と書式(縦書き/横背合せ/横腹合せ)を設定します。

実行

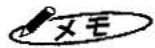
ラベル選択 = **A**
書式 = 縦書き

- ② **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後文字を入力します。

実行

文書入力

■



取消 を押すとはやわざ選択に戻ります。

- ③ **スタート** を押すと「待機中」と表示されペンが待機位置に移動するのでペン先を合せてもう一度 **スタート** を押すと作画します。

- ④ 作画終了後次の画面になります。

登録 修正 終了

- ⑤ **←** または **→** で動作を選択して **実行** を押します。

登録: 作画した内容をはやわざ用のメモリに登録します。「新規入力と登録」のページを参照してください。

修正: ①の場面に戻るのでパターンや文字を修正できます。

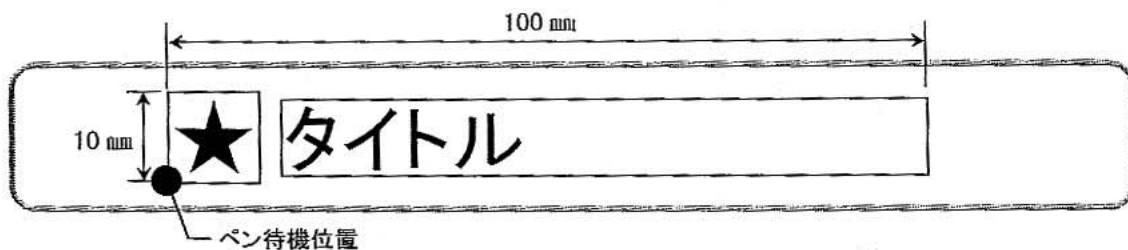
終了: はやわざを終了し通常画面に戻ります。

新規入力と登録

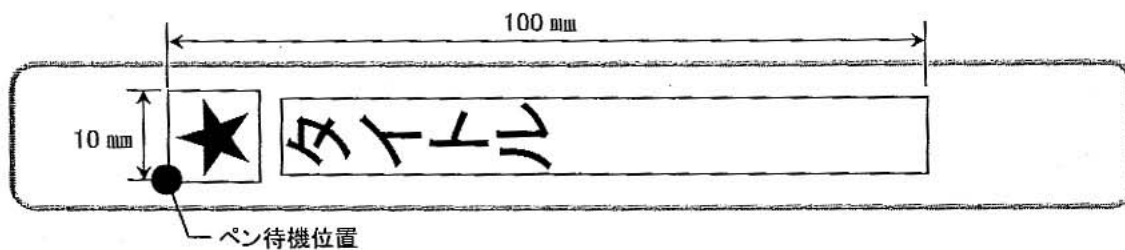
VHS/8mm/DV テープ

各ビデオテープの背ラベル用のパターンです。

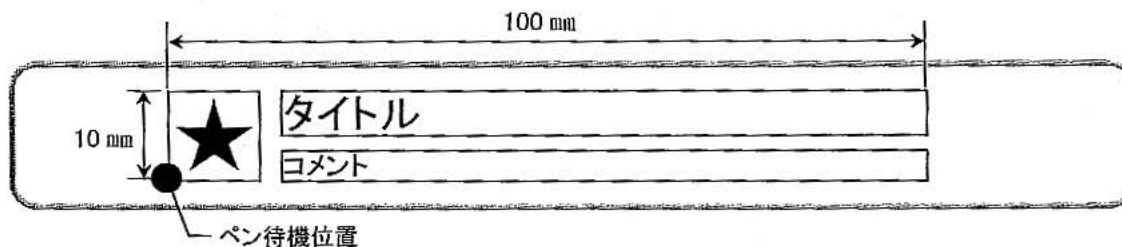
【VHS パターンA】



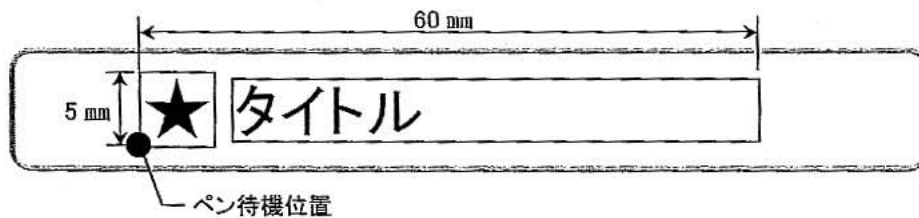
【VHS パターンB】



【VHS パターンC】

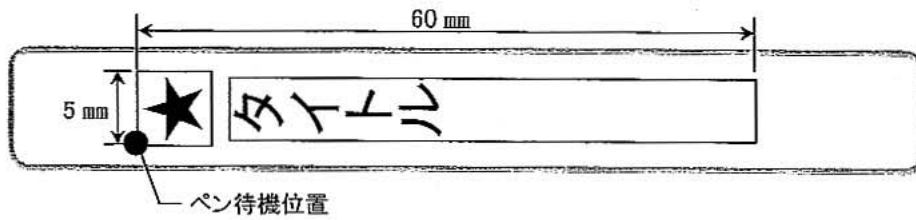


【8mmテープ パターンA】

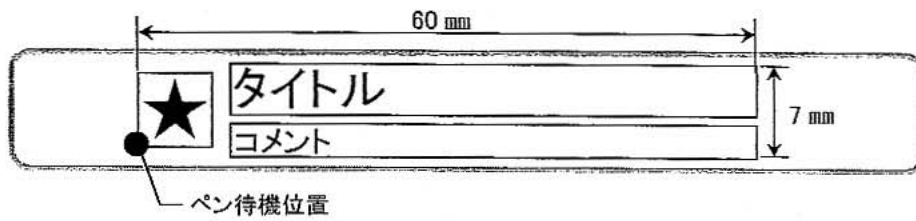


新規入力と登録

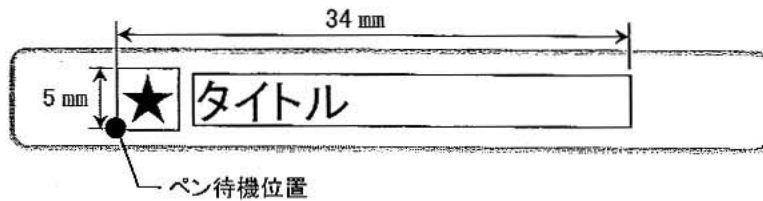
【8mmテープ パターンB】



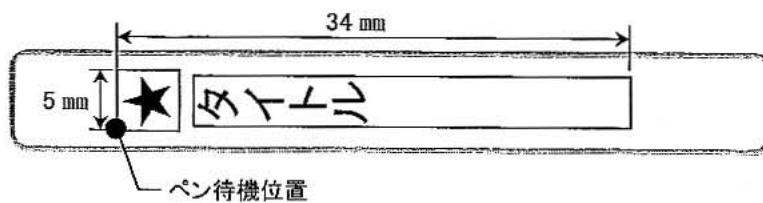
【8mmテープ パターンC】



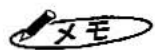
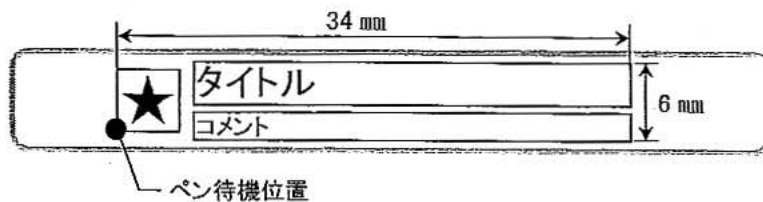
【DVテープ パターンA】



【DVテープ パターンB】



【DVテープ パターンC】



メモ 文字の位置の微調整は、スペースまたは半角スペースを文字列の先頭や末尾に入力することで行なえます。

新規入力と登録

①はやわざ選択画面で「VHSテープ」、「8mmテープ」「DVテープ」のいずれかを選択し **実行** を押します。

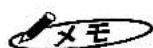
実行

VHS選択= **A**

② **←** または **→** でパターン(A~C)を選択し **実行** を押すとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後文字を入力します。

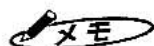
実行

シンボル入力
絵文字、記号など



シンボル入力は1文字までです。

③以下 **実行** または **↓** を押しガイドメッセージに従ってタイトル・コメント(パターンCのみ)を入力してください。



- ・ **↓** または **実行** を押すとで次の入力へ移ります。
- ・ **↑** を押すとで前の入力へ戻ります。
- ・ **取消** を押すとはやわざ選択に戻ります。

④ **スタート** を押すと「待機中」と表示されペンが待機位置に移動するのでペン先を合せてもう一度 **スタート** を押すと作画します。

⑤作画終了後次の画面になります。

登録 修正 終了

⑥ **←** または **→** で動作を選択して **実行** を押します。

登録: 作画した内容をはやわざ用のメモリに登録します。「新規入力と登録」のページを参照してください。

修正: ①の場面に戻るのでパターンや文字を修正できます。

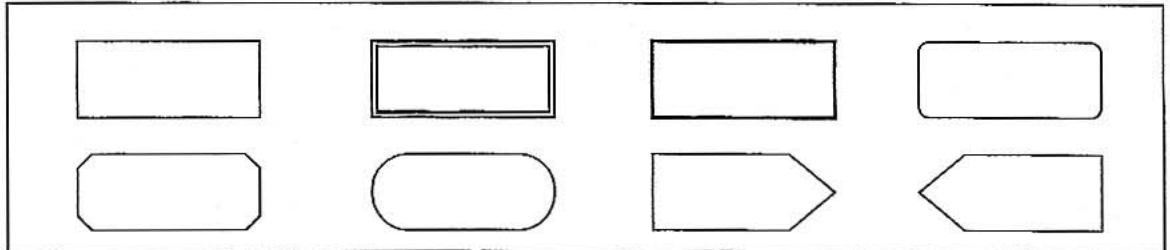
終了: はやわざを終了し通常画面に戻ります。

新規入力と登録

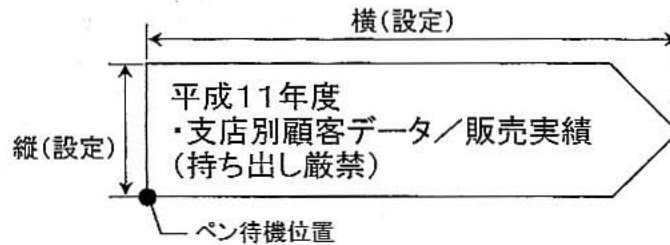
枠付き2行／3行／4行／5行

枠の中に多行を作画するパターンです。枠の種類と範囲設定と縦横書き、文字配置(左詰め／中央／右詰め)の設定をすることで様々な多行の作画を行なえます。

※枠の種類は、矩形・二重矩形・太矩形・角丸・面取・長円・右くさび・左くさびから選択します。



※範囲設定は全体の作画範囲を設定します。



※縦横書き設定と文字配置設定

	左詰め	中央	右詰め
横書き	はやわざでらくらく 多行作画	はやわざでらくらく 多行作画	はやわざでらくらく 多行作画
縦書き	はやわざでらくらく 多行作画	はやわざでらくらく 多行作画	はやわざでらくらく 多行作画

文字サイズがどの行も同じとなるように、縦設定値に従って縮小します。

新規入力と登録

①はやわざ選択画面で「枠付2行」、「枠付3行」、「枠付4行」、「枠付5行」のいずれかを選択し **実行** を押しします。

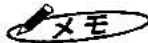
実行

枠選択=**矩形**

② **←** または **→** で枠を選択し **実行** を押しするとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後範囲設定を行ないます

範囲設定

縦= 2**0**mm
横= 120mm



- ・範囲設定の設定範囲は下表に示します。1mm単位で設定します。
- ・枠として長円を選択した場合は、横は縦よりも5mm以上大きい値を設定してください。

パターン	2行	3行	4行	5行
縦	5~30mm	8~30mm	11~30mm	14~30mm
横	20~120mm	20~120mm	20~120mm	20~120mm

③ **実行** を押し縦横書きと文字配置の設定を行ないます。

実行

縦横書き=**横書き**
文字配置=**左詰め**

④ **実行** を押しするとガイドメッセージが数秒間表示されるのでその後文字を入力します。

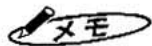
実行

1行目入力



新規入力と登録

⑤以下 **実行** または **↓** を押しガイドメッセージに従って文字を入力してください。



- ・ **↓** または **実行** を押すとで次の入力へ移ります。
- ・ **↑** を押すとで前の入力へ戻ります。
- ・ **取消** を押すとはやわざ選択に戻ります。

⑥ **スタート** を押すと「待機中」と表示されペンが待機位置に移動するのでペン先を合せてもう一度 **スタート** を押すと作画します。

⑦作画終了後次の画面になります。

登録 修正 終了

⑤ **←** または **→** で動作を選択して **実行** を押します。

登録: 作画した内容をはやわざ用のメモリに登録します。「新規入力と登録」のページを参照してください。

修正: ①の場面に戻るのでパターンや文字を修正できます。

終了: はやわざを終了し通常画面に戻ります。

はやわざ呼出

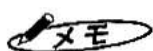
登録しておいたはやわざ文書を呼出して作画できます。

- ① **はやわざ** を押します。



★このとき通常画面に入力文書があるときには「入力文書削除？」が表示されます。入力文書を削除しはやわざを続行するときは **実行** を押します。

入力文書削除？
実行 取消



はやわざ以後も入力文書を使用する場合はメモリ登録を使用してください。

はやわざモード
呼出 新規 削除

- ②「呼出」を選択して **実行** を押すと最後に登録した文書が表示されます。

実行

宅配便 A
【はや1 ██████████】

- ③ **↑** または **↓** で呼出ししたい文書を選択して **実行** を押すとペンが待機位置(各項目のページ参照)に移動します。

実行

【はや1 ██████████】
待機中

- ④ **スタート** を押すと作画します。(ハガキの場合のみ複数回の作画です)

スタート

- ⑤作画終了後は「待機中」に戻ります。はやわざを終了するときは **取消** を押します。



はやわざ削除

不要になったはやわざメモリを削除します。

- ① **はやわざ** を押します。

削除

★このとき通常画面に入力文書があるときには「入力文書削除？」が表示されます。入力文書を削除しはやわざを続行するときは **実行** を押します。

入力文書削除？
実行 取消

メモ

はやわざ以後も入力文書を使用する場合はメモリ登録を使用してください。

はやわざモード
呼出 新規 削除

- ②「削除」を選択して **実行** を押すと最後に登録した文書が表示されます。

実行

宅配便 A
【はや1】

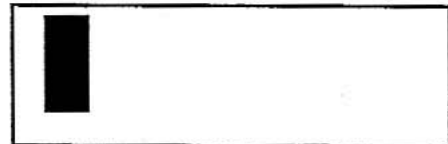
- ③ **↑** または **↓** で削除したい文書を選択して **実行** を押すと削除の確認メッセージを表示します。

実行

削除？
実行 取消

- ④もう一度 **実行** を押すと削除を行ない通常の入力画面に戻ります。

実行



8章

困ったときは

この章では、ご使用中に異常があったときの考えられる原因と対処方法について説明します。

故障かな？と思う前に	114
エラーメッセージの原因と対応	115
操作上のトラブル解決ページ	117

故障かな？と思う前に

状態	考えられる原因	ご確認内容	参照ページ
電源を入れても何も表示しない。	ディスプレイの濃度が適当でない。	表示濃度を調整してください。 <small>諸設定</small> シフト + 書式 (表示濃度)	12
電源が入らない。	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターを正しく接続してください。	18
電源を入れたときの初期動作でアームがケースに当たる。	作画範囲を確認するための動作をしています。	ペンをスケールの中心付近に手でごかしてから電源を入れてください。	—
ペンは動いているが作画出来ない。	インクが入っていない。	新しい替え芯に交換してください。	15
	ペン先が乾いている。	ペンを本体からはずしてインクが出るまで試し書きをしてください。	—
ペンシル(別売)は動いているが作画できない。	芯がなくなっている。	残芯を抜き取ってから芯を装填してください。	—
	芯が詰まっている。		
	長期間使用した。	ペンシルツールは消耗品です。交換してください。	—
作画した文字が乱れている。	ペン先と用紙のすきまが正しくない。	用紙は凹凸のないように置いて下さい。	18
	ツール自体又はツールの本体への取付が正しくない。	ペン/ペンシルツールを手で回して根元まで確実ににセットしてください。 ボールペンの先金を確実に締め込んでください。	15,16,17

☆上記の様な対応をとっても症状がかわらないときは、ご購入された販売店もしくはこの説明書の裏表紙に記載されているマックス営業拠点、マックスサービスにご連絡ください。

エラーメッセージの原因と対応

エラーメッセージ	対 応	参照ページ
文書容量オーバー	○通常文書 最大入力文字数はブロックマークや罫マークなども含めて500文字ですので、この範囲以内で入力してください。	2章 22～
	○はやわざ文書 ビデオラベルなど一部特殊な場合を除き、入力の1項目につき50文字までの入力となっていますので、この範囲以内で入力してください。	7章 96～
文字数オーバー	はやわざ、マス目モードで設定したマス目数を超える入力を行なおうとしました。マス目数を再設定してください。	100,101
ブロックオーバー	既に100ブロック入力済みで、ブロック キーを押しています。不要なブロックを削除してください。ブロックマークにカーソルを合わせて[削除]を押すと削除できます。	—
該当なし！	・郵便番号検索にて、入力された郵便番号の候補がありません。郵便番号をご確認の上、[削除]または[BS]で誤った箇所まで数字を削除し、再度入力してください。 ・郵便番号は平成13年4月1日現在のものです。それ以降に追加、変更になった番号の場合は上3桁のみの入力での検索をお勧めします。	37
文字入力不可！	カーソルがブロックマークにある状態で入力しています。カーソルをブロックマークから移動して、文字入力してください。	31
文書なし！	作画すべき文字がありません。文書を入力してから作画してください。	2章 22～
範囲オーバー	文字列が作画範囲(範囲設定の値)からはみ出しています。下記のいずれかの操作を行なってください。 ○通常文書 ・文章の途中にブロックマークを挿入して分割し、数回に分けて作画してください。 ・文章を短くしてください。 ・文字サイズ、文字幅、文字間の設定を小さくしてください。 ・範囲設定の設定値を大きくしてください。 ・自動縮小設定が「しない」となっている場合は「する」にしてください。 ○はやわざ ・文章を短くしてください。	46,47,48 32,33,34 58～63 66,67 67 7章 96～
設定は8行目まで	文字サイズ、行間隔、一行均等配列等の設定は9行目以降では設定できません。入力行数を8行までにしてから実施してください。	—
行間隔は2～8行で設定！	行間隔の設定を一行目で行おうとしました。行間隔の設定は2～8行目のみで行えます。	73
行数オーバー	9行以上の作画はできません。入力行数を8行までにしてから、実施してください。	—
組文字数オーバー	4文字以上を罫マークではさんでいます。罫マーク間は4文字以内にしてください。	82



エラーメッセージの原因と対応

エラーメッセージ	対 応	参照ページ
飾り枠不可！	改行があると、飾り枠を付けての作画はできません。飾り枠設定を「枠なし」にするか、1行で作画してください。あるいは、はやわざの「枠付き2行」「枠付き3行」「枠付き4行」「枠付き5行」で作画してください。	83 107
丸囲み不可！	丸囲みを指定した領域の中に『罫マーク』、『組マーク』、『3文字以上の文字数』がありますと、丸囲みができません。丸囲みができるのは3文字以内の通常入力文字に限られております。	—
縦書き不可！	上下付け文字は縦書きでの作画はできません。罫マークを削除するか横書きで作画してください。	60
改行不可！	上下付け文字があると、改行作画はできません。罫マークを削除するか、1行で作画してください。	—
罫マーク不足！ 組マーク不足！	カーソル位置に上下付、組文字の何れかのマークが不足しています。不足しているマークを入力してください。	—
罫マークオーバー	上下付けは1ブロック中に1組しか設定できません。ブロックを分けて入力してください。	44,45,46
作画データなし！	明朝体あるいは楷書体では、文字データが無く作画できない文字があります。標準書体あるいはペン字書体で作画してください。または、カタカナ、アルファベット、記号等に変更して作画してください。	70,71 124 152
残量不足！	文書メモリ容量(500文書、5000文字)を超えました。不要な文書を削除してください。	72,73
文書登録なし	メモリ登録文書が1つも無いときにメモリ呼出しをしました。メモリ登録してから呼出してください。	70
設定登録なし	メモリ登録設定が1つも無いときにメモリ呼出しをしました。メモリ登録してから呼出してください。	90
はやわざ登録なし	はやわざ登録文書が1つも無いときに呼出しをしました。はやわざ登録してから呼出してください。	7章 76～
文書のデータが一部壊れています 壊れている文書を削除します	文書メモリ内にデータの異常を確認しましたのでその文書を削除し他の文書を保護します。	—
ハードエラー！	内蔵電子部品の故障を検知しました。ONキーで電源をOFFにしてください。そして、ご購入された販売店もしくは裏表紙に記載されているマックス営業拠点、マックスサービスにご連絡ください。	—

操作上のトラブル解決ページ

このページは皆様からのお問い合わせの多い項目をまとめたものです。

①本機で使用できる筆記具(下記表の筆記具のみ ご使用いただけます。)

筆記具種別	メーカー名	型式	摘要
中性ボールペン (0.5ミリ太さ)	ぺんてる社	ハイブリッド(KF5-A)黒 ハイブリッド(KF5-B)赤	中芯のみ使用
セラミックペン (0.2ミリ太さ)	ぺんてる社	セラミックペン(SRM02) 0.2mm太さ	カラーは3色 (黒/赤/青)
油性サインペン (0.4ミリ太さ)	ステッドラー社	LUMO COLOR(S313)	カラーは8色 (黒/赤/茶/黄/緑/ 青/紫/オレンジ)
シャープペンシル (0.3ミリ太さ)	マックス(株)	ペンシルツール(PH-31)	0.3ミリ芯用 (濃さBを推奨します)

*上記筆記具はお近くの販売店様にて市販品をお求めください。

②本機で使用できる用紙(本機の性格上 上記筆記具で作画可能な用紙は使用できません。)

表面が平坦な紙、プラスチック、フィルム等 紙厚は問いません。

*曲面には作画できません。




*複写紙は中性ボールペン使用時、7枚複写まで使用できます。

(複写紙はノーカーボン紙厚40g/m²相当の感圧紙での数値です。)

*和紙を使用したのし紙、のし袋等はインクにじみが発生することがありますので、楷書体を使用して作画するときは極力、最大文字サイズをご使用ください。

③のし紙、のし袋等に楷書体を使って、文字記入を行うときは。



のし紙、のし袋等に文字記入を行う場合は下記手順に従って作業を行ってください。

1. のし袋等は広げて、平らな状態にし、紙が動かないように四隅を固定します。
2. 商品付属のセラミックペン(SRM-02)を専用ホルダで固定し、ワードライタのペンアームに確実にねじ込んで固定します。
3. ワードライタ本体のペン切替え() + () + () を行い、サインペンモードにします。
4. 和紙等の場合はインクにじみの可能性がありますので和紙への作画は文字サイズは10mm以上をお奨めします。
5. インクににじみが発生する場合は、ペン切替えをサインペンモードにした上で付属のボールペンを使用して作画してください。
6. 作画中はペン先が紙表面に引っかかり易いため、ワードライタ本体が動き易い状況となりますので、本体に軽く手を添えていただきますと、きれいに仕上がります。

④文字の入力

本機は基本的には入力した文書の中の一部のみの設定変更は出来ません。設定を変更しますと入力した文書全体の設定が変更されます。

⑤お問い合わせの多い操作上の項目集

こんな事がやりたい	使用するキー	操作内容	さらに詳しく知りたい時
『ローマ字入力』と『かな入力』の切替。	 	入力キーを押すたびにローマ字、かな、英数大文字、小文字の切替ができます。(ディスプレイ左に現在の入力方法を表示しています。)	2章 P 22~



操作上のトラブル解決ページ


こんな事がやりたい	使用するキー	操作内容	さらに詳しく知りたい時
かな入力で促音(小文字)を出す。	あ行 Q などの かな入力キー	かなめくりキーを押し続けると順次小文字が表示されます。	P 24,25
ローマ字入力で促音(小文字)を出す。		入力したい文字のローマ字表記の頭に『L』をつけます。(“っ”の場合はL+T+Uと入力します)	P 121
カタカナに変換する。	郵便 カナ かな	文字を入力後、変換キーのかわりにかなキーを押しますとカタカナに変換できます。	P 23,25
文字の間に余白を入れる。	半角スペース スペース	入力時にスペースキーを押すと余白が入力できます。またシフト+スペースキーを押しますと半角余白となります。	P 26
入力した文字を一文字だけ消す。	クリア 設定列A 削除 または BS	入力した文字を消す方法は2種類あります。削除キーはカーソルが重なっている文字を、BSキーはカーソルの一つ左側の文字を消します。	P 32,33
ブロックマークを消したい。	シフト + 削除 クリア または 削除	ブロックマークを消すときは2種類の方法があります。特定のブロック番号のみ消す時は方向キーでカーソルをブロックマーク上に移動させ、削除キーを押します。またブロック全体を消したい時はシフト+削除キーを押し、実行キーを押しますと消すことができます。ブロック作画モードから抜けるときも同様の手順となります。	—
多行書きを行う。 複数行を一度に書きたい。	改行 実行	複数行を一度に作画するときは改行をしたい場所にシフトキーと実行キーを同時に押して改行マークを入れます。本機では行ごとの文字サイズや行間サイズの設定も行えます。	—
範囲オーバーの修正がしたい。	横・縦 サイズ または 書体 範囲	作画スタート後に範囲オーバーが出た場合の対処方法には2つの方法があります。範囲を事前に設定している場合はサイズキーを押して文字サイズを現在の設定よりも小さくするか、範囲キーを押して設定範囲を広げることで範囲オーバーは解消できます。	P 58,59 P66
範囲を最大に設定したのに範囲いっぱいまで作画しない。 (均等配列の設定)	書体 範囲	範囲キーを押して設定モードに入った後、方向キーの下キーを押して均等配列にカーソルを合わせてから方向キー右を押しますと均等配列“する”“しない”の選択ができます。範囲いっぱいに作画するときは均等配列“する”を選択しますと範囲いっぱいに書くことができます。	P 67
縦書きで長音が横になってしまう。	ペン切替 入力 長音	(この機能のみ入力文書の部分設定が可能です。) 入力キーで、ディスプレイ左側の — を「ローマ字」あるいは「かな」にして長音キーのみを押し、長音を入力してください。	P 82
縦書きで平成11年の11のみ横書きにした。 (組文字の設定)	組字 K	文書入力後、方向キーを使って横書きにしたい部分の先頭文字にカーソルを合わせます。次にシフト+Kキーを押しますと画面に“組”の文字が表示されます。同様の方法で横書きしたい文字の後方にも“組”を表示させますと組で挟んだ部分のみ横書きとなります。	—

操作上のトラブル解決ページ

こんな事がやりたい	使用するキー	操作内容	さらに詳しく知りたい時
太文字作画の方法	シフト + 書体範囲	太文字で作画する時はシフト+範囲キーを押して書体設定モードに入ります。次に方向キーの左右を押しますと、順に標準、ペン字、太文字、明朝体、楷書体が表示されます。太文字が表示されたら方向キーの下を押して太さにカーソルを合わせます。塗りつぶしが必要な時の太さの設定は中性ボールペン使用時は0.5ミリ以下、油性サインペン使用時は0.4ミリ以下、シャープペンシル使用時は0.3ミリ以下とします。それ以上の太さ設定をしますと白抜き文字となります。 サインペンを使用して太文字、明朝体、楷書体を使用する場合は紙質によってにじみが発生することがありますので極力、最大文字サイズをご使用ください。	P 68
㈱、㈲、¥、㎡などの記号を入力したい。	JIS 単漢記号	入力中に単漢記号キーを押しますと記号種別が表示されます。次に方向キーの左右を押しますと一般、単位、電気、水道、絵文字が順に表示され、お好みの種別で実行キーを押しますと内容表示となります。後は必要な記号にカーソルを合わせて実行キーを押してください。	P 35
入力したい漢字の読みが解らない時	シフト + JIS 単漢記号	この説明書の巻末に掲載されております JIS コード表から入力したい漢字を探します。次に本機のシフト+単漢記号キーを押しますと“JIS=”表示がでますので該当する JIS コードを打ち込んで実行キーを押しますと入力できます。	P 36 表 P 122~
文字や一行ごとの文書を枠囲みする。	諸設定 書式	まず文書や文字を入力します。次に書式キーを押しますと画面に【書式】の表示されます。方向キーの左右を押しますと文字幅、文字間、位置合わせ、飾り枠が順に表示がされますので飾り枠が表示されたところで実行を押します。後は好みの飾り枠を選択し、実行キーで入力します。一度設定した枠囲みを解除する時は飾り枠なしを選択してください。 (入力文の一部のみの枠囲みはできません)	P 83
複数行の文書全体を枠囲みする。	枠付	はやわざキーを押してはやわざモードに入り、“新規”にカーソルを合わせて実行キーを押します。方向キーの左右を押して“枠付多行”を選択し、画面の指示に従って設定を行います。	7章 P 96~
はやわざを使って内容変更を行いながら連続作画をする。		はやわざで作画後、修正を選択しますと入力内容の変更が行えます。修正後、スタートキーを押して作画を行います。この作業を連続しますと内容を変更しながら連続的に作画が行えます。	P 97,99,101, 103,106,109
特定の文字や文書をキーに登録する。	シフト + 諸設定 書式	まず登録したい文書や文字を入力します。次にシフト+書式キーを押しますと【諸設定】が表示されます。方向キーの左右を押して“キー割付”を選択して実行キーを押して下さい。登録できるキーは数字キーの0-9までの10種類です。登録した文字や文書を呼び出す時はシフト+登録した数字キーを押します。	P 38

操作上のトラブル解決ページ

こんな事がやりたい	使用するキー	操作内容	さらに詳しく知りたい時
<p>桁目通りにきちんと納める。</p>		<p>本機への入力をする前に入力したい桁目全体の幅、高さ、桁目の数を計測しておきます。次に はやわざキーを押してはやわざモードに入り、“新規”にカーソルを合わせて実行キーを押します。方向キーの左右を操作して“マス目”を選択し、実行キーを押します。</p> <p>後はあらかじめ計測して置いた桁目全体の幅、高さ、桁目の数を入力し、実行キーを押しますと入力 completes します。</p> <p>(郵便番号の書き込みは“はがき”モードが便利です)</p>	<p>P 100,101</p>
<p>文字間、文字幅、行間の設定を変更する。</p>	<p>諸設定</p> 	<p>本機は行ごとに文字間、文字幅、行間等の設定が可能です。入力中に書式キーを押しますと【書式】モードに入ります。方向キーの左右を押しますと文字幅、文字間、位置合わせ、行間隔、一行均等配列、一行目下合わせ、飾り枠が順に表示されますのでお好みの変更項目を選択し、実行キーを押しますとそれぞれの設定変更ができます。(文字間を自動に戻すときはシフト+削除キーを押します。)</p>	<p>文字間 P 62,63</p> <p>文字幅 P 60,61</p>

その他 操作上ご不明な点は マックス フリーダイヤル  0120-510-200まで。
(月～金曜日(祝祭日を除く) 午前9時～午後6時)

付録1 ローマ字入力の読み一覧

あ	あ A	い I YI	う U WU WHU	え E	お O
	あ LA XA	あ WI い LI XI LYI XYI	う LU XU	え WE え LE XE LYE XYE	お LO XO
	うあ WHA	うい WHI		うえ WHE	うお WHO
か	か KA GA	き KI	く KU CU QU	け KE	こ KO CO
	カ LKA XKA			ケ LKE XKE	
	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
	くあ QA	くい QI	くう	くえ QE	くお QO
	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
さ	さ SA	し SI CI SHI	す SU	せ SE GE	そ SO
	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
	しゃ SYA SHA	しい SYI	しゅ SYU SHU	しえ SYE SHE	しよ SYO SHO
	じゃ ZYA JA JYA	じい ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
			っ LTU XTU		
	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
	ちゃ TYA GHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO

な	な NA にや NYA	に NI にい NYI	ぬ NU にゅ NYU	ね NE にえ NYE	の NO によ NYO
	は HA	ひ HI	ふ FU FU	へ HE	ほ HO
は	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
	ふゃ FYA		ふゅ FYU		ふよ FYO
	ふぁ FWA FA	ふい FWI FYI	ふう FWU	ふえ FWE FE FYE	ふぉ FWO FO
	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
	ヴぁ VA	ヴい VI	ヴゅ VU	ヴえ VE	ヴょ VO
	ヴゃ VYA	ヴい VYI	ヴゅ VYU	ヴえ VYE	ヴょ VYO
	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
ま	ま MA みゃ MYA	み MI みい MYI	む MU みゅ MYU	め ME みえ MYE	も MO みよ MYO
	や YA		ゆ YU		よ YO
や	ゃ LYA XYA		ゅ LYU XYU		ょ LYO XYO
	ら RA りゃ RYA	り RI りい RYI	る RU りゅ RYU	れ RE りえ RYE	ろ RO りよ RYO
わをん	わ WA わ LWA XWA				を WO
	ん NN				

*NIに続けて子音 (A/I/U/E/O 以外のアルファベット) を入力すると「ん」になります。
例: 「DENKI」 = 「でんき」

*子音を2つ続けて入力すると「っ」になります。
例: 「TOTTE」 = 「とって」

付録2 JISコード一覧

JISコード入力の際にはJISコード一覧により必要な文字または記号を確認しコードの入力を行ってください。JISコード一覧は、非漢字・JIS第一水準漢字・JIS第二水準漢字の3項目に分かれています。それぞれ多少分類方法が異なりますので、下記の一覧表の見方にしたがって効率よく調べてください。

一覧表の見方

①コードは16進で表現しています。

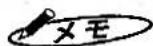
たとえば「B」のコードは、 $2340 + 2 = 2342$ となります。

②非漢字は、各種記号、英数字、ひらがな、カタカナなどのJISコード一覧です。それぞれのブロックごとに分類してあります。

③JIS第一水準漢字は、「アイウエオ順」に分類してあります。

④JIS第二水準漢字は、部首ごとに分類してあります。

お願い JISコード一覧の文字は、印刷用の書体を使用しています。ワードライタで作画した文字と一部形が異なりますのでご注意ください。



度分秒の入力は、JISコード216B (°)、216C (′)、216D (″) を使用してください。

※マークは記号入力の「一般」に含まれています。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
* 記号	2120		「	、	。	,	.	.	:	;	?	!	°	°	'	、	..
	2130	-	—	—	、	ゞ	ゞ	々	々	全	々	々	〇	-	-	-	/
	2140	\	~			'	'	"	"	()	[]	[]
	2150			<	>	<	>	「	」	「	」	【	】	+	-	±	×
	2160	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=	
	2230											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	2240	U	∩									∧	∨	↖	↗	↔	∇
	2250	∃												∠	⊥	~	∂
	2260	∇	≡	≐	≪	≫	√	∞	∞	∴	∫	∫∫					
	2270			À	%	#	b	♪	†	‡	¶						○
英数字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
ひらがな	2420		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く
	2430	ぐ	け	げ	こ	こ	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	が	そ	ぞ	た
	2440	だ	ち	ち	っ	っ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	2450	ば	ば	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	り	ほ	ほ	ぼ	ま	み
	2460	む	め	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
	2470	る	ゑ	を	ん												
カタカナ	2520		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゲ	ソ	ゾ	タ
	2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	2550	バ	バ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	リ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	2560	ム	メ	モ	ャ	ャ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
	2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									



		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
※	ギリシヤ文字	2620		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
		2630	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
		2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
		2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
※	ロシア文字	2720		A	B	B	Г	Д	E	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
		2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
		2740	Ю	Я														
		2750		a	b	B	г	д	e	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
		2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
		2770	ю	я														
特殊文字	2B20		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
	2B30	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	No.	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	
単位	2B40	cm ²	m ²	mm	cm	km	mg	kg	cc	m ³	cal	Hg	°K	Bg	dB	Ag	ppm	
	2B50	m	l	ha	←	⇒	↑	↓	⇔	⊕	⊗	⊙	⊚	□				
	2B60	a	b	c		d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
	2B70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						
絵文字	2E20																	
	2E30																	
	2E40																	
	2E50																	
	2E60																	
	2E70																	
※	省略文字	7E20	TEL FAX (株)			(有) (代) (協) (財)			(社) (営) (注) KK			㊤ ㊦						

※楷書体では、コード2B35(No.)、7E21(TEL)、7E22(FAX)、コード7E26((協))、7E29((営))、7E2A((注))、7E2B(K.K)、7E2C(GLマーク)、7E2D(PLマーク)と、2B40から2B7Aまでの「単位」「筆記体」等は作画できません。詳しくは124・152ページを参照ください。
 ※明朝体では、7E2C(GLマーク)、7E2D(PLマーク)と、コード2B40から2B7Aまでの「単位」「筆記体」等は作画できません。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
電気設備用シンボル	7A20		○	⊖	⊙	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7A30	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7A40	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7A50	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7A60	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7A70	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7B20	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7B30	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7B40	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7B50	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
7B60	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
7B70	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
水道工事前用配管シンボル	7C20	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7C30	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7C40	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7C50	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7C60	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7C70	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7D20	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7D30	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7D40	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	7D50	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
7D60	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
7D70	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ア	3020		垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
	3030	旭	葦	芦	鱗	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	站	或
	3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
イ	3040											以	伊	位	依	偉	匪
	3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	3060	萎	衣	謂	達	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	忝	溢	逸
	3070	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	3120		院	陰	隱	韻	吋										
ウ	3120							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑
	3130	確	白	渦	嘘	唄	蔚	蔚	鱧	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	3140	雲															
エ	3140		荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閏	榎	厭	円
	3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	3170	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩									
オ	3170								於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
	3220		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	冲	荻	億
	3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音				
カ	3230													下	化	仮	何
	3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
	3330	外	咳	害	崖	概	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	3340	垣	柿	蛭	鈎	劃	嚇	各	廓	扞	攪	格	核	殼	獲	確	穫
	3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	顎	掛	笠	慳
	3360	檀	棍	鯁	瀉	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	謁	轄	且	鏗
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(カ)	3370	叶	枇	樺	鞞	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噉	鴨	栢	茅	萱	
	3420		粥	刈	苻	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勳	卷	喚	堪	姦
	3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎
	3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	3450	莞	覲	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陷	韓	館	缶	翰	肝	艦
	3460	巖	玩	癩	眼	岩	翫	贖	雁	頑	顏	願					
キ	3460											企		伎	危	喜	器
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	3520		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑
	3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	匡	魚	亨	享	京	強
	3620		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	狹	狹	叫	喬	境	峽	鄉
	3630	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	僅
	3640	鏡	響	饗	驚	挾	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	襟
	3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	
	3660	謹	近	金	吟	銀											
ク	3660						九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駝
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	榭	釧	屑	屈	君
	3720		掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	限	彙	栗	線	桑	歛	勳	
	3730	薰	訓	群	軍	郡											
ケ	3730						卦	袈	邗	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	3740	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
	3750	經	繼	繫	罪	莖	荊	蛩	計	詣	警	輕	頸	鶉	芸	迎	鯨
	3760	劇	戟	擊	激	隙	衍	傑	欠	詣	潔	穴	結	血	訣	月	件
	3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	軒
	3820		檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	凜	肩	見	謙	賢	軒	遺
	3830	鍵	險	顛	驗	餒	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	3840	言	諺	限													
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
コ	3840				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	3860	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	醐
	3870	乞	鯉	交	佼	候	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	3950	浩	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉞	破	鋼	閤	降
	3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
	3970	告	国	穀	酷	剛	鵠	黒	獄	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	痕
3A20		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混		
3A30	紺	良	魂														
サ	3A30				些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A40	娑	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	3A50	歲	濟	災	采	屨	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	劑	在
	3A60	材	罪	財	冚	坂	阪	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	皐	鯖	筈	鏗	鮫	皿	晒
	3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚤	讚	贊
	3B40	酸	餐	斬	暫	殘											
シ	3B40						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
	3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿
	3C30	式	識	鳴	竺	軸	宍	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	3C40	疾	質	実	部	篠	俣	柴	芝	屢	蕊	緇	舍	写	射	捨	赦
	3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	緇	勺	尺	杓	灼	爵
	3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	蒐
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	警	蹴	鞞	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	3D40	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熱
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	隣	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遊	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	萑	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
	3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	量	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
	3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝							
ス	3F50										筍	誦	須	酢	囟	厨	
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	遂	須	錐	錘	隨	
	3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	難	据	杉	菅	頰	雀	裾		
	4020		澄	摺	寸												
セ	4020					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
	4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	4070	扇	撰	栓	柁	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	4120		緞	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	穿	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲								
ソ	4130									噌	塑	岨	措	曾	曾	楚	
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	邇	鼠	僧	創	
	4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	搜	掃	挿	搔	
	4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	綜	聡	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ソ)	4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
	4220		臟	葳	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
夕	4230															他	多
	4240	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	檣	陀	馱	驛	体	堆
	4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醜	題	鷹	淹	瀧	卓	啄
	4270	宅	托	扞	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	蛸	只	
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箏	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談				
子	4340														值	知	地
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	4360	逐	秩	壺	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	4370	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	4430	聽	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳											
ツ	4440					津	墜	椎		槌	追	鎚	痛	通	塚	梅	摺
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鐔	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
	4460	釣	鶴														
テ	4460			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	
	4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲
	4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	轉	顛
	4540	点	伝	殿	澱	田	電										
ト	4540						兔	吐		堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	拷	棟
	4570	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	4620		董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働
	4630	動	同	堂	導	撞	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴉	匿
	4640	得	德	澆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椽	屈
	4650	霈	苔	寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
ナ	4660	奈	那	内	乍	凧	雞	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	繩	暖	南	楠
	4670	軟	難	汝													
ニ	4670				二	尼	式	迓	匂	販	肉	虹	廿	日	乳	入	
	4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認								
ヌ	4720									濡							
ネ	4720										襦	祢	寧	葱	猫	熱	年
	4730	念	捻	撚	燃	粘											
ノ	4730						乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
	4740	農	視	蚤													
ハ	4740				巴	把	播	霸	把	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	4750	俳	廢	拜	排	把	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	4760	楸	煤	狼	買	敗	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	4770	柏	泊	白	箔	壳	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	
	4820		函	箱	俗	粕	肇	筭	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	澆	発
	4830	醜	髮	伐	罰	箸	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	八	判	半	反
	4840	叛	帆	搬	斑	拔	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻						
ヒ	4850											匪	卑	否	妃	庇	
	4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	
	4870	誹	費	避	非	飛	樋	比	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
	4920		鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	膝	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
	4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	4950	賓	類	敏	瓶												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950					不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4970	武	舞	葡	燕	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	
	4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
へ	4A30											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
	4A50	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭			
ホ	4A50														保	舖	鋪
	4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	喪	訪	豊	邦	鋒
	4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
	4B50	撲	朴	牧	睦	穆	卸	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉
	4B70	鱒	糝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	繭	曆	万	慢	滿	
	4C20		漫	蔓													
ミ	4C20			味		未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C30	耗	民	眠													
ム	4C30			務		夢	牟	矛	務	鷓	掠	婿	娘				
メ	4C30														冥	名	命
	4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵		
モ	4C40															摸	模
	4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	杳	勿	餅
	4C60	尤	戾	初	貫	問	悶	紋	門	匆							
ヤ	4C60										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C70	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	鐘					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C70												愉	愈	油	癒	
	4D20		論	翰	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	袖	湧
	4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
ヨ	4D30														予	余	与
	4D40	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	与
	4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
	4D60	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4D60					羅	螺	裸		来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽								
リ	4D70									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	莅	掠	略	劉	流	溜
	4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
	4E40	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E50	綠	倫	厘	林	淋	憐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
ル	4E50													瑠	壘	淚	累
	4E60	類															
レ	4E60		令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F20		蓮	連	鍊												
ロ	4F20					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
	4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	輦	蠟	郎	六	麓	祿	肋	録
	4F40	論															
ワ	4F40		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	杵	鶯	互	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F50	椀	湾	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	5020		弑	丐	丕												
丨	5020					个	卯										
丶	5020							、	井								
丿	5020									ノ	乂	乖	乘				
乙	5020													亂			
丿	5020 5030															丿	豫 事
二	5030		式	于	亞	亟											
一	5030					一	亢	京	毫	竄							
人	5030										从	仍	仄	仆	仿	仗	
	5040	仞	仞	仞	价	伉	侏	估	佛	佻	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗
	5050	佩	佰	侑	佯	來	侑	儘	侏	俟	俎	俘	俛	侗	俚	侗	侗
	5060	俚	倚	倨	偈	倪	倥	倅	倅	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
	5120 5130		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
儿	5130									儿	兀	兒	兌	兔	競	競	
入	5140	兩	兪														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	5140			兮	冀												
冂	5140					冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂				
冂	5140 5150													冂	兔	寇	豕
彳	5150			彳	决	返	冲	冰	况	冽	涸	凉	凜				
几	5150 5160													几	處	凵	凭
凵	5160			凵	函												
刀	5160 5170 5220				刃	刊	刂	刂	刂	剛	刮	刮	利	剏	到	剏	刺
					剏	剏	剏	剏	剏	劍	劍	劍	劍	剏	剏	剏	剏
					剏												
力	5220 5230			勹	勹	勹	券	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹
				勹													
勹	5230			勹	勿	匈											
匕	5230									匕							
匚	5230									匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
匚	5230																匚
十	5240			卒	卅	卅	卅	卅	卅	卅							
卜	5240								卜								



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
冂	5240								冂	卮	邝	郤	卷					
厂	5240													厂	厖	厠	厦	
	5250	厥	廛	廠														
厶	5250				厶	參	篡											
又	5250							雙	叟	曼	燮							
口	5250											叮	叨	叭	叭	吁	吡	
	5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咎	呋	呱	呶	咭	
	5270	咒	呻	咀	嗽	咄	咐	咆	哇	呶	咸	哇	咬	哄	哈	咨		
	5320		咫	哂	咤	咄	高	吟	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哧	
	5330	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
	5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
囗	5370									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	
	5420									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	
土	5420											垠	坏	址	坏			
	5430	坩	垂	垩	坡	坩	坩	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	坩	址	坏	
	5440	坩	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	坩	址	坏	
	5450	墅	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	坩	址	坏	
	5460	垠	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	坩	址	坏	
士	5460				壯	壺	壹	壻	壺	壽								
夂	5460									夂								
夂	5460										夂	夂						

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	5460													夕	夕	夕	
大	5460																大
	5470	夭	本	夸	夾	竒	奕	奘	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奘	奘	
女	5520		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨	姜	妍	姪	姚	娥	娟
	5530	娑	娜	娉	娉	姍	姍	婉	姍	娶	婢	婪	媚	媪	媪	媪	媪
	5540	媽	媽	嫗	嫗	嫩	嫗	嫗	嫗	嬌	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
	5550	孃	孃	孃													
子	5550			子		孕	孕	孛	孛	孩	孰	孛	孛	學	孛	孛	
宀	5550																宀
	5560	它	宦	宸	宛	寇	崔	寔	寐	寤	寤	寤	寤	寥	寫	寤	寶
	5570	寶															
寸	5570		尅	將	專	對											
小	5570					尔	尅										
尢	5570							尢	尢								
尸	5570									尸	尹	屁		屈	屎	頁	
	5620		屐	屐	屐	屬											
巾	5620					巾											
山	5620							屮	屮	屹	岌	岌	岔	岌	岌	岌	岌
	5630	岬	岬	岬	岬	峇	峙	峇	峇	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
	5640	峇	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
	5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
ㄩ	5650																ㄩ



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	5660	巫															
巳	5660	巳	卮														
巾	5660			帟		帟	帙	帙	帙	帶	帷	幄	幃	幃	幃	幃	幃
	5670	幃	幃	幣	幣												
干	5670					干	井										
幺	5670							幺	麼								
广	5670									广	庠	廁	廂	厦	廐	廐	
	5720	廖	廣	斯		廚	廛	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廳	廳		
彡	5720															彡	彡
井	5730	井	弃	井	井	井											
弋	5730					弋	弋										
弓	5730							弓		弩	弭	弭	弭	彈	彌	彎	彎
彡	5740	彡	彡	彡	彡												
彳	5740							彳	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
	5750	徃	徃	徃	徃	徃	徃										
心	5750							忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	5760	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	5770	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(心)	5820		悄	悛	悖	悗	悛	悛	悛	惡	悽	惠	倦	悴	悴	悽	惆
	5830	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
	5840	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
	5850	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
	5860	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
	5870	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
戈	5870									戈	戊	戊		戊	戔	戔	
	5920		戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔								
戸	5920									扁							
手	5920									扎	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5930	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5940	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5950	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5960	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5970	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A20		扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A30	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
攴	5A30													攴	攴	攴	
	5A40	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴
斗	5A40																斛
	5A50	斛															
斤	5A50		斤	斤													
方	5A50			旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃				
无	5A50											无	无	无			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
日	5A50														旱	杲	昊
	5A60	昃	昃	杳	昵	昃	昃	昃	昃	昃	晉	晁	晞	晝	晝	晝	晝
	5A70	晁	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝
	5B20		晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝							
日	5B20									日	日	日					
月	5B20													肫	肫	肫	肫
	5B30	肫	肫														
木	5B30		朮	朮		朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B40	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B50	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B60	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B70	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C20		朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C30	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C40	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C50	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C60	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C70	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5D20		朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5D30	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	欠	5D30								歛	歛	盜	歛	歛	歛	歛	歛
5D40		歛	歛	歛	歛	歛											
止	5D40					歸											
歹	5D40							歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
	5D50	歹	歹	歹	歹	歹											
殳	5D50					殳	殳	殳		殳							

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
母	5D50										母	毓						
毛	5D50 5D60												毫	毳	毫	毳	毳	
氏	5D60			氓														
气	5D60			气		氣	氫	氣										
水	5D60								汞	汕	汆	汪	沂	沔	沚	沁	沛	
	5D70	汾	汨	汜	沒	沐	泄	洩	泓	沽	泗	泗	沂	沮	沱	沾		
	5E20		涸	泛	泯	汧	汨	洩	衍	洵	洫	洽	洗	洙	洵	洳	泗	
	5E30	洌	浣	涓	泫	浚	洩	浙	涎	涕	濤	湴	淹	洌	淵	涵	淇	
	5E40	淦	涸	涪	淬	淞	洩	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淩	淪	淮	渭	
	5E50	漣	滄	渙	浹	漉	渾	渣	湫	淥	涼	湍	渟	渟	渺	涵	渤	
	5E60	滿	滄	游	瀨	溪	溘	混	溷	淅	淥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	
	5E70	溥	滂	溟	穎	漑	灌	漚	漚	滾	漿	滲	漑	漑	滲	滲	滲	
	5F20		漾	漓	滷	澆	滌	潛	澁	澀	澀	潛	潛	潛	潭	澀	澀	
	5F30	澎	滂	滂	滂	澳	滂	滂	澤	澹	澹	滂	滂	滂	濕	滂	滂	
	5F40	濱	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂
	5F50	瀾	瀾	激	灑	灣												
火	5F50					炙	炒	炯		燭	炬	炸	炳	炮	烟	焦	炆	
	5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	輦	煇	煇	煇	燻	燻	燻	
	5F70	煩	熨	熬	爛	烹	熾	燒	燉	燉	燎	燠	燠	燠	燠	燠	燠	
	6020		爨	燿	燿	爐	爛	羹										
爪	6020							爭	爬	爰	爲							
爻	6020											爻	組					
月	6020														月	牀	牆	
	6030	腴	牘															



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
牛	6030			牴	牯	犁	犁	犇	犒	犖	犗		犛				
犬	6030												犹	豺	狃	狃	狄
	6040	狎	狒	狒	狼	狛	狛	狛	倏	猗	猗	猜	猜	猝	猴	獾	狸
	6050	猥	猥	獎	獾	默	獾	獾	獨	猓	獸	獵	獻	獺			
玉	6050														珈	玳	玳
	6060	玻	珀	珉	珉	珞	璠	琅	瑯	琥	珥	珙	玳	瑕	璠	瑟	璠
	6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	璵	琰	
瓜	6120			瓠	瓣												
瓦	6120				砧	甌	瓮	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
	6130	甌	甌	甌													
甘	6130				管												
生	6130					甦											
用	6130					甬											
田	6130							畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀
	6140	畀	畀	畀	畀	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊					
病	6140												疔	疾	疔	疥	疣
	6150	痲	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
	6160	瘡	瘡	瘡	瘡	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6170	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6220			癩													
夂	6220			夂	癸	發											
白	6220					皀	兒	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
皮	6220																皃 皃	
	6230	皃	皃	皃														
皿	6230			盂		盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂				
目	6230																眇 眇 眇	
	6240	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	
	6250	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	
	6260	眇	眇															
矛	6260		矜															
矢	6260		矣		矮													
石	6260					砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	
	6270	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	
	6320		砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒					
示	6320												祀	祠	祇	崇	祚	
	6330	祕	祓	祺	祿	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊	禊					
禺	6330											禹	禹					
禾	6330															秉	秣	秧
	6340	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
	6350	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣					
穴	6350						穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	
	6360	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠					
立	6360						竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	
	6370	竝	竝	竝														
竹	6370			笄		笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	
	6420		笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
(竹)	6430	筩	篔	箊	筵	筍	筴	箒	箏	箐	箆	篋	篁	篥	篦	箴	箴	
	6440	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒
	6450	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒
	6460	箒	箒															
米	6460		杵	枇		秬	粳	秣	粳	秬	秬	秬	秬	粳	粳	粳	粳	
	6470	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽
糸	6470													紉	紉			
	6520	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6530	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6540	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6550	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6560	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6570	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
缶	6570													缸	缸			
	6620	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
网	6620						网	罕		罔	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	
	6630	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟
羊	6630					羌	羔	羴		羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	
	6640	羴	羴															
羽	6640		翹	翠		翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	翹	
老	6640													耆	耆	耆	耆	
耒	6650	耒	耒	耒	耒	耒	耒											
耳	6650						耿	耻		聊	聆	聒	聒	聚	聒	聒	聒	
	6660	聒	聒	聒	聒	聒	聒	聒										
聿	6660						聿	聿		聿	聿							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
肉	6660											肛	育	肚	胸	胃	肱	
	6670	胛	胥	胙	胍	胄	胚	胙	脉	胯	肱	脛	脩	脣	脯	腋		
	6720		隋	腴	脾	腓	腑	胼	腱	腮	脛	腦	腴	膈	膈	膊	膀	
	6730	膻	膠	膈	膻	腔	腔	腸	臑	膻	臍	膻	臑	膻	腎	臂	膺	
	6740	臉	臍	臑	臑	臑	臑	臑	臑		臑							
臣	6740									臑								
至	6740											臺	臻					
白	6740													臑	臑	春	臑	
	6750	與	舊															
舌	6750			舍	紙	舖												
舟	6750					舩	舩	舩		舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	
	6760	舩	舩	舩	舩	舩												
艮	6760					艮												
色	6760					艷												
艸	6760							艸	艾	芍	芒	芫	芫	芫	芫	芫	芫	
	6770	芫	苟	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	6820		茵	茵	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	
	6830	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	6840	萱	董	莧	菽	萃	菘	蕪	菁	葳	葳	葳	葳	葳	葳	葳	葳	
	6850	莢	菱	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴
	6860	葯	施	萵	萵	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇
	6870	莠	蔡	菰	蓴	蔗	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞	蔞
	6920		葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍
	6930	薜	蘋	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔
	6940	蘋	蘋	蘭	蘆	龍	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆



付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
虍	6940									虍	帀	虔	號	虧				
虫	6940														虱	蚋	蚣	
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	螭	虻	蛔	蛞	蛩	蝥	
	6960	蚊	蛛	蛭	蜒	蜆	蜈	蜀	蚤	蛻	蝮	蟻	蜂	蝻	蝻	蝻	蝻	
	6970	蝻	蜻	蜥	蝮	蜚	蝠	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
	6A20		螽	游	蝻	蠅	螢	螟	螂	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻
	6A30	螳	蕤	螟	蝻	螭	蟲	蟠	懈	蠍	蟾	蝗	蟻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻
	6A40	蠕	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶
血	6A40									血	衄							
行	6A40											街	衙	衛	衙			
衣	6A40															衫	袁	
	6A50	衾	袞	衾	衾	衾	衾	袂	袂	袒	衾	袂	袂	袍	袂	袂	袂	
	6A60	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	
	6A70	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	
	6B20		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦									
冫	6B20									冫	冫	冫	冫					
見	6B20													覓	覓	覓	覓	
	6B30	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓									
角	6B30									觚	觚	觚	觚	觚	觚			
言	6B30															訃	訃	
	6B40	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B50	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B60	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B70	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6C20		讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
谷	6C20																𪗇	𪗈
	6C30	谿																
豆	6C30		豈	豌	豎	豐												
豕	6C30					豕	豢	猪										
豸	6C30									豸	豺	貂	貉	貅	貊	狸	貌	
	6C40	貔	貍	獬														
貝	6C40				賤	質	貧	貽	贄	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賈	賈	
	6C50	賽	賺	賻	贄	賚	贄	贄	贏	贍	贍	齋	賈	賈	賈	賈	賈	
赤	6C50																赧	
	6C60	赭																
走	6C60	走	赳	赳	赳	趙												
足	6C60					跂	趾	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	
	6C70	跟	跣	跣	跣	跟	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跣	
	6D20		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	
	6D30	踏	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	
身	6D30											躬		軀	體	躄	躄	
	6D40	躄	躄															
車	6D40			軋	軋	輿	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	
	6D50	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	
	6D60	輟	輟	輟														
辛	6D60			辜	辟	辣	辭	辯										
辵	6D60									辵	辵	辵	辵	迪	迪	迪	迪	
	6D70	迓	迹	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	
	6E20		遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	
	6E30	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	遯	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E30								邨	邨	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
	6E40	鄒	鄒	鄒	鄰												
酉	6E40					酏	酏	醑	酣	酥	酪	醕	醒	醋	醉	醢	醴
	6E50	醫	醴	醪	醖	醴	醴	釀	覺								
采	6E50									柚	釋						
里	6E50												釐				
金	6E50												鈞	鈇	鈈	鈉	鈊
	6E60	釵	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳
	6E70	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳	鈳
	6F20		銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	6F30	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	6F40	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	6F50	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
門	6F50									門	閉	閩		閩	閩	閩	閩
	6F60	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩
	6F70	閩	閩	閩	閩												
阜	6F70					阡	阨	阮	阨	陂	陌	陌	陌	陷	陝	陞	
	7020		陝	陟	陟	陞	陞	陞	陞	隕	隗	隗	隗	隗	隗	隗	隗
隶	7030	隶	隸														
隹	7030		隹	隹		雋	雋	雍	裸	雜	霍	雕					
雨	7030											電		霄	霽	霽	霓
	7040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
青	7050	靜															
非	7050		靠														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	7050			匏	甌	甌											
革	7050					勒	鞞	鞞		鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
	7060	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞						
韋	7060											韋	韋				
韭	7060													韭	齋	齋	
音	7060																竟
	7070	韶	韶														
頁	7070			頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
	7120			頤	頤	頤											
風	7120					風	風	風	風	風	風	風					
食	7120											餽		餽	餽	餽	餽
	7130	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽
	7140	餽	餽	餽	餽												
首	7140				馘	馘											
香	7140					馥											
馬	7140							馭		馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
	7150	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
	7160	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
骨	7160													馮	馮	馮	馮
	7170	馮	馮	馮	馮												
高	7170					馮											

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髟	7170					髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
	7220		髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟								
鬥	7220									鬥	鬥	鬥	鬥	鬥	鬥		
鬯	7220																鬯
鬲	7220																鬲
鬼	7230	魄	魃	魏	魍	魍	魍	魍									
魚	7230								魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
	7240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
鳥	7260											鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7270	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7320		鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7330	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7340	鳧	鳧	鳧													
鹵	7340			鹵	鹵	鹵											
鹿	7340					鹿	鹿			鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿		
麦	7340																麦
	7350	麦	麦	麦													麦
麻	7350				麻												
黄	7350					黄											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黍	7350					黎	黏	糲									
黒	7350									黔	黜	黠	黝	黠	黠	黠	黠
	7360	黠	黠	黠													
滂	7360			滂		馘	馘										
黽	7360					黽	黽			黽							
鼓	7360									鼓	鞞						
鼠	7360											鼠	鼯				
鼻	7360													鼻			
齊	7360															齊	
齒	7360																齒
	7370	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧
龍	7370													龍			
龜	7370														龜		
龠	7370															龠	

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
その他漢字	7420		堯	禛	遙	瑤	嘖	佞	嘔	脍	嗜	播	狷	喝	葛	喝	厩
	7430	卿	俠	僅	軀	倦	餒	麴	甌	屢	會	繡	蝕	啄	巽	算	塚
	7440	摑	鄭	填	瀆	潑	麵	萊	搔	吉	高	煨	疥	痊	瘧	瘡	療
	7450	癩	窠	癰	孖	祇	甌	眈	黎	爵	鷗	蟬	啞	飴	溢	恢	焰
	7460	嚙	凜	熙													
	7720		續	佻	德	昱	昇	荔	匡	厲	埇	堵	寘	崧	崑	崎	悅
	7730	愀	愠	愧	昂	晴	曷	杓	梢	柳	榉	榘	摺	橫	檄	檣	櫛
7740	榭	榭	榭	榭	檜	榘	乘	采	淞	清	泮	漸	濱	濱	瀨	澗	
7750	渚	滯	漣	猥	珉	琢	珊	皓	皜	益	琢	礼	神	祥	福	禛	
7760	祁	禱	靖	精	粃	剝	綠	繪	羨	羽	臈	薰	薩	薯	蔭	蔣	
7770	蓬	蓮	薨	賴	赴	迂	迦	逝	遜	迪	辻	遁	逼	遼	儲		
7820		鄉	噲	噲	晦	曙	徽	捲	撰	振	煉	猷	釧	釵	鉑	鎊	
7830	鎚	鎚	隆	青	屑	屠	嫌	巷	醬	鞞	賭	謎	箸	頰	飯	飼	
7840	館	餌	蝕	鯖	鱒	鵠	鶴	驛	腿	黑	黛	酸	愈	癒	蠟	龜	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

コード7446 萊 は楷書体では作画できません。コード4D69 萊 を利用してください。

コード7451 窠 は楷書体では作画できません。

コード7455 甌 は楷書体では作画できません。

コード7457 黎 は楷書体では作画できません。コード7355 黎 を利用してください。

コード7772 薨 は楷書体では作画できません。コード6130 薨 を利用してください。

コード784F 龜 は楷書体では作画できません。コード737D 龜 を利用してください。

付録3 用語一覧

① 用語は土木、電気、水道、建築の4分野でそれぞれ310個が用意されています。

② それぞれ1～310の番号が付けられています。番号で選択して入力してください。

土木 1～150番

1	厚さ	51	ガードレール状況	101	構造物補修工
2	暗渠工	52	ガードレール	102	護岸
3	暗渠補修施工状況	53	ガードフェンス工	103	砕石敷均し
4	足場工	54	機械掘削	104	採取土
5	足場組立	55	機械盛土	105	細粒度型
6	足場組立状況	56	機械埋戻	106	散水養生
7	アスファルト舗装	57	機械切取	107	災害復旧工事
8	アスコン打設	58	機械床掘	108	左右路床高測定
9	合材到着温度の測定	59	機械土羽打	109	雑工
10	合材敷均し状況	60	基礎栗石	110	雑割石積検測
11	一層目転圧	61	基礎高	111	雑割石積状況
12	井筒工	62	基礎工	112	材料検査
13	内壁	63	基礎コンクリート工	113	残土処理状況
14	埋戻工	64	基礎	114	締め固め
15	埋戻しコンクリート	65	切込砕石基礎状況	115	種子吹付
16	埋戻状況	66	切込砕石基礎検測	116	植栽工
17	裏込礫	67	切込砕石敷	117	植生芝筋状況
18	裏栗石	68	橋梁	118	床版工
19	打継個所	69	橋台	119	支承工
20	As安定処理層	70	橋台工	120	支線道路
21	L型ブロック据付状況	71	休工	121	集水樹工
22	横断図	72	境界杭設置	122	支保工
23	応急処理工	73	既設物取こわし	123	竣工
24	帯工	74	基礎砕石転圧状況	124	敷厚
25	温度管理	75	杭打工	125	敷高
26	温度測定	76	躯体コンクリート状況	126	敷均し
27	完成	77	躯体コンクリート工	127	敷モルタル工
28	完了	78	空気量	128	敷モルタル状況
29	管理	79	区画線	129	敷モルタル検測
30	管工	80	草刈	130	敷コンクリート状況
31	型枠工	81	グレーチング	131	敷コンクリート検測
32	型枠検測	82	検査	132	しゃ断層検測
33	型枠組立	83	検測	133	しゃ断層砂敷
34	型枠取付状況	84	下水道工事	134	車道舗装
35	解体工	85	工期	135	試験
36	階段工	86	工事	136	敷固め状況
37	籠工	87	工区	137	障害物撤去工
38	掛蓋工	88	小口止	138	上層路盤
39	嵩上工	89	工事標識	139	上層路盤検測
40	嵩上コンクリート	90	工事測量	140	実測寸法
41	隔壁工	91	工事用道路	141	状況
42	仮設道路	92	コンクリート養生工	142	準備工
43	カッター切断	93	コンクリート管渠	143	縦断図
44	下層路盤検測	94	コンクリートブロック張り	144	除雪状況
45	岩盤状況	95	コンクリートブロック据付け	145	人力床堀
46	岩盤掘削	96	コンクリート打設	146	人力法切
47	岩盤処理	97	コア採取	147	人力埋戻
48	岩盤検測	98	高欄工	148	人力掘削
49	岩破壊状況	99	小運搬	149	人力盛土
50	街路工	100	工作物工	150	除草工

付録3 用語一覧

土木 151～310番

151	除草剤撒布状況	211	土羽打工	271	耳芝
152	水路工	212	土羽打状況	272	密粒度型
153	筋芝工	213	土測溝検測	273	水叩工
154	捨コンクリート	214	均しコンクリート	274	盲暗渠
155	スランプ	215	二層目転圧	275	目地材状況
156	スリッパの設置	216	年月日	276	目地モルタル状況
157	設計寸法	217	根固めコンクリートブロック	277	目潰砕石状況
158	施工前	218	根固めブロック積込	278	門扉工
159	切断工	219	練石積工	279	盛土工
160	整地工	220	法長	280	盛土状況
161	接合工	221	法長状況	281	モルタル
162	清掃工	222	法勾配	282	盛土法面復旧施工
163	せん定施工	223	法面工	283	矢板打込
164	堰板工	224	法面仕上	284	湧水箇所状況
165	全巻コンクリート状況	225	法面切土	285	U字側溝状況
166	外壁	226	法面保護	286	U字溝布設工
167	側壁工	227	法面整形	287	養生
168	側溝工	228	呑口工	288	養生状況
169	粗粒度型	229	張石	289	養生砂撒布
170	造成工	230	張芝状況	290	擁壁工
171	高さ	231	張芝工	291	擁壁補修施工状況
172	タックコート工	232	配筋状況	292	用水小溝
173	タイバの設置	233	配筋検測	293	溶接工
174	タックコート撒布状況	234	排水工	294	落差工
175	谷止工	235	排水樹工	295	落石防止工
176	断面図	236	半巻コンクリート状況	296	流路工
177	脱枠状況	237	抜石検査	297	緑化工
178	着工前	238	伐開状況	298	粒調砕石敷
179	治山	239	バックホー	299	路肩盛土
180	丁張工	240	表層工	300	路肩排水工
181	丁張検査	241	平張りブロック	301	路盤工
182	地覆工	242	吹付	302	路盤紙
183	中間検査	243	布団籠据付状況	303	路床工
184	注水試験	244	不陸整形工	304	路床検測
185	積込	245	ブロック積検測	305	路床転圧
186	積ブロック工	246	ブルドーザー	306	路床状況
187	継鉄筋	247	ブルーフローリングの測定	307	路面工
188	転圧工	248	プライムコート工	308	路面補修工
189	転圧状況	249	プライムコート撒布状況	309	路面切削施工
190	転石検測	250	プライムコート施工状況	310	六角ブロック
191	転石状況	251	変更		
192	天端状況	252	平面図		
193	天端工	253	平板積荷試験		
194	天端コンクリート	254	ベンチフリューム		
195	鉄筋溶接	255	舗装		
196	鉄筋加工	256	舗装工		
197	鉄筋組立工	257	保護工		
198	鉄筋検査	258	保水検査		
199	撤去	259	保安施設状況		
200	鉄網の設置	260	歩道舗装		
201	天端補修工	261	崩土状況		
202	出来形状況	262	防護柵工		
203	出来形検測	263	間詰工		

付録3 用語一覧

電気 1~180番

1	(31)×2
2	10P+TV
3	1φ2W100V50Hz
4	2.0×2CVVF
5	2.0×2E2.0(19)
6	2.0×3CVVF
7	(AC 100V)
8	1.6×2CVVF
9	1.6×3CVVF
10	1.6×4CVVF
11	CATV加入金
12	CV38-3C(54)
13	CV5.5-2C(28)
14	CH
15	EC×5C-2V(19)
16	EC×5C-2V×2(19)
17	FL
18	GL
19	H:5.500
20	HIV1.6×4(25)
21	HP1.2-2C(19)
22	NTT電話配管工事規約
23	2P15A×2
24	3P15A×3
25	Sスピーカー用ジャック
26	TEL第一支持点
27	TV共聴用電源
28	TV共同聴視
29	UHF
30	UHF12BL型
31	UHF20BL型
32	VHF
33	VVF用ジョイント・ボックス
34	アース付
35	アンテナータ
36	アンテナ架台基礎
37	圧力スイッチ
38	eイヤホン用ジャック
39	インターホンH=1.300
40	インターホン子機
41	インターホン親機
42	インターホン用電源
43	移報器
44	埋込スイッチ
45	埋込器具
46	埋込型
47	遠隔操作盤
48	押しボタン(握り)
49	押しボタン(卓上)
50	押しボタン(壁付)
51	押しボタン用アウトレット
52	屋外用・庭園・街路樹
53	屋上看板灯電源
54	親時計
55	加入電話機
56	火災警報ベル
57	火災報知機
58	過電流素子付
59	回路試験器
60	開閉器

61	各階共通
62	各階電灯
63	各戸共通
64	各戸分岐回路2回路とする
65	拡声インターホン子機
66	拡声インターホン親機
67	乾電池
68	感知線
69	換気扇
70	換気扇温度スイッチ
71	型番
72	壁付灯一般
73	壁付灯防水型+B169
74	ガス漏れブザー
75	ガス漏れ警報器用電源
76	合併処理
77	基礎伏図
78	機器収容箱
79	記号
80	起動押しボタン
81	給水ポンプ
82	給湯器用
83	共用灯
84	局線用端子盤
85	クーラー用
86	クーラー用コンセント
87	空気管
88	空気管(呼線入)
89	煙感知器
90	系統図
91	蛍光灯
92	警戒区域境界線
93	警戒区域番号
94	警報サイレン
95	警報ブザー
96	警報ベル
97	警報ボタン
98	警報押しボタン
99	警報受信盤
100	建築基準法
101	コードペンダント
102	コード吊
103	コンクリート柱
104	コンセントH=200
105	コンデンサー
106	公衆電話機
107	混合・分波器
108	混合器U-V
109	子時計
110	サイレン
111	差動スポット試験器
112	差動式スポット
113	差動式スポット形感知器
114	在否表示スイッチ
115	在否表示スイッチ盤
116	在否表示器
117	シーリングライト
118	シャンデリア
119	仕様
120	始動装置

121	指定色仕上
122	主端子盤
123	手動交換機
124	終端抵抗器
125	床面露出配線
126	消火セン
127	消火装置
128	消防法
129	照明器具表
130	照明用ブラケット
131	新築電気設備工事
132	申請地
133	ジャック
134	時報ブザー
135	時報ベル
136	時報押しボタン
137	時報監視盤
138	時報子時計
139	自動点滅器
140	受信機
141	受電点
142	住宅
143	充放電盤
144	直付型
145	スイッチH=1.200
146	スピーカー
147	素通し
148	セレクトスイッチ
149	制御盤
150	整流器
151	積算電力計
152	接点
153	接地抵抗測定用端子
154	扇風機
155	操作装置
156	側面図S=1/100
157	増幅器
158	(端子盤中取付)
159	端子盤
160	立ち上り
161	第一支持点
162	チェーンペンダント
163	チャイム
164	チャンネル・セレクター
165	蓄電池
166	中間端子盤
167	中継器
168	調光器
169	直流用分電盤
170	直列ユニット300Ω
171	直列ユニット75・300Ω
172	直列ユニット75Ω
173	テレビ
174	テレビジョン・アンテナ
175	定温式スポット
176	定温式スポット形感知器
177	天井隠蔽配線
178	天井灯一般
179	転換機
180	点検口

付録3 用語一覧

電気 181～310番

181	電気事業法	241	非常用照明	301	レンジフード用コンセント
182	電気設備の概要	242	標識板	302	3路スイッチ
183	電気設備技術基準	243	標準色仕上	303	4路スイッチ
184	電気設備工事	244	表示燈	304	露出型
185	電気設備図	245	表示盤	305	露出配線
186	電気方式各戸別1φ2W方式	246	備考	306	露出防水型
187	電極保持器	247	フロアー用	307	廊下通路誘導灯
188	電磁開閉器	248	フロートスイッチ	308	漏電火災警報器
189	電磁開閉器用押しボタン	249	フロートレススイッチ	309	漏電警報器
190	電線・ケーブル	250	副受信機	310	漏電遮断器
191	電灯コンセント設備	251	2分岐器		
192	電灯分電盤	252	2分配器		
193	電灯用分電盤	253	4分岐器		
194	電動機	254	4分配器		
195	電熱器	255	6分配器		
196	電流計付	256	ブースター35dB		
197	電流制限器	257	ブースター用		
198	電力会社工事負担金	258	ブザー		
199	電力会社内線規程	259	分岐・混合器		
200	電力装置	260	分電盤結線図		
201	電力量計	261	プラグイン方式3A		
202	電話	262	プルボックス		
203	電話配管設備	263	平面図S=1/100		
204	電話用アウトレット	264	変流器		
205	電話用端子盤	265	ベル		
206	トイレ換気扇スイッチ	266	ベル変圧器		
207	特記事項	267	別途工事		
208	ドアホン	268	別途参照		
209	動力制御盤	269	ホーン型スピーカー		
210	動力設備	270	保安機		
211	動力盤	271	補助電源		
212	内線電話機	272	補償式スポット形感知器		
213	ネオン変圧器	273	報知区域番号		
214	熱電対	274	放送設備		
215	熱半導体	275	本配線盤		
216	P形発信器	276	ボタン電話主装置		
217	配管配線	277	防雨型		
218	配筋図	278	防温型		
219	配線はビニール外装ケーブル	279	防火戸排煙		
220	配線用遮断器	280	防湿型		
221	箱入	281	防水型		
222	箱入又はフード付	282	防両型		
223	発電器	283	ポール		
224	凡例	284	Mマイクロホン用ジャック		
225	梁伏図	285	名称		
226	パイプペンダント	286	モーターサイレン		
227	パイロット付	287	床コンセント		
228	ヒートポンプ	288	床隠蔽配線		
229	引下げ	289	床組伏図		
230	引掛ローゼット	290	呼出用押しボタン(握り)		
231	引込開閉器(防水型)	291	呼出用押しボタン(壁付)		
232	引込開閉器盤結線図	292	呼出用受信盤		
233	避難口誘導灯	293	呼出用表示燈		
234	非常ベル	294	ラジオ・アンテナ		
235	非常警報用電源	295	リモコンスイッチ		
236	非常口表示灯	296	リモコンリレー		
237	非常電話機	297	リモコン変圧器		
238	非常灯	298	立面図		
239	非常放送	299	ルーム・エアコン		
240	非常用押しボタン	300	レセプタクル		

付録3 用語一覧

水道 1~180番

1	A型T字管	61	管布設	121	鋼矢板引抜き
2	A型十字管	62	管連絡工	122	混合栓
3	A形特殊押輪	63	型枠用合板	123	小穴掘工
4	B. P	64	紙巻器	124	ゴム輪の出入り状態
5	CIP	65	ガスコック	125	サンドクッション
6	DIP	66	ガスポンペ	126	サンドクッション工
7	E. P	67	ガス合	127	再生碎石
8	HIVP	68	ガス漏れ警報機	128	碎石埋戻し
9	PC板	69	基準高	129	細砕
10	PRVP	70	基準値	130	散水栓
11	S=1:100	71	基礎型枠	131	材料検査
12	S=1:200	72	基礎砂	132	残土処理
13	S=1:50	73	基礎碎石	133	シャワー水栓
14	SP	74	基礎碎石工	134	し尿浄化槽
15	SPエルボ	75	既設管に接続	135	仕切弁
16	TSVP	76	既設管口径	136	仕切弁筐
17	φ100	77	機械掘削	137	仕切弁室築造工
18	φ200	78	機械残土処理工	138	仕切弁設置工
19	φ75	79	機械据付	139	支保工
20	アスファルト	80	給水バランス釜	140	止水材
21	アスファルトフィニッシャー運転工	81	給水管	141	止水栓
22	アスファルト厚板	82	給水管接続替工	142	止水栓筐
23	安全管理	83	給水工事	143	試験堀
24	案内図	84	給水設備	144	資材検収
25	インバード樹	85	給水本管	145	斜壁
26	石綿ビニル二層管	86	給湯管	146	手動式プレート
27	ウエルポイント工	87	給湯設備	147	集合装置
28	雨水樹	88	給排水衛生設備工事	148	竣工
29	運搬	89	給排水設備	149	消火ポンプ
30	運搬工	90	筐類設置工	150	消火器
31	受口端面~白線の距離	91	境界線	151	消火設備
32	埋戻し工	92	曲管	152	消火栓
33	エンジンカッター	93	切管	153	消火栓室築造工
34	衛生器具	94	切込碎石	154	消火栓設置工
35	衛生器具設備	95	逆止弁	155	伸縮バルブ
36	オフセット	96	クラッシュラン	156	振動ローラー運転工
37	污水管	97	クリームブラスタン	157	新築工事
38	污水処理設備	98	クレーン	158	申請建物
39	污水弁樹設置	99	区画線設置工	159	敷均し
40	污水樹	100	躯体	160	ジェットポンプ運転
41	污水樹及び取り付管工	101	掘削	161	自在水栓
42	污水樹深さ	102	掘削検査	162	自動エア抜き弁
43	押輪~受口すき間	103	掘削深さ	163	自動切換装置
44	屋内消火栓	104	化粧鏡	164	受水槽
45	屋内消火栓設備	105	化粧棚	165	循環ポンプ
46	温水ボイラ	106	軽量鋼矢板工	166	上水道
47	温水管	107	下水道本管	167	上層路盤工
48	カラー塗装工	108	現場打ち合せ	168	浄化槽
49	下層路盤工	109	コンクリートカッター運転工	169	浄化槽算定人員
50	仮復旧	110	コンクリート蓋	170	人孔
51	可とう管コック	111	コンクリート管	171	人孔設置工
52	加圧給水	112	コンクリート打設工	172	人力掘削
53	完成	113	公設樹	173	人力固め
54	完了	114	工事案内板	174	人力残土処理工
55	管上検査	115	工事看板	175	人力床均し
56	管上高	116	高架水槽	176	人力床付
57	管積込	117	硬質塩化ビニル鋼管	177	人力据付
58	管洗淨	118	硬質塩化ビニル管	178	ステンレス鋼管
59	管底検査	119	鋼管	179	ストール小便器
60	管底高	120	鋼矢板	180	スリースバルブ筐

付録3 用語一覧

水道 181～310番

181	滑剤	241	配管材料表	301	量水器
182	砂基礎	242	配管設備	302	冷温水ヘッダー
183	砂埋戻し	243	配管用炭素鋼鋼管	303	冷温水ポンプ
184	水圧検査	244	配水管布設	304	冷却水ポンプ
185	清掃	245	配置配管図	305	冷媒管
186	洗砕	246	発生土埋戻し	306	ロケーティングワイヤー運転工
187	洗濯機パン	247	バックアップリングの位置	307	ロックリングのすき間
188	洗面化粧台	248	バックホウ運転工	308	路床工
189	洗面器	249	ヒューム管	309	路面仮復旧工
190	掃除用流し	250	フランジ継手工	310	和風大便器
191	側溝へ放流	251	フレキシブルダクト		
192	増改築工事	252	フロアハッチ		
193	タイヤローラー運転工	253	不断水分岐工		
194	タオル掛	254	復工板		
195	耐震ソフトシール仕切弁	255	ブラコート鉛管		
196	耐熱塩化ビニル管	256	平面図		
197	短管	257	ヘルメシール		
198	ダクタイル鋳鉄管	258	便所		
199	ダンプトラック運転工	259	弁類		
200	断水宣伝工	260	ペナント設置工		
201	中間検査	261	ホース水栓		
202	着工前	262	保安バルブ		
203	鋳鉄管継手工	263	保安設備		
204	鋳鉄管切断工	264	保護砂		
205	鋳鉄管布設工	265	舗装処理		
206	丁張検査	266	舗装切断		
207	調理台	267	舗装切断工		
208	直管	268	舗装復旧工		
209	継手工	269	ボルト・トルク		
210	通水洗浄水圧試験工	270	膨脹管		
211	手洗器	271	防震継手		
212	鉄蓋設置	272	ポリエチレン管		
213	鉄筋加工	273	ポンプ運転工		
214	鉄筋組立て	274	マイコンメーター		
215	天井配管	275	マカダムローラー運転工		
216	転圧工	276	マンホール		
217	出来形	277	マンホール深さ		
218	電気温水器	278	巻立コンクリート		
219	トヤ床均し	279	埋設表示テープ		
220	トラッククレーン運転工	280	水替工		
221	トラップ樹	281	水替排水工		
222	共栓	282	メーター		
223	取付場所	283	目皿		
224	特記仕様	284	モータークレーター運転工		
225	ドレン管	285	モルタル		
226	土砂転圧工	286	山砂		
227	土砂入替工	287	山土砂		
228	土砂埋戻し	288	薬液注入		
229	土中埋設	289	ユニットバス		
230	土留工	290	床掃除口		
231	生コンクリート工	291	床排水タップ		
232	流し台	292	床排水設備		
233	二受T字管	293	湯沸器		
234	乳剤	294	横水栓		
235	排水ポンプ	295	揚水ポンプ		
236	排水管	296	洋風腰掛便器		
237	排水工事	297	養生工		
238	排水作業	298	浴槽		
239	排水樹	299	粒調砕石		
240	排水樹リスト	300	両用便器		

付録3 用語一覧

建築 1~180番

1	100角	61	給排水設備図	121	じゅうたん敷込み
2	10m/m	62	京じゅらく	122	じゅらく吹付け
3	1階平面図	63	京壁	123	事務室
4	2階平面図	64	共同住宅	124	磁器タイル
5	6帖	65	近隣商業地域	125	軸組図
6	8帖	66	木格子組	126	軸立図
7	DK	67	管柱	127	住居地域
8	E. L. V	68	躯体図	128	住宅
9	LDK	69	化粧タルキ	129	住宅専用
10	S=1/100	70	化粧室	130	準防火地域
11	S=1/50	71	系統図	131	女子便所
12	S型瓦葺き	72	建築工事費	132	人口
13	W. C	73	建築場所	133	スギ絞り丸太
14	アームストロング	74	建築面積	134	スギ中拵板敷目張り
15	案内図	75	建蔽率	135	スギ桎合板張り
16	網代張り	76	下水管	136	スギ桎網代張り
17	揚床タタミ敷込み	77	下水溝	137	スチール防錆塗料
18	イタリアンタイル	78	原型スレート瓦葺き	138	吸込マス
19	移転	79	玄関	139	図面リスト
20	居間	80	コルク貼り	140	施工
21	ウレタン防水仕上げ	81	コンパネベニヤ	141	石膏プaster
22	雨水	82	公図写	142	石膏ボード
23	運搬	83	公道	143	石綿ボード
24	受付室	84	工業専用地域	144	石綿板
25	エマルシン吹付け	85	工事名称	145	設計監理料
26	煙突	86	構造図	146	設計図
27	縁側	87	高架水槽	147	設備工事費
28	応接間	88	子供室	148	洗面所
29	押入	89	小口タイル貼り	149	側面図
30	カーペット敷込み	90	合計	150	測量図
31	カーポート	91	サクラ絞り丸太	151	増築
32	カラークロス貼り	92	竿縁	152	造園工事費
33	カラー新平葺き	93	在来工法	153	造作家具
34	カラー鉄板瓦棒葺き	94	しっくいラフ	154	タイル貼り
35	家具・カーテン	95	しっくい塗り	155	タメマス
36	会議室	96	シナベニヤ	156	建具位置図
37	改築	97	シャワー室	157	耐火ボード
38	改築工事	98	仕様概要	158	耐火構造
39	開口部	99	指定なし	159	耐水ベニヤ
40	確認申請料	100	斜線制限図	160	台ヒ
41	寒冷沙貼り	101	車庫	161	ダイニングキッチン
42	簡易構造	102	主寝室	162	ダイニングルーム
43	簡易防火構造	103	宿直室	163	ダイヤリシン吹付け
44	矩計詳細図	104	縮尺図	164	台所
45	矩計図	105	竣工	165	第一種住居専用地域
46	勝手口	106	諸経費	166	第二種住居専用地域
47	ガス・水道工事費	107	照明器具	167	第号
48	外観図	108	詳細図	168	大理石貼り
49	外構工事費	109	食堂	169	脱衣洗面室
50	外構図	110	寝室	170	断面詳細図
51	外壁	111	新じゅらく	171	断面図
52	学校	112	新築	172	男子便所
53	キッチン	113	新築工事	173	チーク桎突板張り
54	基礎詳細図	114	申請図	174	地下1階平面図
55	寄宿舎	115	申請地	175	地下室
56	既存建物とこわし	116	申請部分	176	駐車場
57	休憩室	117	真黒タイル貼り	177	長尺カラー鉄板瓦棒
58	求積	118	正面図	178	造り付け
59	給湯室	119	敷地図	179	追加工事費
60	給排水衛生工事費	120	敷地面積	180	テラス

付録3 用語一覧

建築 181～310番

181	鉄筋コンクリート造	241	プラスターボード	301	隣地
182	鉄筋鉄骨造	242	プラスター金ゴテ	302	隣地境界線
183	鉄骨詳細図	243	プラスチックボード	303	レイアウト図
184	鉄骨造	244	プレハブ工法	304	レンガタイル貼り
185	鉄板葺き	245	平面詳細図	305	れんが造
186	鉄平石乱貼り	246	平面図	306	冷暖房工事費
187	天井	247	変更図	307	炉質タイル張り
188	天井伏図	248	ベッドルーム	308	廊下
189	展開図	249	米ツガ	309	老人室
190	店舗併用住宅	250	米ヒ	310	和室帖
191	電気工事費	251	米ヒ横底目板張り		
192	電気室	252	米ヒ目透かし張り		
193	電気設備図	253	便所		
194	床の間	254	ホール		
195	通柱	255	ホテル		
196	都市計画地域	256	防煙レザ一張り		
197	透視図	257	防火リシン吹付け		
198	特記仕様書	258	防火戸		
199	特別用途地域	259	防火構造		
200	銅板葺き	260	防火指定		
201	道路境界線	261	防火地域		
202	道路後退線	262	防火壁		
203	道路中心線	263	防水紙		
204	ナラフローリング	264	ポーチ		
205	内部仕上表	265	ポンプ室		
206	納戸	266	マーケット		
207	二丁掛タイル貼り	267	マツフローリング		
208	日本瓦葺き	268	マツ絞り丸太		
209	日本農林規格	269	待合室		
210	布クロス貼り	270	面積表		
211	値引	271	目地底張り		
212	延床面積	272	目地付化粧ベニヤ張		
213	延面積	273	モザイクタイル貼り		
214	軒裏	274	モルタル		
215	排水	275	モルタル金ゴテ		
216	排水系統図	276	物置		
217	背面図	277	物入		
218	配線図	278	木造		
219	配置図	279	木毛セメント板		
220	幅広スギ桧合板張り	280	門・塀工事費		
221	バスルーム	281	屋根		
222	バブライル吹付け	282	床伏図		
223	バルコニー	283	床面積		
224	パーケットフロア	284	四丁掛タイル貼り		
225	ヒノキ縁甲板張り	285	容積率		
226	東側立面図	286	擁壁		
227	避難ハッチ	287	洋室帖		
228	避難口	288	用途地域		
229	百貨店	289	浴室		
230	ビニールクロス貼り	290	浴室/W. C		
231	ビニールシート	291	ラスモルタル		
232	ビニールレザ一	292	ラフトン吹付け		
233	病医院	293	ラワンベニヤ		
234	フェルト	294	ラワン縁甲板		
235	フレキシブルボード	295	ラワン堅目張り		
236	巾具	296	ラワン合板		
237	附近案内図	297	リシガン吹付け		
238	附近見取図	298	リビングルーム		
239	風除室	299	立面詳細図		
240	仏間	300	旅館		

付録4 商品仕様

商品名	ワードライタ BL-120
作画範囲	X軸 120mm Y軸 30mm
ステップサイズ	0.025mm/step
筆記ツール	ボールペン(中性ボールペン) セラミックペン(SRM02) サインペン(油性顔料インク) ペンシルツール 0.3mm(別売: PH-31)
ディスプレイ	液晶表示(コントラスト調整付き) 文章 8桁2行 インジケータ表示15箇所
キーボード	65キー
文字	書体: 標準書体、ペン字書体、明朝体、楷書体 JIS第一水準・第二水準・その他漢字 かな、カタカナ、英字、ロシア文字、ギリシャ文字、数字、単位、記号、絵文字
メモリ	文書メモリ 1000文書、10,000文字 設定メモリ 100個
使用温度	5℃ ~ 35℃
電源	AC100V 50/60Hz(ACアダプター使用)
消費電力	15VA 最大
外形寸法・質量	BL-120本体 288(W) × 225(D) × 53(H) 1360g ACアダプター 49(W) × 63(D) 31(H) 90g(コード付き 140g)

付録5 保証書・保守サービス

保証書

- ①保証期間中に万一故障したときは、保証書記載内容に基づいて無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ②保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有償修理いたします。
- ③付属のアンケートカードにご記入のうえご返送ください。今後の商品改善に活用させていただきます。

保守サービス

- ①お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービスにご相談ください。
- ②持ち込み修理は、修理品を販売店またはマックスサービスの窓口にお持ち込みください。

付録6 さくいん

あ

アンダーライン(下線) 83

い

位置合わせ 64

一行書出し位置 76

一行均等配列 74

う

上付き文字 80

え

英数字の入力 26

エラーメッセージ 115

か

カーソルキー 5, 31

改行作画 49

改行の入力 41

楷書体作画 71

替芯の交換 15

確定表示画面 12

飾り枠 83

かな入力 24

紙押えパッド 14

漢字の入力 27

き

キーの名称とはたらき 5

キー割付け 38

記号入力 35

行間隔 73

均等配列 67

く

矩形囲み 83

組文字 82

け

桁合せピッチ 62

県名削除 77

さ

サインペンの取付け 17

作画開始 44

作画速度 78

作画中断 44

し

始終点確認機能 75

下付き文字 80

シンボル 35

JISコード入力 36

住所の郵便番号入力 37

熟語変換 27

せ

設定状態表示 56

設定状態表示画面 12

設定の登録 90

設定の初期値 56

設定の範囲 56

た

単漢字変換 30

て

訂正 31

ディスプレイ 12

と

登録設定の削除 92

登録設定の全削除 93

登録設定の呼出 91

登録文書の削除 88

登録文書の全削除 89

登録文書の呼出 87

取消 6

に

入力文書の削除 34

は

範囲作画 66

半角数字 61

はやわざ 96

パラメータ 56

パラメータの初期化 56

ふ

太文字作画 68

ブロック作画 47

文書の登録 86

へ

ペン移動 54

ペン字作画 69

ほ

ボールペンの取付け 15

ま

丸囲み 83

み

明朝体作画 70

も

文字の入力 22

文字飾り 79

文字間 62

文字サイズ 58

文字幅 60

よ

用語入力 39

読み入力 32

読み入力画面 12

ろ

ローマ字入力 22

●修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8108(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8141(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2140(代)
群馬マックス(株)	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0044	さいたま市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)本社	〒330-0038	埼玉県さいたま市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)玉村	〒370-1117	佐波郡玉村町大字川井1848-1	TEL(0270)64-3950(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

2001.10 Vol.1